

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-113)、MOX燃料加工施設(1-104))」

2. 日時：令和4年2月18日(金) 9時30分～12時00分
13時30分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、中川上席安全審査官、田尻主任安全審査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、藤原安全審査官、河原崎安全審査専門職、高梨安全審査専門職、森野安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員

松田 常務執行役員

大柿 常務執行役員

須田 執行役員 他16名

東京電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル技術グループ
チームリーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 副長

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクル 主任

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料管理グループ
マネージャー 他1名

三菱重工業株式会社 原子力セグメント 安全高度化対策推進部
主幹プロジェクト統括

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 第二計画室長 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和4年1月19日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
令和4年2月14日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年2月16日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	再開しました。
0:00:04	藤規制庁シミズです。それでは沢川委員とのヒアリングを開始します。
0:00:09	本日のヒアリング或いは2年12月4日に申請があった設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:19	玉沢規制庁側の出席者を紹介します。本庁側の出席者についてまず紹介をお願いします。はい本庁側ですけれどもナカガワ審査官、大橋審査官カミデ審査官タジリ審査課モリノ止めます。
0:00:34	はい、ありがとうございます。他、土岐市長側の出席者ウェブからコサク10日フジワラタカナシ掛けt h eカワラサキ。
0:00:44	ツガネハバサキシミズを、以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介と以外の法制の説明をした上で、まずは共通の資料について説明をお願いします。
0:01:00	はい。こちら日本原燃六ヶ所でございます。
0:01:04	日本原燃側の3ヶ所をご紹介いたします。
0:01:08	ストウ。
0:01:09	オオガキマツダ。
0:01:12	スダ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:13	ムラノ。
0:01:15	赤松。
0:01:16	ナガサワタカハシ。
0:01:19	セガワ、内野タナカ。
0:01:23	フナコシサトウ。
0:01:26	イナガキ。
0:01:27	トガシ。
0:01:28	イナヅマ。
0:01:30	オガセ。
0:01:33	タニグチイシハラ。
0:01:36	あと大成建設様よりタカハシ様。
0:01:39	以上となります。
0:01:42	本日ご確認いただく資料でございますけれども、
0:01:47	審査会合資料でございます。
0:01:50	三つの資料。
0:01:52	についてご説明させていただきたいと思います。まず一つ目が、設工認 申請に係る対応状況について。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:00	二つ目が、
0:02:03	地震による損傷防止及び地震を起因とする重大事故等に対する施設の耐震設計について、
0:02:09	三つ目が飛来物防護ネット学校の耐震評価及びそれに関わる、安全冷却水系冷却等飛来物防護ネット学校の波及的影響評価の考え方。
0:02:22	についてご説明させていただきたいと思います。
0:02:26	よろしければ、設工認申請に係る対応状況についてからご説明させていただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。
0:02:35	お願いします。
0:02:38	はい。宮城西田でございます。
0:02:42	審査会合にかけて共通全般事項の資料でございます。当然ながら審査会合というところで1人で説明することになるんですが、今日ヒアリングで事実確認、ご説明させていただくということで、
0:02:55	先にMOXと再処理で説明者を分けることはお答えをさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:00	M O X 燃料加工施設の方ですが、12月の審査会合でご説明をしていって まし申請書記載事項の整理ということと、申請対象設備の明確化、この 中に検証ということを入れて、
0:03:13	全体やっていきますよということを説明しました。その進捗がどうなの かと、いうことでございます。
0:03:20	申請書の記載事項の整理機構につきましては、言葉足らず、かつ、趣旨 が若干曲がってしまっているところがありますので補足をさせていただ きたいと思います。
0:03:31	ここで横断的な指摘事項への対応等々と書いて事実確認を実施と書いて ますが事実確認を実施と書いてしまうと我々がやったのかみたいな話に なってしまうので、実際やりたかったことはヒアリングでご説明をした ということの事実を、
0:03:44	ご説明したかったということでございます。
0:03:47	あと第1回の申請対象である燃料加工建屋の審査範囲の考え方、これ次 にあります被水防護対策のS評価の整理中というのと、同義。
0:03:57	ということで以前から出てました溢水だけではなく、建物の耐震ですと か等、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:03	<p>溢水後、火災縫合あと外部衝撃といった範囲の中で、今回第1回の電力観光建屋っていうのは何が対象なのかということの整理がまだ宿題として残っているということは認識をしながらも、</p>
0:04:17	<p>基本設計方針添付書類等に記載すべき事項の骨格第1回の市政どこまで書くのかですとか、許可整合というのを踏まえた上で、技術基準適合性を確認するために基本設計方針こういったことをどういうふうに変えていくのかと。</p>
0:04:30	<p>というような骨格については整理ができてきたというふうに考えてございましたら、これも骨格が整理できたということであって、細かい確認事項というのが残っているという認識でございますということです。</p>
0:04:44	<p>あと申請対象設備の明確化でございますこちらにつきましては、モック数で先行的に設定の検証ですとかプロセスをどうやってやったかということをご説明するための、</p>
0:04:56	<p>資料を作ってご説明をしています。その代表設備の設計図書についてということで、ご説明をして、させていただき書かせていただいているということでございます。</p>
0:05:07	<p>こちらの事実確認を実施済みと書いてますがやはり実態として書きたかったのはヒアリングで御説明を実施したということ。</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:15	あわせてちょっとわかりづらかったのは、恐縮でございますが層厚5その他の設備というのは、色塗り等を示すといった、他の設備についても資料が準備でき次第
0:05:27	この代表設備で受けた指摘事項を踏まえた上で提出をさせていただくということで、全体としては、抜けなく、資料を提出しさせていただきますということを宣言させていただいているというのが、
0:05:39	ここでご説明をしたかった合格でございます。
0:05:42	ボックス分の説明は以上でございます再処理の方に移ります。
0:05:49	はい。日本原燃の松田です。再処理施設の関係のところですね、今ボックスの方で現状をですね、説明させていただきました。
0:05:59	再処理に関しましては冒頭、書いてございます通り、MOX燃料加工施設でのいろいろな確認事項、それによって生じた修正或いは、
0:06:10	ルールですね、そういったものを再処理施設の方に反映していくという作業をやりながら、順次、資料を整えております。
0:06:19	最初施設の基本設計方針ですが添付書類を策定している、そういう最中ということになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:26	もう一つの申請対象設備の明確化ということですが、これも今ボックスの方でやっております対応を踏まえて、代表としては、溶解設備ですね、再処理施設での代表としての溶解設備を詳しく説明し、
0:06:42	その計装プロセス手法によって、申請対象の計装を行っていくということをやっております。以上におきまして、補正申請に向けた準備を進めるということで考えております。
0:06:55	以上です。
0:07:06	規制庁吉見です。今までにぜ、全体的に説明、この資料について説明は終わりということでしょうか。はい。宮城西田でございます切り方が中途半端ですいません説明終わりでございます。
0:07:21	ありがとうございます。それでは規制庁側からの確認事項ございましたらお願いします。
0:07:31	規制庁中です。
0:07:33	ちょっと私から、何点か確認ですけど、
0:07:37	今でも多く数の方なんですけれど。
0:07:44	ちょっと書いてある内容としてですねまずその申請書類の記載事項の整理なんですけれど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:51	二つレ点があって一つ目がその共通資料。
0:07:57	におけるその
0:08:00	横断的な指摘事項への対応方針ということで資料構成記載内容の統一。
0:08:06	規制、行政教師の記載更新統等、
0:08:10	書いていてこれはどっちかっていうと様式的なところかなと思って。
0:08:14	いて、
0:08:16	それで、二つ目のレ点 5、燃料加工建屋の申請範囲の考え方。
0:08:23	それから溢水防護対策と溢水評価の整理中、これがどちらかという、
0:08:30	様式というよりは、
0:08:33	補足説明的な、そのエビデンスとかそういった、
0:08:41	実質的な内容の整理というふうに、その二つが書いてあるのかと思っ ます。
0:08:50	それで、まず一つ目の共通資料の方についてはこれは状況としては、
0:09:00	今書いて反映し、事実確認を実施となっているんですけど。
0:09:06	多分横断的な指摘事項自体は、
0:09:10	まだ激しというよりは反映中という、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:14	ヒアリングしたんはこちらから指摘をしてそれを繰り返して廃園中なのかなと思っていてですねそれで、
0:09:23	だけじゃあどこができるかということと言うと、ある程度基本的な枠組みみたいなところは整理されて、
0:09:32	まだ少し部分部分で、あの大きさ。
0:09:36	不十分なところについて反映をしていると。
0:09:40	いうところからすると、何となくちょっと私がこれを見てる感じですよ、
0:09:46	二つ目のレ点に書いてある基本設計方針とか骨格についてはむしろ、一つ目の方なのかなと思うんですけど。
0:09:56	そういう理解ではないんでしょうかね。
0:10:04	はい。日本原燃石田でございます。おっしゃっていただいていることは理解しました。ご指摘のように、横断的な指摘事項への対応ってのはまさしく、
0:10:15	骨格に関わるものがほとんど全般的にでしたので、そういったものを反映してやってきたことってのはおっしゃる通り、次、二つ目の利点の話であると思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:27	等で文章は修正案を考えますが、1個目でまずは骨格の話をちゃんとした上で、細かいここの議論の中で整理が必要だと。
0:10:38	ということで、遠いとはいえ第1回の申請対象である燃料加工度の範囲っていうのは大枠の話であるんですけど、ここの条文で出てきた問題点っていうのを、
0:10:48	潰して取り込んでいくという観点では、二つ目と一つ目を住み分けをするというのは、おっしゃる通りだと思いますので、修正をさせていただきたいと思います。以上です。
0:10:57	はい。規制庁の高坂です。はい。すみません。
0:11:01	一応その原燃の代弁をすると、というイメージで話を使用すると、私の理解は、一つ目のレ点は共通06の話をしてます。
0:11:13	二つ目のレ点は各条の00の、
0:11:16	資料の話をしています。
0:11:19	仲川さんの言っている。
0:11:21	具体的な補足説明資料だったり何なりの話をここでは書いてませんっていうのが実態だと思うん。
0:11:28	ですけど、石原さん、もとの会議体趣旨はそういうことですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:32	はい。
0:11:34	新村記者。はい。
0:11:36	はい。補足です。それでね、言うとはずね、
0:11:41	中澤さんの思いと今の文章全く趣旨がずれているので、
0:11:47	それを反映しますと言ったときにどう反映するのかなあとかっていうのがよくわからないんですけど。
0:11:55	一つ目のレ点の
0:11:58	これまでヒアリングを続けていった中で、全体として、統一をとってやらなきゃいけないことというのは明確。
0:12:10	問題点というのが明確に抽出されて、
0:12:14	それについての対処をしてきました。
0:12:19	という事実関係があり、それを踏まえて、各条 00、
0:12:24	について、どういう進捗になっているのかと。
0:12:29	いうことなりをまとめるということかなと思うんですけど、その上で、その先に補足説明資料なり、
0:12:37	本文添付資料で、本文は、
0:12:40	別紙 1 になり、跡部水路。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:43	空。
0:12:44	のところで、第1回はみたいなどの整理を、
0:12:48	すれば、基本的にまとまっているので、あとは添付書類でどこまでか、 かなり、
0:12:54	ていうのを具体的に整理をすると。
0:12:56	いうこと。
0:12:58	補足説明資料作っていくというのを、
0:13:03	どこまで書いてくかっていうことかと思うんですけど。
0:13:07	一応私の問題意識っていうのは仲川さん、1回いきましたでしょうか。
0:13:13	はい。規制庁中です。
0:13:16	そうですね。コサクさんのご理解とちょっと私の、
0:13:21	思いも若干ずれてはいますけど書くべきところはそういうところかと思 ってあとはどう書き分けるかは、
0:13:29	なかなかそこはちょっとすぐ案は思いつかない。私はどっちかというと
0:13:35	いろいろコメントをして、様式的なところと補足という何かそういう二 本立てかなと思いつつ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:45	大体土佐さんのおっしゃったところがわかりますのでそこら辺踏まえて、
0:13:50	現在の方で適切に修正いただきたいぐらいしか、ちょっと今段階では、
0:13:55	申し上げないんですけど。
0:13:58	はい、乳井石田でございます。そういう意味ですいませんこちらが書いたところで最初の
0:14:04	共通資料教育 06、別紙 1 から 6 って書いたのが多分ミスリードかなと思 ってまして、とはいえ、大分イタレーションみたいなのが入っていて、各条文の 00 をやりながら、
0:14:18	その骨格でやってきたことを、共通資料に反映したいということもやら せていただきましたので、まずは、この出だしのところを、共通的 な
0:14:29	記載方針であったりという
0:14:32	まず、全体としてまとめなきゃいけない部分共通 06 っていう枠の中 で、横断的な指摘事項の対応を定めて資料に反映してヒアリングをさせ ていただきましたよと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:43	そこである程度流は、基本設計方針添付書類ってそういうものをそれぞれに対して何を書くべきかという骨格はまず整理をしてきたと。
0:14:51	プラスで2個目は、共通で努力、本体を受けた上での、別紙シリーズ各条文の00の資料の中で、こういうことをやらせていただいて、
0:15:01	その中で今問題としては第1回の審査範囲、対象の燃料加工建屋の申請範囲の考え方みたいなものが大きく問題と、課題としてはあるけども、
0:15:10	a. 基本各条文での基本設計方針であったり添付書類であったように、計画をどう変えていくかという大枠の整理は、今だんだんできつつあるんだということを、宣言させていただくのかなと思ってございました。以上です。
0:15:27	はい。規制庁中です。どうぞ。
0:15:31	すいません。補足ですけど、ヒアリングをやってきましたとかっていうのは介護で言う必要なくてですね。
0:15:38	それよりも、各場のヒアリングをしたところから、原燃として課題認識をこういうものをしましたと。
0:15:49	それに対してこう対応してきましたっていうことが実態だろうなと思ってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:55	その課題が一つは共通的に
0:16:00	整理をする、して、平仄をとった対応しなきゃいけないという問題で、
0:16:06	もう一つがこここのところで論点になっていることというので建屋の申請 範囲だとか、
0:16:13	ということだと思っておりますので、
0:16:17	そういったところの問題点を明確にさせていただくと。
0:16:22	ということが大事かなと思います。よろしく申し上げます。
0:16:26	はい。宮城次長でございますはい。了解いたしましたしてちょっと修正をさ せていただきたいと思います。
0:16:33	貴重中です。多分ちょっと枚数も限られてですねいろいろと注文して、 あれなんですけど少しそこは構成自体は整理していただくとして後は表 現としてですね
0:16:45	仮に少しこの資料をリバイスするとして、
0:16:49	先ほど説明はあったんですけどその事実確認を実施とかですね。
0:16:55	そこら辺はちょっと、聞けばわからなくはないんですけど、少し表現を 工夫していただいた方が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:03	いいのかなと思っていてですねその説明対応を行ってるとか何かそういうような少し適切な表現にさせていただければと思いますがいかがでしょうか。
0:17:14	はい。与儀石田でございます。はい。
0:17:17	ちょっと我々がどちらかというヒアリングをやったってことを書き続けてあまりそういう趣旨ではないというのも、先ほど古作さんのご指摘で、理解はしましたので、
0:17:27	これまでやってきたことでどういう問題認識があってどういうことや、やってきた、やろうとしてるのかっていうそういうことをちゃんと、我々も手法として書かせていただくということで、
0:17:39	記載を見直したいと思います。以上です。
0:17:42	はい。規制庁中です。あとは表現の話で、
0:17:45	0点の二つ目で溢水防護対策と溢水評価の整理中っていうのがちょっとよくわかんなかったんですけど。
0:17:54	ここで逆に溢水以外は何かそういうものはないのかどうかっていうところを考えてまだ何かいろいろあるような気もしています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:04	これもちょっと代表的に書くかどうか、範囲の考え方を共通的に整理しなければいけないものとして、
0:18:13	あと何か徳田知り水防護対策と溢水評価の整理中というところなのかそういう、
0:18:18	評価案件まとめて何か他にも、
0:18:21	含めてですね言い方があるのかどうかですけど、ここはどうなんでしょうか。
0:18:28	すみません弓削西田でございます。ちょっと、
0:18:32	筆が滑ったという言い方は非適切じゃないかもしれませんが
0:18:37	1個目と2五名ほぼ論議だと思ってましてちょっと書き方が、2個目が中途半端でなっていました第1回の申請対象での建屋でどうぞ、はいそうですかっていうところの中に前回溢水の中では、
0:18:50	マイナス100日とかいろんな高さの段差の話が出てきました。あれ自体は実際は中身自体建屋に直接関係するものはなかったんですがそういった建屋の設計として今回第1回でちゃんと確定させなきゃいけないものってのが各条文でどういったものがあるかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:06	<p>いうことを整理をしてってということが、本来ですのでちょっと二つ目は消した上で、ほかにだとか、足すものがあれば出しますし、ということで、我々は問題意識だと思ってるものを、1個目も当然、言葉足らずなので何が言いたいかをちゃんとやった上でということで整理をさせていただければと思っております。以上です。</p>
0:19:25	<p>はい。規制庁仲です。</p>
0:19:27	<p>私は何か意味合い的には多分、</p>
0:19:31	<p>こういうものであれば申請範囲の考え方を整理するとともにそれを踏まえた必要な評価の整理とか、</p>
0:19:39	<p>なんかそうそういうことなんだろうなと理解しました。</p>
0:19:43	<p>で、あと申請対象設備の明確化の方なんですけど、これも、</p>
0:19:48	<p>それから事実確認を実施済みとなっておりますけれど、ここ、これもだから、適切に少し表現を見直すというような感じでよろしいんでしょうかね。</p>
0:19:58	<p>はい。日本原燃志田でございます。こちらもやってきた、我々としてやってきたこと、何が今決まったの。決め、決められて、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:08	次のステップである今後その他の設備についてもと言っているところに行ける状態になっているということが、我々がステータスなり、アクションがわかるように書かせていただきたいと思います。
0:20:19	はい。
0:20:21	基調の中です。了解しました。
0:20:24	で、あとはもう一つの再処理施設の方なんですけれど。
0:20:30	それで、今の書き方としてはMOXのそのコメント等を反映して的にやっていくという一言になっているんですけれど。
0:20:41	まずその恐れ。
0:20:43	今回のですね会合自体はMOXも含めてなんですけど事業者としてどこまでを、
0:20:49	完了していて、それはみずからその、まずその検証なりというのを終了しているのかどうか。
0:20:57	それは終了してんだけど我々への対応として説明対応がまだ不十分なのかどうか。
0:21:03	そういうところがですねわかるような資料にしていきたいというふうに考えていて。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:09	そういう意味では再処理施設の方はですねまず
0:21:13	分社としてどこまでが終了してるのかというのがよくわからなくてですね、例えば、申請対象設備の明確化について。
0:21:23	すべての対象設備のですねまずその検証。
0:21:28	終了してるのかどうかなんか行っていくとなってるんですけど、これは御社の終了というか、達成度、そういうところについて、
0:21:39	いかがなんでしょうか。
0:21:44	日本原燃の松田でございます。再処理のところでもまず原燃としてどこまで作業が最初の部分ですね、終わってきているのかということがわかるようにというご指摘いただきましたので
0:21:58	少しそういうところができるようにということで資料修正をさせていただくと、それであともう一つ具体的に申請対象設備の明確化。
0:22:09	これそのものは申請対象設備私どももちろんある、こういうものだという事になって、こういうものですということでお話をさせていただいてますが、その検層プロセスをお見せするというようなことの、
0:22:23	資料をですね、これは具体的に言うと色刷りの応接資料とかですね、そういうものはでき上がっておりますので、そういったものを随時、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:36	見て、断層を主体にして見ていただくということで、ご説明できるのかなというふうに考えております。
0:22:47	規制庁中井です。多分これ1枚、この1枚紙でですねすべてを下げて欲しいというところもあってあんまりそういう
0:22:55	テクニカル的なところというよりは、まずそのみずからの検証がすべて終わっているのかどうか我々からするとですね、そもそも御社としてちゃんとその、
0:23:06	設備の抽出なりというのがですね、本社の中でちゃんと、
0:23:13	検証が終了してるのかどうか。
0:23:16	そこをまず知りたいと思って、そこをまず表していただきたいのと、
0:23:22	だけどそれで来てるんだけど後はそのボックスのコメントなり我々の横断的な、これまでのコメントを踏まえた修正中。
0:23:31	という状況なのかどうか、そこら辺を明確にわかるようにしていただきたいんですけど。
0:23:40	はい。日本原燃の松田でございます。私どもの方で終わっているのは、どこまで終了しているかももちろん、設備の申請設備というものは終わっておりますが、それを示すことに関してのいろいろな

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:53	示す方法に関する修正を行っているということでございます。そういうような趣旨のことあまり細かくなく、記載するようにさせていただきます。
0:24:05	はい。
0:24:05	規制庁小阪ですけどすみません。仲川さんの言っているところと、
0:24:13	マツダと言われてるのは一つ変わってると思うんですけど綿C。
0:24:17	の言葉とちょっと合ってなくてですね。
0:24:20	当然申請されてるの
0:24:23	原燃での検証は済んでますと言わざるをえないところはあると思うんですけど。
0:24:29	その検証内容の説明ができないっていうのはQMS上それを検証終わってないと思っていて、
0:24:38	そのあたりを説明できる資料を作るのも検証作業の一つだろうと思っ いてですね。
0:24:46	それができていない以上検証が終わってますけど説明資料がっていうス タンスが原燃の作業として根本的に間違ってるんじゃないのかなって うふうに思っ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:56	てます。
0:25:00	その辺りを踏まえてどう書かれるのかによって私の会合での発言が変わってくるかなと思ってます。以上です。
0:25:11	はい。
0:25:13	江崎MF城野。
0:25:16	現状ということとそれをご説明するという段階、そういったものをちょっと考えさせていただいて表現させていただきたいと思います。ありがとうございます。
0:25:31	規制庁の仲です。ちょっと
0:25:36	私なりにというか少し、
0:25:39	コメントというかですね
0:25:42	多分もう少し、私の話の少し噛み砕いて言えば、
0:25:48	厳然として検証ができたと思っていたんだけど実際は我々からのコメントを踏まえてQMS的に少し至らないところがあってそういうところも反映しながらもう少しその、
0:26:02	検討を進めている最中というのかどうかそういうことなんですかね。
0:26:10	表現はさせますけどそんなことかと思いますが、どうなのでしょう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:15	コサクですけど、私はそう思ってます。
0:26:17	了解しましたあとは原燃さんの方で、
0:26:20	そういうところのですね、実態をですね、ちゃんと。
0:26:26	ちょっと数字数限られてますけど、そういうところが実態としてわかるようにですね、今日本日の資料だけ見るとですね、特段問題もなくMOXまねだけをすればですねすぐに補正に行けると。
0:26:41	いうように、とらえられがちなんですけど実際はそうではないかと思っ ていてですね、だからこそMOXの線量を踏まえて再処理は、後の方か ら追いかけていくと。
0:26:53	いうようなところで、全く谷間とかと追いかけていきますというだけで はなく、これまでのその中で、どこまでを達成したかということであ れば繰り返しになりますけど。
0:27:07	検証したもののQMS上の不備がありそう。そこはそういうことも踏ま えて今、
0:27:13	プラスMOXでのコメント等も踏まえて、
0:27:18	反映を継続中というか検討継続中というか、そういうところがわかるよ うにですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:24	等を資料修正していただければと思います。以上です。
0:27:31	はい。日本原燃の松尾でございます。今ご指摘いただいた点を踏まえまして修正させていただきます。
0:27:37	はい。一条中嶋ちょっと設備抽出中心に行きますけど多分基本設計方針も同じようなところと思いますので
0:27:43	あわせてお願いします。以上です。
0:27:50	現在の松尾でございます承知いたしました。
0:27:55	規制庁コサクですけど、大枠はそういうところですね。
0:28:01	改めて12月の資料を見たんですけど、12月にMOX先行で再処理に展開をしていくということは書かれていて、
0:28:11	なので
0:28:15	今回の資料の側に書いてあるポツについては12月に全体的に言うてあることと、
0:28:23	うちの具体的なその後の作業の状況というのは、MOX再処理で書かれているというこ等、
0:28:30	なんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:31	最後に中川が言ったようなところでMOXであったものを最初に県から展開をしてたん立進んでるということでは実態は、
0:28:42	なかったはずで、
0:28:45	結果として、現状再処理でやられてるのは、MOXの言う通りにやるようにしましたということなのか。
0:28:53	再処理の特徴から少し工夫をしなきゃいけないというところの工夫を整理をしているところということなのか、どっちなんですかね。
0:29:04	はい。日本原燃の松江でございます。ただMOXのコピーをしますというのを申し上げてるわけではないつもりで書いてるんですが、ただ、
0:29:16	何て言うんすかね記載として特段変える必要がないところはもうちゃんと整合させる、それから分類的なものも整合させるただ、
0:29:26	歳出としてこう書かなくてはならないところ、そういったものは、最初への説明としてこうあるべきだというところは、目途、
0:29:37	何ていうかねものが違いますから、各ところが違うわけですけども最終として特有のことに関してはそれは、その記載を再処理として行うという作業をやっています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:50	なので、鳥栖、そういうところを気にしながら作っているということ で、ただなんですが、MOXをとったら真似ているだけだというわけじ ゃありませんということも、
0:30:02	今回ちょっと字数借りるかどうか、よく工夫しますけども、そういうこ とがわかるようなこともちょちょっとだけ付言したいと思います。以上 です。
0:30:14	長コサクです。それが再処理側の論点だと思imasので、形式的な今書 いてあるようなやつを書かなくてもよくてその話だけ明確にしてもらえ ればと思います。
0:30:26	で、
0:30:28	とその作業状況ってのはいかなものなのでしょうか。
0:30:36	具体的に言いますとここで言ってます別紙の1から6の各所でそういっ たものが出ていまして、原則原則、全く教諭。
0:30:48	MOXと共用だけはそれをほぼ言葉遣いを直していく。ただ、再処理特 有の部分再処理の設備としてこだわらなきゃいけないというところは、 どういうものかというものは
0:31:02	もうすでに記載。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:04	これまでも記載されているもの、そういったものを整理している。ただ、整理してるってのは何ですかね、構成上ですね資料構成とかも変更しているものがありますので、資料構成上の何ですかね、今までの整合、そういったものをやっているということ。
0:31:22	運転そのものは私どもとしては承知しているつもりで書いております。
0:31:31	コサクですけどすみません何を言われてるのか全然わからなくて、
0:31:38	等、そもそも10月以降ですね、原燃内でちゃんとレビューをし、検証 終えたものとして提出をしてくださいと、その上でヒアリングをします と。
0:31:50	いう話をしていながら、ここまでのところの、非提出された資料を確認 しすると、整理ができていない。
0:32:00	とてもレビューをされて、
0:32:03	支社でまとめ上げられた資料とは思えない。
0:32:07	ものがずっと出続けていると。
0:32:10	ということで、
0:32:11	改めて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:14	担当してくださいということを管理課から申し上げてると思うんですけど。
0:32:20	そ例で、
0:32:22	改めたところで、どこまでのものができ、
0:32:26	行ってきます。できてるんですかっていうとちょっと語弊がありますね。
0:32:30	どんな
0:32:33	整理上、まずはレビューとしてどこまでやるべきかっていうところがま とまっているのかと。
0:32:40	ということですし、それを踏まえた作業がどう進んでいるのかと。
0:32:44	ということをお聞きしてるんですけど。
0:32:48	日本原燃の布田です。今古作さんおっしゃっていただいたところの対応 なんですけどMOXの方で対応しているようにまずはルールのチェックす る者をですね、選任して、別紙1から6選任して、
0:33:02	そのルールをチェックするものだと、記載の内容ですね、そこをチェ ックする、そのレビューボードのメンバー、あとはですね、各地区上で もですねモック数の資料等。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:15	比較しながらどういう点に差異があるのかというところを整理しながら ですね、今かけ合わせ書き合わせていると、というような状況になってま す。
0:33:26	資料によってはですねまとまってきてるところもあるような感じでして 内部火災であったり、
0:33:31	あと外傷関係ちょっと進めてますけど、そういうものが、
0:33:35	確認してでき上がってきそうだというような今状況だというふうに認識 しております。
0:33:44	コサクです。今言われた体制自体は10月から言われていたことだと思 うんですけど、それがうまく機能してなかったというところを、これま でのヒアリングでの話も踏まえて、
0:33:58	MUC数のレベルに
0:34:02	合わせられる認識をそれぞれの人が持つ。
0:34:05	レビューなりの、
0:34:08	対応、
0:34:09	が始まっているところで、家財なりといったところはある程度の形まで できているので、全体的に展開していきますということですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:21	人間の性状です。はい。レビュー終わって全体的にやるべきことというのを展開してしっかり確認して資料を切り上げていきたいというふうなところでは。
0:34:32	はい。補足です。
0:34:34	今の点マツダさんは把握されてますか。
0:34:40	どの条文のものがどの程度のレベルかということは各毎朝話をしてますしその進捗は確認しております。
0:34:53	はい。コサクですわかりました。
0:34:55	私の質問の仕方が悪いのかもしれないんですけど、そういったことを最初から松田さんの口で言ってもらえると非常に助かるなと思ってます。
0:35:06	今後よろしくお願いします
0:35:08	はい原燃の松田です。すみません適切なお答えができなくて申し訳ありませんそのようにしたいと思います。
0:35:17	宮城電車でございますちょっと補足をさせていただきます。正直、あの体育館に皆集まりましたと言っても、ボックスボックスの資料を最初に最初にしようと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:28	ということで作り上げてきたのが実態です。それに対して今、
0:35:32	大分、そういう、それぞれでやりましょうというよりは、こちらの方からも、私もちょっと最初にも兼務になったので、再処理の資料と、MOXの資料を突き合わせてやる時に作業員全部集めて、条文ごとにですね。
0:35:48	なぜこの資料作ってるのかっていう目的も含めて説明をして、横並びを図れてないところは、なぜなのか、それはどういうこだわりがあるんだっていうところも聞いた上で、それはこだわりであって、
0:36:00	その目的を達成するためには邪魔なものを排除するというので一つ一つ記載をですね、なぜこうするのかっていうのをちょっと話をしながら、最初は最初の特徴等書くところは、こうこうこういう理由だよね許可でこう言ってるよね。
0:36:15	そこは踏まえた上でこう書くんだよねっていうことを、目的とか、その趣旨を伝えながらっていうのを、まだちょっと全部の条文できてないの で今、溢水とか、火災であったりあと外部衝撃であったりということは 順次やらせていただいているところです。そういうことを踏まえて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:32	ちゃんとしたモデルが自分たちが説明しなきゃいけない資料に散らばっていきうようにということをやっていければなということだと思っておりました。以上です。
0:36:43	保坂です。わかりました。ありがとうございます。今言われたような活動がそもそも体育館に集まってっていうことで大事なことだったんだらうなと思いますので、
0:36:52	そのあたりは、会合でも説明いただいた方がいい。
0:36:56	いうふうに思います。以上です。
0:37:02	規制庁田尻です。ちょっと会合から外れるかもしれないんで恐縮なんですけど、昨日ぐらいに何かスケジュールが示されたような気はしてるんですけど。
0:37:11	あれっていうのは、今あったようなお話が全部踏まえられた上で出されたものとおっしゃるのでしょうか。
0:37:19	はい。日本原燃志田でございます。趣旨が反映されたものではなかったのでえっと、
0:37:27	会今で言う最初に今やっていますっていうことも踏まえた上で、関係ないところまで書いてしまっているところがありますそこはちょっと修正をさ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>せていただきたいということと、あとは今やってる姿からしてくださるか、もうちょっとお時間をいただいてスケジュール感を示したいと思いますが、</p>
0:37:45	<p>そういったスケジュール感が示せる段階には最初のやつスケジュールを入れてお出しをするという形かなと思ってございました。以上です。</p>
0:37:53	<p>規制庁タジリ数、先ほど来おっしゃっていただいたようなやつでちゃんとやられようとしている下もあるんですけど、それで何か拙速に何かよくわからないスケジュール出されてまた変わりましたところまた変な出しましたって言って、</p>
0:38:06	<p>また戻られるのも面倒くさいところがあるので、</p>
0:38:09	<p>出すものはしっかり精査されて出されるんだと思うんで今後よろしくお願いします自分から以上です。</p>
0:38:19	<p>成長シミズたらそっか。藤規制庁側から確認事項ございますでしょうか。</p>
0:38:27	<p>分ければ</p>
0:38:29	<p>伊藤園側からの普通の資料について本日のヒアリング不満の修正版をいつごろだと、もし今伝えれるようでしたらお願いします。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:45	すいませんコサクです。ちょっと確認なんですけど、今日はこういう資料でしたけど、
0:38:50	こんばんは。どの単位でまとめて資料作られる予定なんですか。
0:38:56	耐震も含めて全部一体もの。
0:38:59	決算委員会の藤尾です。はい全部ワンパッケージにしてそのパーツごとに説明かなと思ってます。
0:39:09	そうすると次回提出というのは、
0:39:13	まだヒアリング個別にやるつもりで分けて、
0:39:17	で作られるのかと、どういう感じでしょうか。
0:39:27	日本原燃 s h a l l です。少々考えさせてくださいとしかちょっと今言 いようがないんですけど、ただ、我々、理解はしたつもりですけど、変 えた結果がまたもとはずですけども、なきにしもあらずな気もしないで もないので。
0:39:39	一応これだけで出ささせていただくってことも考えた上で、スケジュール 逸脱かは、別途事務局さんの方にも、案でもご説明できればなと思って ました。以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:55	規制庁日比です。わかりましたそれはまた事務局として何かお願いします。共通ご意見については以上になりまして、このままの回診の内容に移りたいと思います。
0:40:07	藤規制庁が耐震のメンバー触ってまして、原因はもう最初から開始のメンバーがいるって聞いているのでこのまま耐震に入ってもよろしいでしょうか。
0:40:19	日本原燃相原です。
0:40:21	はい。日本原燃六ヶ所です。このまま継続していただいて構いませんよろしくお願いします。
0:40:28	規制庁シミズさんになってございます。それでは森野さん進行のほどお願いします。
0:40:36	いや、いや、とりあえず、
0:40:38	はい。
0:40:40	すいません。それでは耐震の方に移らせていただきます。
0:40:45	まず、Web資料が重大事故等の堆積についてというところで、確認しておりますので、内容を確認しておりますので、補足して説明することがあれば原燃からお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:01	すいません。補足です。どの資料をどういうふうに進め、
0:41:05	今のっていう、ちょっとよくわからなくなっただけです。
0:41:09	そうですね。
0:41:10	うん。
0:41:14	まず建屋の最新の評価結果の方の審査会合資料かと思います。
0:41:22	コサクですそれ自体がちょっとよくわかんなくて今回、
0:41:26	パワーポが2種類出ていて、その補足的なものと思われるものも2種類出ていて、
0:41:36	さらにその補足があってということで大迫後なんでしょうけど。
0:41:47	4種類ある部分をどう進めるつもりなんですか。
0:41:53	日本原燃の大脇でございます。
0:41:56	今日、まず午前中というか、第1版ですね審査会合資料として、のをご説明したいと思っております、順番としましては、
0:42:08	MOX燃料加工施設に関わる、
0:42:11	資料、
0:42:14	という名前ですけど地震による損傷の防止及び地震要因とする重大事故等に対する施設の耐震設計についての資料。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:21	2 ページまでご説明して、そのあとで、再処理施設側ですけれども、
0:42:28	飛来物防護ネットはこの耐震評価の資料。
0:42:32	とあわせてちょっと A4 版で用意してます波及的情報の評価の考え方。
0:42:37	セットで、
0:42:38	その次にご説明するというを考えております。以上です。
0:42:45	はい補足です。
0:42:46	森野さんそのつもりでお話をされたということでもいいですか。はい。そのつもりでしたすいません。補足の方が漏れております。申しわけ
0:42:58	はい。わかりました。
0:42:59	よろしくお願いしますそこいつ、結構。
0:43:04	とりあえずポンプだけでしょ。そうですね。はい。
0:43:07	はい。それでは日本で飛ばしてございますまず初めの方といたしまして MOX 燃料加工施設に対しましての資料としまして地震損傷防止及び地震議員に、要員に対しまして重大事故等に対する、
0:43:20	施設の耐震設計についてでございます。こちらの方の資料につきまして は水曜日の日の面談の方を踏まえまして全体的な構成の方を見直しの方

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>を実施するとともに、内容につきましてもちょっと関係者の方で一度頭の方を整理させていただいて、</p>
0:43:36	<p>内容の方の記載のほうも見直し指導を実施させていただいたものになってございます。</p>
0:43:41	<p>1 ページ目めくっていただきまして 2 ページ目の方に目次の方がござい ますけどもこちらの方の目次の構成といたしまして、基本的にまず D B と S A こちらの方をしっかりと説明した上で、3 ポツとしまして、一定に 対する重大事故等の対処の成立性の確認というような形の方でつなげる ような形の方で、</p>
0:43:59	<p>今までの構成としましてはこちらの方各方針をまとめたような、各方 針方を説明した上で結果のほうをまとめて、説明してございましたけども こちらの方を B a b y S A という形の方で各種規則条文単位の方でまと めるような形の方で、</p>
0:44:13	<p>今回補正の方を皆をさしていただいております。</p>
0:44:17	<p>3 ページ目の方から具体的な 3 ページの方に関しましては、ごめんなさ い、4 ページにですね。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:26	こちらの方の構造計画でございますが、こちらの方は前回の会合の中身 ところからは変更してございません。具体的な資料といたしまして5ペ ージ目の方から各条文に対しての適用という形の方で、まず、
0:44:39	規則の56条と関しましてDBベースの内容にしてございます。こちら の方の各記載の内容としましてはまず許可における記載の内容とあと は規則の、
0:44:50	条文関係の方を記載させていただいてございます。こちらの方を受けて 6ページ目の方でございますけども、基本的にそちらの方下節項2とし ては何を記載していくのかといったところを、
0:45:02	まとめるような形の方でこちらの方は共通といたしまして、DB、あと はSAの方も同じような形の方の構成として見直しの方さしていただい てございます。
0:45:13	こちらの方を受けまして、各こちらの方のデータベースにおきます設 計基準ベースにおけます各構造部材についての検討概要という形でこち らの方は前回の会合の方でご説明している内容と方を展開するというふ うにしてございます。こちらの方が7ページ目。
0:45:32	8ページ目の方で展開させていただいてございます。9ページ目の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:39	方でございますけども、こちらの方といたしましては先ほど方評価の条件のほうを記載させていただいてございまして、こちらの方の9ページ目からは、各計算におきましての内容の方をまとめさせていただいてるといったところでございます。こちらの方に対しましても、
0:45:54	許可での合意での記載事項それを踏まえて、設工認としては、その内容を踏まえたところでの解析書を用いているといったところの展開とさせていただきます。でございます。
0:46:05	10ページ目以降でございますがこちらの方がこれまでの審査会合及びその内容の話で、原燃としてどのような対応を示してきたのかといったところを、これまでのベースのところを展開させていただいてございます。
0:46:18	こちらの方が10ページ目11ページ目。
0:46:21	12ページ目でございます。13ページ目からが評価の方法と、その解析結果につなげる部分としてございます。
0:46:29	14ページ目でございますけども、
0:46:32	こちらの方の図といたしまして前回の会合までにおきましては、基本的にS sの改正結果のほうを添付させていただいてございましたけどもこ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>こちらの方といたしましては、全体のほうの内容を示すといったところで、3.0C i の静的地震力の内容とあとSDの応答も、</p>
0:46:48	<p>踏まえまして各条文企業の方が下げているといったところがあるような形の方で記載のほうは見直させていただいてございます。</p>
0:46:56	<p>15 ページ目、こちらの方は変更ございませんで16 ページ目以降でございますがこちらの方が、設計基準における解析の結果といったところで16 ページ目、17 ページ目、18 ページ目と展開して、19 ページ目の方に、</p>
0:47:12	<p>設計基準としての、規則要求を踏まえたところでの内容の方を最終的なまとめとして展開させていただいてございます。</p>
0:47:21	<p>20 ページ目以降でございますがこちらの方が重大事故対処施設、施設としての評価の内容という形の方でこちらの方としましては、先ほどの設計基準と同様に、許可における方針及び規則要求のほうに記載させていただいてございます。</p>
0:47:36	<p>それを受けまして重大事故対処施設としての評価の内容の方を展開するというふうにしてございますこちらの方は基準地震動S s に対する安全機能を有しているといったところの展開なっておりますのでその旨のほうに記載させていただいてございます。</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:50	基本的に設計基準ベースと重大事項の記載としましては、以上のような形の方で展開の方に直させていただいてございます。
0:48:01	引き続き基準地震動を行ってみました地震力の重大事故等対処の成立性確認 23 ページ以降のところにつきまして、ご説明させていただきます。弓削谷口です。
0:48:11	めくっていただきますと 24 ページ目でございます。こちらにつきましては前回の会合でコメントいただいておりますのでそちらを整理をさせていただきます。
0:48:20	コメントの内容としては大きく三つあると思っております、まずはそのなぜ、1.2 倍の地震力に対して確認するというにしているのかと。
0:48:29	ということと、どうしてその 1.2 倍という数字を決めているのかというその成り立ちですとか意味を、安全審査の時の議論に立ち返って整理をなさいと。
0:48:39	それを踏まえて、何をもって重大事故等対象が可能であるという説明をするのかということをごきちんと整理をして説明をするべきと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:48	<p>ということでコメントをいただいていたと思います。その内容について回答として整理をさせていただいた内容が次の 25 ページ目以降のところ です。</p>
0:48:58	<p>まず 25 ページ目のところでございます。</p>
0:49:01	<p>まずですね今回重大事故等対象施設につきましては先ほど富樫から説明 がありました通り、加工施設の技術基準に沿って耐震上の必要な強度が あるということを確認しております。</p>
0:49:14	<p>その上でですね、目標加工施設については、事業変更許可の申請書の中 で、我々としては、設計基準事項で想定した条件よりもさらに厳しい条 件を想定しても、</p>
0:49:25	<p>重大事故等に対処するためのちゃんと機能があるということを確認する ことを要求事項として示しております。</p>
0:49:32	<p>この際ですねこの設計基準で想定した条件よりも厳しい条件として、そ の基準地震動の 1.2 倍をした資料をこれ指標として、</p>
0:49:42	<p>設定をして、そこを、まずはターゲットとして、その場合でも、重大事 故等対処ができるということを説明をするということで考えておりまし た。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:52	これはもう少し細かく書いたのが次の 26 ページ目でございます。
0:49:57	ここで実施をする重大事故等対処の成立性につきましては、事故の発生防止ですとか拡大防止の措置がきちんとできるということを確認するのが内容だというふうに考えております。
0:50:08	この基準を超えたところの評価になりまして、実際どういった地震力に対して評価をするかというところの設定として、1.2 倍の地震力というのを設定をして評価をすると。
0:50:20	ということでしたというものでございます。
0:50:23	次の 27 ページはですねその節燃料加工施設で想定をする重大事故というのはどういったものかということもこれも当時安全審査の中でご説明させていただいた内容で、
0:50:34	火災によってMOXの粉末が警戒建屋外に放出され、刺されオフィスしてしまうというのが重大事故なので、これに対する対処がきちんとできることを示す必要があると。
0:50:46	いうことを整理をさせていただきました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:49	それを踏まえてですね 28 ページ目以降のところはですね、先ほどの前段の P S A でご説明をさせていただいた内容と同じような流れでご説明できるようにと。
0:51:00	ということでまたあわせてご説明をさせていただいているところでございます。
0:51:04	伊佐の許可の中で我々が述べました、1.2 倍の地震力に対して必要な機能を確保して、それが損なわれる恐れがないように設計をするということで、それを具体的に展開をした内容が、
0:51:17	次の 29 ページになるんですけども、その 1.2、S s に対して、きちんと重大事故等対象が、対応できる、その機能に着目をして、その機能維持がきちんとできるということを評価するという内容でございます。
0:51:32	それをさらに細かく具体的にしたものが 30 ページ目の資料でございます。これ先ほどのお示しをしました重大事故のシナリオの流れがこんなふうになっていますと。
0:51:42	ということで、それに対処するために必要なものとして、今回の P A 建屋が評価対象になっておりますので、P A 建屋としては、建屋が倒壊しないで、その場所にちゃんと
0:51:53	建物として立っていただけることと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:55	<p>ということとあと内部に存在するグローブボックスがちゃんとその場所できちんと立っていられると、いうことが必要になるということで、こういった機能維持の方針主に基づいて、評価をするということで、整理をさせていただきました。</p>
0:52:10	<p>実際の評価の結果は次の 31 ページ目にして、検定比が 1.00 を超えておりませんので、きちんと必要な機能を確保できているということで考えております。</p>
0:52:20	<p>通常の D B 設備の説明ですとこういったクライテリアを決めてそれを満足してれば O K ということなんですが、今回その重大事故等対処の成立性をきちんと確認をするということですので、</p>
0:52:31	<p>追加で各考察をして確認をしております。</p>
0:52:35	<p>その元になるデータが次の 32 ページ目でございます。これ実際の燃料加工さ提案で各会議で 1.2 S s のときに、耐震力に対して、</p>
0:52:44	<p>どれだけのせん断ひずみが出るかというのを示した図でございます。</p>
0:52:48	<p>折れ線の中に黒いポツが打っていますがここが実際の P A 建屋の応答の位置でございます。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:55	これに対しまして 33 ページ目以降のところでは考察を記載をしております。先ほど記載をさせていただきました通り、MOX で想定する重大事項は、
0:53:06	牧草粉末が系外に出ってしまうという事項でございます。
0:53:10	これに実際に対処するにはですね、燃料加工建屋としては、地上 1 階にある中央監視室等、もう遠隔の消火設備を起動させることによって火災を消火して、
0:53:22	その MOX 粉末が外に出ていくという駆動力を失わせるという操作をすることが必要でございます。
0:53:28	加えてですねさらにその外にもこの紹介をしてしまうことで、MOX 粉末が外に出るとするのは防止できているんですが、さらにその放出の経路をなくすということで、地下 1 階にあるグローブボックス排気系のダンパーを継承するという操作を想定をしております。
0:53:46	これ前の 32 ページ目にある、お示しをした図の中でですね、実際これが地上 1 階地下 1 階がどういったところになっているかと、いうことを記させていただいてまして、実際今回の評価の中で一番厳しい抱えられているのが、
0:54:01	近さんが今の耐震的になっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:04	こちらでもその 2000 マイクロという決めていたクライテリアでは十分低いところなんですけれども、実際に我々として、重大事故等対処の操作が必要になる。地上 1 階地下 1 階、こちらにつきましては、その地下 3 階よりも十分に裕度があるところで
0:54:19	実際 D S s になった状態でも、そこで応答として抑えられるということが確認できておりますので、10 分に重大事故等対象としては対応可能だと。
0:54:30	ということでまとめさせていただきました。実際のそのまとめの内容を書かせていただいたのが 34 ページ目のところでして、実際の応答がこれぐらいですので、十分に裕度を持って対応することができるというふうに考えております。
0:54:44	この 1.2 倍は S s に対する対応の考え方をこのように整理をしてまとめたものが、35 ページ目でございますこれ今まで述べさせていただいた内容の通りでございます。
0:54:54	これらを一式で整理をいたしまして次の 4 ポツまとめのところで、それぞれのまずは、耐震上要求されている条文にきちんと適合していると、さらにそれを超えた地震として我々が事業許可の中で言った 1.2 S s に対してもきちんと対処ができると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:10	ということで、今回の内容を整理させていただきました。
0:55:13	これらの内容につきましては今後設工認の申請書にきちんと反映をして いこうというふうに考えております。
0:55:19	今日まずこちらのP A建屋の評価の説明に関しては以上でございます。
0:55:25	はい。それでは繋がるいいので、まず1ポツから事実確認を行いたいと 思います規制庁が過日確認をお願いします。
0:55:36	規制庁ハバサキなんですが、
0:55:42	本資料に関して、耐震、1.2 S sゼロイチが出されてるんですけど も。
0:55:48	これは別途、この後説明があるのでしょうか。
0:55:54	はい。日本原燃谷口です。えーとですね本日、1.2、カゴメ耐震 1.2、S s 01 ですね補足説明資料を第二部の方でお時間いただいております。そ ちらでご説明をさせていただくかというふうに思っておりました。
0:56:10	規制庁浜崎です。技師長の方はそれでよろしければ今回はコサクです。 はい。
0:56:19	これが詳細議論が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:22	ある内容なんだったら別なんですけど大したこと書いてないので、まとめてやってしまう。
0:56:28	言った方がいいかなと思うんですよねっていうのも、衛生関係が入って、
0:56:33	午後ですって言われても何かこちらのメンバーとしてどうなんだっていう気がするんですけどそこら辺はどうなんでしょう。
0:56:41	やっぱり日本原燃谷口です承知いたしました。一応こちらの補足でまとめさせていただいた内容のS sとして、会合資料にまとめたというイメージではありますが実際の中身おっしゃられる通りほぼトレースをして、今こちらでご説明させていただきましたので、
0:56:57	一緒にある脇に置きながら、最後の資料でご説明させていただくということで議論させていただければと思いました。
0:57:08	コサクですけど森野さんそれでいい。
0:57:10	いいですかね。どういうつもりなんですか。
0:57:13	すいません午前中はパワーポイントを中心に確認する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:19	予定であり、規制庁カミデです。もともと分けようかなと、午後一番にと思ってましたけど、今%本の説明の流れで一緒に話を聞いてしまって、午前中で終わらせるということでいいと思います。
0:57:35	なので、補足というか考え方のところで事業者として、中身はいいんですけど、補足で何かこうこうなんですみたいなものがあれば、今説明いただけますか。
0:57:51	はい承知しました日本原燃谷内です。そうしますと耐震、1.2、S s - 01、これ改めて1.2 S s に対して、非常に御説明の中で、
0:58:04	詳細にご説明したものがいいかなというものをちょっと整理をさせていただいたものでございます。追加で補足をさせていただきますと、この資料はですね、一応今回、
0:58:14	今の会合の中でご確認をいただくのは、P A 建屋の内容として、目的を説明をするということなんですけれども、介護のコメントとしていただいていた内容の中にですね、安全審査の当時の、
0:58:27	議論を踏まえてということでお話をいただいていた。実際ですねこの一定の数の議論は、当時の安全審査の中では最初に3の施設を中心にご説明をさせていただいたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:39	<p>いうふうに認識をしております、当時の議論をということで、最初に3としてこんなことを当時シナリオとして考えていて、対応として設定をいたしました。</p>
0:58:50	<p>ということで記載をさせていただきました。</p>
0:58:52	<p>実際内容としては通しの4ページ目から5ページ目に掛けてのところでございます。</p>
0:59:02	<p>と想定している重大事故先ほどMOXの方につきましては核燃料物質を閉じ込める機能の喪失ということで表1の通し4ページの表1ですね真ん中ちょっと下辺り。</p>
0:59:14	<p>藪記載をさせていただいたMOX粉末が館野蘇武という外に出て行ってしまう事象ですということで整理をさせていただきました。最初に3は当時、重大事項の整理としては、</p>
0:59:25	<p>蒸発乾固ですとか爆発、あと燃料の損傷みたいなところを整理をします。</p>
0:59:31	<p>そういった内容として書きました。その上で4ページの一番下のところから、普通の地震を要因とする重大事故等対象の考え方ということで、加島野坂です。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:42	皆木そんなに大部でもなくて見てると思うので、すみません補足しなきゃいけないことぐらいで結構かと。
0:59:50	はい、わかりました。そうしますと通しの9ページ目10ページ目のところが
0:59:57	最後の資料の中にはあんまり詳しくない、書いてないところでした、実際重大事故として、重大事故が発生した時に想定主体のシナリオと、必要になる機能としてはこういったものを考えていますと。
1:00:11	いうことを少し介護の資料よりは、詳しく記載をさせていただいてますが、大きな流れは先ほどご説明をした通りですので、そこでトレースできるかなというふうに思っております。
1:00:22	こちらの補足につきましては追加でご説明した内容は以上でございます。
1:00:28	ありがとうございます。それでは本件のこの補足1.2S01について事実確認をお願いします。
1:00:38	はい。規制庁神です。この考え方のペーパーの方が詳しく目に書いてあるので、まず先にこれをさらっとと。
1:00:48	思います。まず、3ページの下のところの下線の記載がですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:57	なかなか何考えてこういう記載になってるかよくわからないんですけど、ちょっとここで言ってるところの
1:01:04	具体をもう少し説明いただけますか。
1:01:10	はい日本原燃谷口ですこちらはですね、あまりその考え方というのはこの資料の構成としてということでご説明をさせていただいている内容です。
1:01:20	1ポツの概要のすぐ下のところに、MOXの、添付として、これに関する補足説明ですということが書いてあります。そういう資料構成なのに、
1:01:32	再処理の説明のことが先ほど申し上げた通り、つらつらと出てくる内容になっております。これがその当時の安全審査の内容を踏まえると、こういった整理になってますと。
1:01:44	いうことで書いているんですけども、そのお断りを書くというイメージでこの3ページ目の下の文章を書かせていただきました。具体的な設備は今後、次回で審査されていきますので、当然その中で対象になった申請の対象設備に対して、詳細に説明を追加していくという意味でこういった記載をさせていただきました。
1:02:03	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:05	藤規制庁カミデこのあたりなかなか考え方がよくわからなくて、
1:02:12	第1回の申請対象設備はMOX数ですから、MOXの話なんですけど、 MOXの1.2S sの建屋の方針を説明する上で、
1:02:24	何かしら再処理の話も、基本的なところは聞いておかないと、考え漏れ なり何かがあるんじゃないかっていうことで、再処理の話もあるものだ と思っています。
1:02:39	その辺が、
1:02:42	目的みたいなのがですね、明確じゃないので、再処理をどこまで書 けばいいかというところも何か定まってない資料で、
1:02:52	我々も今、これをどこまでのテンションで、特に再処理部分見ればいい のかよくわからないっていう状況なので、その辺りはもう少し整理をし た上で資料上も明確にしていきたいと思います。
1:03:07	その点何か、現状で考えはありますか。
1:03:11	日本原燃谷口です。承知いたしました。今おっしゃられる内容あれです ね2ポツがいきなりその具体的な成立性の考え方になってんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:23	例えばですけどまずこの資料の位置付けみたいところで、きちんと整理をした上で、今回、確認するべきは、申請対象になっている稗田Kのことなんですっていうその評価の対象と目的。
1:03:37	をきちんと整理をするというのが、あるといいのかなっていうふうに思いました。
1:03:42	以上です。
1:03:45	はい、規制庁カミデです。その辺り私もまだ、今クリアに、ここで線を引き引けばいいということが見えているわけでもないんですけど少し検討いただいと。
1:03:57	いうところでお願いします。
1:04:00	あとちょっと続けて、高坂です。
1:04:04	すいません。コサクですけど、今の点で言うと、先ほどのパワポのほうの説明と相まって見るとですね、何となく
1:04:13	記載ぶりは足りないんですけど、宮尾、何となく理解できたところですよとですね、知事という関係等、
1:04:22	重大事故対処設備の指示をするという形で縦を見るという趣旨と、あと被人が作業する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:32	場所についても、
1:04:35	考えていきますよと。
1:04:37	いうことの大きく 2 点整理をされたんだと理解をしました。そうすると、それは再処理側も同じであって、
1:04:47	ということで 1.2 S s に対してこういう分類でこういうふうを考えていきますということは共通で話ができることなんだと。
1:04:58	思ったのです。その上で、MOX についてはどういうふうになっているのか、っていうふうに飛んで、MOX の場合は、こういう対処なのでこの部分がここの部分確保。
1:05:10	いうふうに言われると先ほどのパワポの資料での、地下 3 階が地下 1 階が、
1:05:17	地上 1 階がっていうのは、スムーズに入ってくるのかなと思いましたが、私の理解は、原燃の考えてることと、
1:05:27	同じ人なんですか。
1:05:30	はい。日本原燃谷口です。ありがとうございます。そういった整理で、きちんとまずは今回対象が建屋なんで、建屋として必要な機能が維持されてるか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:40	本当はここに設備が入るんですけど、設備としてちゃんと重大事故等対処ができるか、最悪それが駄目だったときに、ちゃんと現場で行って、対応するっていうことになってるんですけど。
1:05:50	その対応がきちんとできるか、そういう評価の流れの中で、じゃあMOXとしては何やるんですかって言うことをご説明するべきだと思いました。ありがとうございますそういった考えで、
1:06:00	同じ流れでご説明できるかなというふうに考えております。
1:06:04	日本技術者でございますちょっと補足をさせていただきます。
1:06:09	おっしゃっていただいている趣旨は理解はした、してるつもりで重大事故って何ってどこから始まって重大事故が、利対処ができるということの、一緒ってというのはどうやってやるんだと。
1:06:22	目的は何なんだってことに対しては拡大防止の措置ができることと、外に対して迷惑かけない、放出を抑制できることっていうことが結論だと、そういうことを達成するため、達成できてるかどうかを見るための指標って一体何かということは、
1:06:38	対処設備が機能が発揮できることと、対処がちゃんとできるという環境条件の面と、ということを見ていくもんだということがまず多分同時に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	あった上でそれぞれの論点にしたがって組み立てていくということかなと理解をしました。以上です。
1:06:58	はい。よろしくお願いします。神谷さんどうぞ。
1:07:02	はい、規制庁カミデです。
1:07:06	ちょっと続けて、
1:07:09	進めますんで、規制庁場の方も適宜巻き込んでもらえればと思いますけど。
1:07:15	まず資料の書きぶりで、
1:07:21	4 ページ目の 2 ポツ 1 の最小。
1:07:25	のかけ方だけなんですけど事業変更許可の安全審査においてとか、
1:07:33	その真ん中ぐらいに本件について安全審査において議論されておりって いうのは、議論の中身思い出されるのはいいんですけど、資料として書くのであれば、
1:07:46	申請書なり整理資料ってところがホールドポイントになってますんで、そういう資料の書きぶりというか説明ぶりにしていただければと思いますが、よろしいですか。
1:07:59	会議を受けた理屈です承知いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:03	あとちょっと中身の話ですけど、
1:08:07	4 ページ目にいろいろ書いてもらってはいるんですけど
1:08:13	3 パラ目ですかね、また書きのところで下線が引いて事故の発生ってところで、発生防止みたいなどの話が、一応ここには出てるんですけど、これ以降はですね、
1:08:26	事故対処の話ばかりしていて、
1:08:29	発生を防止するもの、要は、
1:08:34	一定に S s の地震力っていうのを想定した時に、動的機器は駄目だし、静的機器も駄目なんだけど、一定に S s にもつものは機能維持できますというのは許可の話なので、
1:08:48	発生を防止する観点でのね機能維持っていう説明が、
1:08:53	これ以降、パワポにもですね、あんまり出てこないんですけど、その辺りってどう考えてるんですかね。
1:09:04	はい。日本原燃の井口です。それでいきます今回の御説明がですねきちんとその重大事故等に対処できますかというご説明にちょっと注力をした内容で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:16	以降ちょっと事故の発生側の話を記載をしてないという状況になってます。当時の審査の中で、実際に事故の発生を想定するものについて、
1:09:29	1.2 倍の S s で、
1:09:31	1.2 倍の S 基準を設け、設計基準を超えたところ、
1:09:37	になりますので、そこで全部壊れてしまってるっていうことになるのと対処が何もできないということになるので、実際にその 1.2 を想定するものについては、そいつらがまず、そこにあって、
1:09:49	その時に、基準を自身が基準を超える、
1:09:53	要員で、何かしらの重大事故が発生するということを想定をして、そこからや重大事故の対処ができるかっていう、いうことの評価に入ったたというふうに認識をしておりますので、
1:10:05	そういった内容をちょっとここにもきちんと書き下した上で、発生してから、重大事故の対処の防止をするっていう流れで、記載をさせていただきたいというふうに思いました。以上です。
1:10:16	はい。規制庁、カミデです。
1:10:21	会合に向けて、それをちゃんとパワー法であり、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:26	この資料にも盛り込んで説明されるっていうそう、そういうスケジュール感で大丈夫ですかね。
1:10:35	はい。日本原燃谷口です。そういった対応させていただきたいというふうに思います。
1:10:41	はい。規制庁深見です。わかりました。
1:10:45	そういった感じでちゃんと網羅的にお願いします。
1:10:51	あと、5 ページ。
1:10:54	の方に入っていきますけど、5 ページだけに限ったことではなくて、
1:11:01	許可段階で説明してることなのか、許可に書いてあることを、
1:11:09	今設工認段階として展開した話なのか、そまたはこう解釈として記載しているのかっていうところが、この資料
1:11:19	すごい難しくてですね、
1:11:22	ややもするともうこれ許可で説明済みですって書いてあるんだけど、実はそんなこと聞いたかなみたいなのところがあって、一つ一つ追いかけていっても大変なので、
1:11:33	きちんとですね、許可として、きちんと書いてあること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:40	なのか、施設工認段階での話なのかって、これ書きぶりをきちんと分けて、わかるようにしていただきたいと思います。よろしいですか。
1:11:50	はい日本円で谷口です。承知いたしましたありがとうございます。当時、どこまで議論が進んでいてここまでは終わっていて、ここは今回、その詳細設計として書いてる内容ですみたいところが、きちんと。
1:12:03	ご理解いただけるように書き分けて記載をしたいというふうに思います。ありがとうございます。二本木西田でございます。
1:12:11	そういう意味で整理をさせていただくことが前提ではありますがおそらく言われてるのは建物設備のうち一定程度の耐力を有するものが、機能を維持するっていうので、
1:12:22	対処の前提で、こういうことを考えてますってことを書いてますこういうことを直接的に書いてる文章は確かにありません。許可上は、先ほどカミデさんが言われた機能が維持できるとしているもの。
1:12:36	ていうのと対象に必要なもの、あとそれを収容する建屋に対して、それぞれ設計方針を述べているということです。対象側については、
1:12:47	必要なものをエントリーして広域、こういうものを使って対処しますと書いてあるので中間段階においてその前段階のものってのは、許可上も確かに整理資料上も出てこないと思ってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:58	そこは規則を作る時の検討会、
1:13:04	規制委員会の方でやられた検討会であったり、規則でのご説明を受けた時の趣旨であったりということも踏まえた上で、行間を埋めてる部分があります。
1:13:15	そこは趣旨我々の理解をした趣旨なのでそういうことがわかるような線引きをして記載を展開をさせていただければと思っておりました。以上です。
1:13:28	はい。規制庁川辺です。よろしく申し上げます。趣旨としては言った言わないの話をしたいわけじゃなくて、今の設工認段階の
1:13:39	解釈というか話がふさわしいかどうかという話だけをしたいのでちゃんと分けてくださいという思いです。
1:13:50	その他5ページ目で2.3ポツはちょっと具体的なところ書いてあるんですけど、まずは再処理とMOX分けて記載をいただければと。
1:14:05	思います。その点はよろしいですね。
1:14:09	はい。日本原燃谷口です。括弧書きか章立てかできちんと分けて記載をさせていただきます。
1:14:17	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:19	規制庁カミデです。特に再処理がMOXもそうなんですけど。
1:14:25	じゃあ、これでどういう設計にしたらいいのかっていうところが、よくわからないんですね、説明は正しているんだけど、じゃあ、設工認、設計及び、
1:14:38	工事の認可の審査の申請書を作るにあたって、どんな、何がここから展開されるのかっていうのがよくわからないところなので、
1:14:49	その点は明確になるようにしないと結局この後、3ポツで、その展開があるんですけど、ここの整理がうまくいってないんで、なかなか頭に入っていないという状況ですから、その点は意識して修正いただければと思います。
1:15:07	はい。日本原燃谷口です。承知いたしました。気持ち申し上げますと、次の2ポツ4のところ、じゃあ実際に必要な機能って何なんですかって言うことを書いた上で、具体的にじゃあそれをどう展開します。
1:15:23	3ポツに書こうって思っておったんですけど中断なので、2ポツ4のところの、繋がるための記載が足りないのかなというふうに認識をしましたのでここちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:34	きちんと記載をして、なので、こういう機能を持たせて、それを接合にね、確認していくんですけど、そういった中でにさせていただこうというふうに思いました。
1:15:46	はい。規制庁、上出です。
1:15:49	2ポツ3まで、2ポツ2とかもそうですけど、SFの方とかで、何か今日課長の関係で気になる点とかあれば確認いただければと思いますけど、よろしいですかね。
1:16:05	患者。
1:16:09	いや、先ほどもお話になった内容。
1:16:14	秋葉の話。
1:16:15	ただ、どういうふうを書くのかは、
1:16:18	皆さん、
1:16:20	自治体ばかりで、
1:16:22	この4について、
1:16:25	語らんっていうところで、
1:16:27	動的機器は多重故障であったりとか、1.2、
1:16:32	他社さん、ここには書くものなんですか。これを踏まえて再処理施設、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:40	伊奈前までの段階があまり再処理を意識されていないような気もするんですけど、そこは結構、
1:16:50	有限会社でございます。
1:16:52	はい。明確にちょっと入れてるつもりではいるんですけど逆に言うと、設計条件を超える降下火砕物の話は抜くスタではないですし、そういったところで再処理を踏まえながら、ここに書こうという気では書いていますただ
1:17:08	先ほども伺ったところで再処理を登場させる趣旨が何かということを考えて上で、どこからその線引きをして最初が入っを入れて、
1:17:19	利用した。
1:17:21	ただ、このタームでどこまで通させての整理が必要かなと思います。現状はそういった意味で在所よりMOX書き分けてはいいですけど、総合した形で書いてる。
1:17:46	行く等、
1:17:48	多分具体的にはちょっとこれから先のところでご説明があるのかもしれないんですけど。
1:17:54	さっきおっしゃっていた建物や設備の一定程度の耐力を有すると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:00	いうところで、
1:18:02	立山についてはある程度%%とかも含め、ご説明があるかあったかと思 うんですけども、この設備の一定程度の体力っていうのは何を言ってる のかを、ちょっともう少しご説明いただけませんかでしょうか。
1:18:16	はい。
1:18:17	宮城西田でございます。最初のくだりが初めて面図 2.3 の中で、対象書 いてます先ほどカミデさんからおっしゃられたのがまさしく、
1:18:27	その点を書いてないから多分下に繋がらないのかなという理解をしまし た。
1:18:32	例えば、MOXであれば、グローブボックス岡グローブボックスの中で 火災が起こってそれを消火をすると、消火自体は、グローブボックス型 の機器を一般に直接、画素吹きつけるというやり方ですので、
1:18:47	支持するグローブボックスであったりそこに繋がってる消火正確消火設 備、そういったものが、この一定にS sのときに、機能が維持できる と、まさしく、そういった消火ガスが増えるんだと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:59	<p>ということが期待される機能かなということで思ってまして後は、ダンパ系もそれがその時点で閉止ができるということも、要求事項なりそういうものを、</p>
1:19:10	<p>対処の内容であったりそれに対して必要な設備であったりというその機能であったりエントリーさせて、次の指示できること、あと一定程度の体力があることってことにつなげるのかなと思ってました。以上です。</p>
1:19:26	<p>規制庁カワラサキです。わかりました今後多分、そこら辺が補足されるということで、やはりこういうまさに設工認として、と。</p>
1:19:37	<p>昨日、</p>
1:19:38	<p>がですね、確保できるというところを一つの重要なポイントとしてご説明されるというところが、おそらくそのDBとの違いになってくるということで理解しましたので、そこら辺が、</p>
1:19:51	<p>具体的にどういったレベルの、例えばその、</p>
1:19:57	<p>建屋の場合は、スケルトンカーブで示されていていろいろ議論がなされるかと思うんですけど、いまいちその設備の状況、MOX側については先ほどおっしゃっていただいたような火災関係であったりとか、あとちょっとこの資料で書かれてないのか。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:12	あまり書かれてないと思ってるのが、工程室のフィルタとかですね、排気系のフィルターとかの関係であったりとか、建屋の間、工程室側とかで言うと、
1:20:24	そもそも除染係数DFを仮定しているものについて、どの程度、それとの関係において、確保すべきなのかあと、そのフィルターとですね、建屋の関係もですね正直、よくわからないところもあって、
1:20:38	そういった放出抑制というか、そこら辺の観点での説明が、ちょっと全体に不足してるんじゃないかと考えますが、いかがでしょうか。
1:20:49	はい。与儀仁科でございますはい先ほど神谷さんのご指摘の次につながるという意味で機能が維持できるという件は、おっしゃったのか、岡崎さんからおっしゃっていただいた通り、
1:21:01	最初そのもの直接というも後は、外部放出を抑制するという、奥瀬系のところのフィルターであったりダクトであったりというところのお話も込みだと思えます。
1:21:12	ただ1点事業変更許可の中でもですね設備の機能については個別にその機能維持との関係で、許容限界を設定するっていうのを書いてあるところでございます

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:24	<p>どういった機能を維持するかまでは、概略は許可常務会であります。設 工認に行きますとそこを具体的に設備の構成とかと踏まえて展開すると いう認識はあるんですけども。</p>
1:21:36	<p>今回申請対象が建屋ということもあってどこまでここで今回言うかとい うところはちょっと整理をさせていただければと。</p>
1:21:42	<p>本当思っておりました。以上です。規制庁川崎です。大体わかったんで すが、ちょっとその上で、</p>
1:21:50	<p>あえて聞くと、例えばフィルターを例示している。</p>
1:21:55	<p>他建屋側というんですか、そちら側にはどの機能があればいいんです か。支持機能があればいいんですか。</p>
1:22:03	<p>それとも何、何ていうんすかね。建屋側として、さっきおっしゃってい た支持機能であったりとかアクセスルートであったりとかに加えて、こ ういったところを確認すべきと。</p>
1:22:16	<p>言ったところろうは、まだこの段階では、示されないもんなんでしょう か。それとももう、説明する事項は決まっています、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:26	それは具体的には第二グループですか、以降で示されるけどということなのか、そこら辺をちょっとイメージを把握しておきたいんですが、いかがでしょうか。
1:22:37	はい。乳井西田でございます。建屋で今回要求するのは先ほど効率経路形でいきますと、1 事故支持機能だけです。それ以外の機能は期待はしてませんので、
1:22:48	そういったことを明確にできればなと対象であったり、MOX 粉末への外部への経路っていうものを説明してそこに必要な設備を書いた上で、
1:22:59	それに対して、建屋が要求する機能というのは何かというのを展開をさせていただければと思います。
1:23:05	実際ご提出自体の壁とか天井にDFを期待をしているよりは、そこで別々によって膨張したものが、排気系の経路を使って外に行くということで、その中間にあるリーダーは、必要なDFは見込んでますけどもそういうものを期待をしているということなので、
1:23:23	武側としては支持機能があればいいという結論かと思っておりました。そういったことがわかるように展開をさせていただきたいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:31	規制庁河瀬です。フィルタ等の関係では、概ね1回できましたので、多分全体像として、ちょっとさっき藤田に特化して聞いてしまったんであれなんですけど、さっき言ったアクセスルートであったりとか、
1:23:45	支持力の閉じ込めとか、いろいろな観点の上での、このような、
1:23:52	ことを満たせば、必要な機能が建屋、設備総合で満たされるんだという、ご説明を、の、多分方針を、多分この資料で語っていただくということに理解したので、
1:24:05	よろしくお願いします。とりあえず私から、ここで、以上です。
1:24:09	カミデさん、お願いします
1:24:10	すいません小阪です。今の点
1:24:15	この資料見ても思ったんですけど、許可でワーメインのホースパス以外に、
1:24:24	SaaS負圧管理しなくなるということからの、
1:24:29	建屋経由での漏えいと。
1:24:32	いうことも評価をされていてですね。
1:24:35	その時には

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:38	大きな何か抑制の機能を見込んでないのであまり議論してないんですけど。
1:24:45	大崩壊してしまっは、やはり良くない。
1:24:48	わけで、
1:24:50	その辺りについて、
1:24:52	どうお考えになってるのかっていう古藤も説明いただけますか。
1:24:58	はい。乳井西田でございます。おっしゃっていただいたところは一応さらさらりと刺激趣旨が伝わらない気もしますが、当初 6 ページの下側には、
1:25:11	有効性の不確かさに確かに経路としてエントリーをした上で、ただしおっしゃる通り、建屋に対してどういうことを要求しますかってよりは、100 手形の関係外部放出の関係で影響がプラスになるかどうなのかっていうところが着眼点でしたのでそれ以上深い議論は、
1:25:28	してなかったと記憶をします只野。
1:25:30	おっしゃる通り外壁に変な話ですけど、穴が開いて、そこから出てかれるようなことはさすがに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:37	ない。いや、それはもう大規模損壊だという理解です。その手前でひびが入るとかであれば、別にそれから、そこから隙間ができて、外に出るっていう。
1:25:48	駆動力もないですし、そこから地上階上っていく元気がないご努力もないということで、そういったことに対しては、建屋の壁なりが、まずはちゃんと建ててくれればというところで、北井。
1:26:01	そこが北井近田と思ってました。以上です。
1:26:08	すいません小坂です。そういうことがわかるようにしてもらわないと、これ書いてる意味がないと思うんですよね。で、要は許可でこういう評価をしたという時にどういうところまでを条件として考えてるのかと。
1:26:22	その条件についてはやはり設工認で確認をすると。
1:26:25	いう必要があって、
1:26:28	それが
1:26:31	Sクラス相当の評価でもう終わっているということなのか1.2 S sの時に何らかを確認するという事なのか、何らかって言うのは、この評価の内数で交換されますということなのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:45	その辺りもちゃんと明確にしてもらえればというふうに思います。以上です。
1:26:51	はい。与儀西田でございます。あれ。
1:26:54	それでカミデさん河崎さんとコサクさんからも最後におっしゃられた通り 2.3 で書いてることが、そのあとに出てくるこういうものを期待するんだということに一对一に結びついてなくて、
1:27:06	突然登場するような形になってるところが、不安ばかりが現在のおっしゃる通りだと思いますんで網羅的に何を確認しなきゃいけないかっていう答えが導けるように必要な情報をちゃんと入れて、
1:27:19	この 2.3 あたりその前のくだりも含めてですけど、展開をしていきたいと思います。以上です。
1:27:27	はい。補足ですよろしく申し上げます。で、今 2.3 で言われたんですけど一番気になるのは 2.2 の一番最後。
1:27:34	でして、先ほども少し触れられた体力って何ぞやっていうこと。
1:27:39	なんですけど、これはかなり飛躍し過ぎこんな説明は受けてないし私はこういうふうには思ってたところが、
1:27:47	あるので、ちゃんと整理をして説明いただきたいと思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:53	そこら辺は原燃はちゃんと検討されてるんですか。
1:28:01	はい。日本原燃谷口です。ここの
1:28:05	5 ページ目の真ん中辺りのこのように書いてあるところから、これを踏まえていうところの流れなんだと思っています。
1:28:13	実際にはですね安全審査の当時の議論の中でも実際にその 1. 何倍まで設備としては耐えられるんですかっていう議論も当時踏まえて、
1:28:25	1.2 という数字を決めて評価をしたというふうに認識をしております。
1:28:31	実際この評価につきましては、我々としては、今思っているのは、実際その基準を超えたところの評価になりますので、
1:28:41	様々な不確実性が含まれているというふうに思っていますので、評価のまずは指標として、どこを目安に評価をするんですかということ踏まえて、今 1.2 という整理をさせていただいたというふうに思っています。
1:28:56	それで今我々の中で考えていることをもう少しきちんと書き下し性書き下して整理をするっていう、そういうことが必要なのかなというふうに思いました。
1:29:10	すいません。規制庁、上出です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:14	今、様々な不確実性と言われたんですけど、
1:29:19	具体的に、
1:29:20	何のことなのかって、様々な不確実性だから考慮しなくていいと言われてるような気もするんですけどそれもなぜなのか全然よくわからないんですけど。
1:29:31	説明いただけますか。
1:29:34	はい。日本原燃の谷口です。
1:29:37	我々が思っていたのはですね、あくまでもその設計基準を超えたところの状態ですので、実際にその設備がこういった状態になっているかといったことが、
1:29:48	きちんと設計として想定される状態ではないというふうに思っています。
1:29:53	ですねそこには評価の中で、ある程度の、ある程度のというか、設計を超えたところですのでもう正直言うと本当にどうなっているかと。
1:30:03	はい。5冊です。申し訳ない。
1:30:09	随分検討ができてないということはよくわかりますというところなんですけど。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:17	そういう不確実さワー消していただいたないと重大事故対処設備施設としての設計ができてないということになっちゃうと思うんですね。
1:30:26	なので重大事故対処設備施設の設計としてどこまで考えるかということ をちゃんとまとめてくださいっていうのが今回のタスクです。
1:30:37	そういうのも実は許可の段階である程度基本設計方針としては整理を しておかなきゃいけないだろうと、基本的設計方針、
1:30:46	いけないだろうということをお話をして、それによって本文なりテンプ なりで、Sクラスの設計のやり方を踏襲すると。
1:30:56	ということが書かれて、それであれば
1:31:01	半判断基準として迷うこともないから
1:31:05	基本的設計方針としては議論することはもうないですねということで許 可を出したと。
1:31:12	ということなんですけど、こういうような話をされてしまうと、そこでの 話の、
1:31:19	考えが崩れてしまうので、
1:31:22	この辺りのものは、果たして許可事項ではなかったのかということまで 含めて議論しなきゃいけないというふうに思っています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:31	ていうところをちゃんと許可の議論を踏まえて、今回整理をしてくださいと言ったんですけどそこが何も整理されてないということです。
1:31:39	以上です。
1:31:43	大日本原燃谷口です。今許可の記載の中で耐震設計でやっている内容を踏襲をして評価をしますということを記載をさせていただいています。
1:31:54	我々今回思っていましたのはですね、今回の評価は、耐震設計でやっている評価のやり方そのものは、同じやり方をしているんだというふうに思っています。
1:32:04	ただし実際に評価にあたって、今回その 1.2 という数字を入れてますんで、入力が変わりますというのがあると思っています。あと一番最後、すみません、古作ですけど入力が変わってるのはそもそも許可で入力を変えって言ってるんだから、そこは踏襲の範囲。
1:32:19	からどうのこうのの範疇に入りません。
1:32:23	その上で踏襲すると言ってるんだから他のやり方は基本一緒だということであって、
1:32:31	それをす入口のところから多分外されて、1 から話をされたんではよくわからない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:38	のですよ。さらにその中に、1.2 S s の入力の話までされちゃうと余計わからなくなる。
1:32:44	ちゃんと整理をしてお話ください。以上です。
1:32:50	はい日本原燃谷藤です。承知しました。はい、入力が変わってるということ、あと出力としての最後の機能維持のところは考え方がありますねこれは。
1:33:01	許可の中でもお話をさせていただいているというふうに思います。ですね実際それでどこまでが変わる範囲ですがどこまでわからない範囲ですかと、いうことをきちんとご説明し、整理をしてご説明できるようにしたいというふうに思います。ありがとうございます。
1:33:20	規制庁カワラサキでちょっと1点細かい細かくはない。2.3の最後の表の2なんですけど、ページで言うと7ページのところについてるやつなんですけど。
1:33:30	ちょっとこれ記載がよくわからないところがあってボックスの方の、
1:33:34	3行目ぐらいのその際、重大事故等の発生を仮定するグローブボックス以外は、損傷等により、工程室内に飛散漏えいすることが想定されるっていうのはこれは何を言いたいのかをちょっと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:46	確認させてください。
1:33:48	はい、宮城石田でございます。
1:33:51	重大事故を仮定するグローブボックスは、MOX粉末露出した状態が使って、上ボックス内火災元がいる。いわゆる潤滑油があるグローブボックスですこれ全体としては8基。
1:34:03	それは一気にS s に対しての要求事項は許可でもお約束をしています。 それ以外のグローブボックスっていうのは連結された状態にいるものもありますけどもそういったものは、Sクラスであったりというようなグローブボックスになります。
1:34:17	ということで許可のときも、それ以外のグローブボックス型生きると、そこでちゃんと立っていて引き算上が全くないということじゃなくてそういうことも想定をすると。
1:34:28	ということが前提条件で書いていたと理解をしています。ただ事故評価上は確かに直接的に書いてなくてそいつが飛散漏えいしたとしてもそれが外部に放出される増減がないので、外にはいきませんということで、
1:34:43	そこで話が終わっているんで、そういうことも含めて全体のシナリオとして書いたつもりではあります。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:50	規制庁カワラサキ書きたい事項は理解したものの、多分それ、
1:34:55	ですね、この表で、なぜ、
1:34:59	ちょっと違和感があるかという、
1:35:01	多分その本数値の話を多分最初に書かれるとされていてそれがS Aのシナリオで、
1:35:10	そもそもそのは8基での、グローブボックスからの工程室内の飛散漏えいっていったところが想定してるんじゃないかと思っていたから。
1:35:22	ちょっと繋がらなかったんですけど、ちょっとその点は、何か文章の工夫なりをできるでしょうか。
1:35:29	はい。与儀西田でございます。はい、おっしゃる通りですね。まず委員の話をちゃんとした上でそれ以外の話があるのであれば書くということですねメインのところはおっしゃる通りで、
1:35:40	火災を仮定して発生が仮定されるグローブボックスからグローブボックス排気系に行くっていうルートと、そのボックスから瀬瀬西さん漏えいをして、掲載経過が外に流れていくという二つのルートがありますのでそういったこと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:53	またちゃんと書いて、そのために必要な設備って何かというのがわかり、機能維持しなきゃいけない設備が何かっていうのを整理をして展開をしたいと思います。以上です。
1:36:03	規制庁荻谷です。わかりました。
1:36:08	すいません。規制庁の大橋ですけれども、ちょっと今後、
1:36:13	少し大きく変わりそうな気もするのでですけれども一応コメントはいたします。ちょっと私の頭の整理も含めてということなので、
1:36:21	ちょっと確認させてください。
1:36:24	衛藤。
1:36:25	まず、
1:36:27	2.3 の部分。
1:36:31	5 ページ目のところから始まる 2.3 の部分ですけれども、一応ここでは、一応この三種類に関しては基本的にこう、
1:36:39	蒸発乾固水素爆発に関してフォーカスを当てたような記載になっていて、F T の損傷の話ってのは、記載してないんですけれども、4 ページを見、宮本町。
1:36:49	感じがあるんですけどこれ書いてない理由っていうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:52	基本的にこの資料は項目数に関して、フォーカス上げている資料で、あまり関係してこないからっていう部分でないという理由は、
1:37:02	はい、弓削西田でございます。はい、そうですねその次の2ケイン
1:37:09	さんの表示とかに出てくる要は、提出をするっていういわゆる1.2Hに 対してのある程度機能維持を求める者を対象に話を展開しようというこ とが、医師ありありな感じもあったので、
1:37:24	それに関係する事項として、蒸発乾固と水素爆発の話を書かせていただ いたというところでございます事故で、設計にならないというわけじゃ ないのでそこはちょっと全体の構成でどこ。
1:37:36	病院間で再処理を当初させるかっていうのを含めた上で、書きぶりはち よっと精査をさせていただきたいと思います。以上です。
1:37:44	はい、わかりました。
1:37:46	の関連性ですけれども、このこの資料、基本的にはMOX建屋に関して の
1:37:52	説明をするというような資料ではあるんで、2.4とか、なんかその制度 等はってな感じで何か書いてあったりとかして何かその主語がセガワな ってたりとかしてるので、全体を通して項目数、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:04	カプラーの説明であるような感じで、
1:38:09	入っていただいたらいいと思います。
1:38:11	あとちょっとすいませんコサクです。大原さん、ちょっと。
1:38:15	これまでの議論とずれちゃってると思うんですけど、基本これ全体を説明する資料で、
1:38:22	と、
1:38:23	あるところで、MOXと再処理ときっちり分けてと。
1:38:27	というようなことで、MOXの資料ってわけじゃないと思ったんですけど、
1:38:33	そうですね。はい。
1:38:36	宮城市田でございます古作さんおっしゃっていただいた通りでどうしても、
1:38:42	目過去の経緯からいきますと、再処理の重大事故からこの話、セルに対 するとか何を期待するかみたいな話になっていくところもあるので、
1:38:53	そういった重大事故対象設備や手順、事故対処設備を収納する建屋に 対してどういったことを期待しますかっていう話の見解をさせていただく のに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:03	再処理を入れて、全体の枠組みの中で展開をさせていただくということで整理をさせていただこうということで、思っておりました。以上です。
1:39:16	規制庁大橋です。すいません。
1:39:19	よろしく申し上げます。それと、
1:39:22	ちょっとこういう確認なんですけれども。
1:39:26	6 ページ目。
1:39:29	どっかの下から 3 行目の辺り。
1:39:31	うん。
1:39:41	ちょっと確認なんですけども、この炉廊下移動ロックするんだと結局おっしゃることが求められるってことでこの評価は、
1:39:52	ロッカーにそろえることだけを極力抑えてくるというふうには、その工程室の発揮に移行するとか、他にも非常に
1:40:02	漏えいの話はあるんですけれども、これ、極力抑えるかってのはこれも、
1:40:06	どういう観点でいう。
1:40:08	何ですか。これ、事故が対応。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:11	ちょっとその辺理由を書いといていただいてここ行かない。
1:40:16	で、またこの漏えい、廊下に漏えいするボックスが当局をされるっていうことは、7 ページ目の表の3の、
1:40:24	その二つ目のポツにも書いてあるんですけども。
1:40:27	これが何かその背 1.2 も、
1:40:31	定期の設計にどう関係してくるのかっていうことが、
1:40:34	10 ページ目とか見ると、現れてないわけですけど。
1:40:39	いかがでしょうか。
1:40:42	はい、乳井西田でございます。先ほど来、この文章全体含めて仕事の繋がりであったり、許可で書いていたこととの繋がりであったり、
1:40:53	行間を八尾になったりするところも大分ありますんでそういったところは精査をさせていただいた上で、今ご指摘の点も、何を建屋に対して求めるのかっていうことに繋がるように、見解をさせていただきたいと思っています。以上です。
1:41:09	はい。よろしく申し上げます。
1:41:15	はい。
1:41:17	そうですね。私からはとりあえず以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:23	と、規制庁カミデですちょっと今までの話を踏まえてなんですが、
1:41:31	2 ポツ 2 の最後の記載の回答がかなりプアーだったので、あんまり丁寧に休憩をし、あまり申してないんですけど、
1:41:41	今は他 C は
1:41:43	す。もう、僕許可を出したときの審査会合、審査会合じゃないです。委員会の。
1:41:52	に出したパワーポとかを見ながら、話を見たりしてます。
1:41:58	何が何かっていうと要は、令和 2 年 6 月 6 日に、審査会合で説明してもらったそのモック数の、
1:42:10	地震起因の重大事故のポンチ絵とかが出てですね、どんな対策があって、みたいなものを見ながら、この辺見ると、ちょっとまたわかりやすくなる。
1:42:23	ことなので、パワーポにも登場させた方がいいと思いますし、この資料もですね、その許可の時に作ったポンチ絵等を入れて、
1:42:34	さらに行って加えるのであれば、建物構築物としての 1.2 S s の対象範囲はこの範囲だみたいな形で、図示をしてくれる等今後話はしやすいかなど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:48	思いますのでそのあたりご検討お願いします。
1:42:52	はい。乳井石田でございます。はい。審査会合でも使ってる全体の
1:43:01	ですね対策を説明するを使いながら後は、
1:43:05	ご提出の範囲であった瀬瀬が今回重要区域じゃないの安全上重要な施設として登録した、1.2 S s に対する確認をする対象のエリアがどういうところなのかっていうのも含めて、
1:43:19	現在対象物が明確になるような、絵とかを使いながら説明できるようにさせていただきたいと思います。以上です。
1:43:28	はい。規制庁神です。よろしく申し上げます。先ほどは2ポツ3というところで一旦切ってしまったので、2ポツ4以降なんですけど。
1:43:40	中身は今までの話で大分ブラッシュアップされるので細かくは確認しません。
1:43:49	ただ、言いぶりでまた気になるところがあって、2ポツ4の最小のところ、
1:43:58	1.2 S s に対して必要な機能を確保することが必要であるっていうのが、
1:44:06	やっぱこういうところの繋がり的问题なんですけどよくわからなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:13	<p>やっぱ単純に何かこれだと本当にやらなきゃいけないことみたいな感じ。基準要求みたいなふうにも、私にはちょっと最初読めたんですけど、事業者が、</p>
1:44:24	<p>最初説明あったようにただ指標として求め定めたものなんですっていうのであれば、</p>
1:44:30	<p>すごくそういう考えとこういう必要であるみたいな言い方がちょっと馴染まないんですよね。その辺りも全般を見直して、正しい表現にしてもらえればと思いますけど、よろしいですか。</p>
1:44:45	<p>はい日本エネタニグチです承知いたしました我々としてどういうことを達成しますというような考え方で記載をさせていただきたいというふうに思います。</p>
1:44:54	<p>はい。規制庁、カミデです。</p>
1:44:58	<p>あと、これ以降ちょっと全般的に直されるので、読んでて若干気になったところぐらい。</p>
1:45:07	<p>なんですけど、3ポツは、9ページ以降の3ポツについては前からの関係ってところはちゃんと整理してくださいっていうことに、</p>
1:45:19	<p>なります。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:21	9 ページ目の、
1:45:25	3.1 のところでこれ再処理施設の話が出てますけど、これ網羅的になって いうことで、
1:45:33	そもそも建屋って何で再処理施設の 3.1 のところ、
1:45:37	2、
1:45:38	登場しないのかってのはよくわからないんですけど、このあたりも精査 不足だと思っていいんですか。
1:45:51	会議を受けてタニグチです。実際のその対象のシナリオとして、再処理 施設の対応で、建物がどんなふうに関与してくるのかっていうことが、 ないですというご指摘を理解いたしました。すみません。
1:46:06	メインです。説明するのがどうしても P A なんていうのがあって、ちょ っともう本当に簡単に書いてしまいましたっていうのが正直なところで す。実際のちょっとシナリオを踏まえて、どういった機能が必要かって いうことを、もう少しきちんと書いてみたいというふうに思います。
1:46:20	はい。前段の整理で、M O X 燃料ね燃料加工建屋で言う支持機能だった りみたいなのところ中心。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:29	同じ機能の再処理施設のものもあわせて説明しますということと、そういうもの。
1:46:36	が入ってくるんだと思いますので、精査をお願いします。
1:46:41	あとは、私からは一応最後ですけど、3 ポツ、
1:46:48	2、10 ページの 3 ポツ 2 (1) 。
1:46:53	ということで、
1:47:02	ここですれ最初の行から 4 行目ぐらいですかね。
1:47:09	事故対処の成立性の。
1:47:13	確認は行ってないっていうのが、
1:47:18	この辺の記載がよくわからなくて何で今設計の話をこれから、
1:47:23	してるものだと思ってるんですけど。
1:47:26	成立性の確認を行ってないから一体何なんですかっていうのが、質問なんですけど、説明いただけますか。
1:47:37	はい。日本原燃谷口です。ここでお話をしたかったのは
1:47:43	MOX のその事故対象として、近さん外に行く必要がなくて、なのでその周りでどうなってるかそもそももうそこに行かないので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:53	いいんですっていうようなことが、気持ちであってこういう文章になってます。実際に対応書としては先ほど申し上げた1階と地下1階で対応ができます。
1:48:06	いうことが言えれば十分かなと思いますのでちょっと表現は見直しをさせていただきたいというふうに思います。
1:48:13	あと、規制庁カミデです。なかなかよくわからないんですけど。
1:48:19	いた燃料加工建屋の設計としてですね。
1:48:23	1回で、
1:48:25	やる1.2S s設計と。
1:48:28	地下3階の1定年制設計に、
1:48:31	何らか差分を設けたいってそういう意図で、
1:48:34	意図だから、こういう話を書いているってということですか。
1:48:40	はい日本原燃谷口です。実際にその設計に差分があるわけではないです。実際の、例えばですけどさっきパワーポイントのグラフでお示しをしていたちょっとお待ちくださいね。パワーポイントで言うところの、
1:48:56	32ページ、32ページですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:04	実際に地下三階の評価として、2000、近いとかもう 2000 ちょぼちょぼだぐらいまでになってたとしても、1 階地上 1 階のところ、201 でないところできちんとそこで建物として建てられると。
1:49:20	いう状態になってれば、重大事故と対象としては、ちゃんと実施できますよっていうそういったことが、言えればいいなと思ってそんなことを書いてみた文章でございました。
1:49:31	おそらくそういったを書いた時の気持ちの内容になってない内容なんだと思いますのでここはちょっと記載を整理をさせていただければというふうに思いました。すいません。
1:49:44	はい、規制庁紙ですね
1:49:48	精査不足っていうこと。
1:49:52	なんだとは思いますが、
1:49:55	同設計方針の説明のための補足説明だと思ってますのでちゃんとその辺、
1:50:02	意識して書いていただかないと、
1:50:07	なかなか読みにくい資料で、もうそもそもいいところはなかなか入ってこないっていう感じなので、ちょっとその辺り精査するときに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:17	気をつけていただければと思いますと、とりあえず私の方からは以上です。
1:50:25	他規制庁から、事実確認あればお願いします。
1:50:29	規制庁カワラサキです。ちょっと今の成立性云々の話で、ちょっと1点気になったのが、
1:50:35	担保のところ、ですね。
1:50:39	このページで言うと25ページですか。
1:50:47	ここのところの図を見る等、この赤枠で囲われてる、祭典スキームですかね、良い病院ですかね。
1:50:57	その要因とする対処設備について成立性確認。
1:51:01	とされてるように見受けられるんですけど。
1:51:04	いや、これ許可の時の話からすると、
1:51:07	語弊があるというか、その対象範囲の説明が何か誤解を招くような気がするんですけど、ここで言いたいことは何でしょうか。
1:51:17	はい。宮城列車でございます。はい。言葉が完全に書いてないのは、認識をしました。一定に整数っていう、地震を起因とした時に対処する設備とかそういったものに対する一定に設置される耐震

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:33	<p>成立性という、耐震設計耐震計算を踏まえた上での成立性の確認というのをしていなければならない範囲というのをここですという話です。重大事故全般、機能維持であったり、</p>
1:51:47	<p>何だ、位置的分散であったりいろんなことをやって、事故の成立性っていうのを確認するのは全体パッケージではあるので、そういったこと語弊がないように誤解を生じないように、正しい日本語で展開をしたいと思います以上です。</p>
1:52:02	<p>規制庁カワラサキですよろしく申し上げます。</p>
1:52:06	<p>阿藤ですねちょっと私の方からあと1点だけ。</p>
1:52:10	<p>コメントなんですけども、</p>
1:52:13	<p>パワポじゃなくて補足資料ですか、成立性の考え方の資料の方に戻っていただいて、</p>
1:52:20	<p>次、S Aのシナリオのところの記載なんですけれども、右下で言うと、</p>
1:52:46	<p>江藤規制庁会議室ですか浜崎さん音声途切れておりますが、</p>
1:52:52	<p>何か結論部分のところが、不足し方の中で、</p>
1:52:56	<p>確認していて100テラを下回るって書いてあっていて、言いたいことはですね、追記そこはできるんですけれども。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:05	何かあたかも 100 テラベクレルを下回るから、
1:53:08	主要な放出経路以外の影響がないという説明で、
1:53:15	大きく言うとそうなのかもしれないんですけども、もう少し具体的に言うと、多分、高田八鍬河西元を有しない、他のグローブボックスについては、駆動力がないであったりとか、多分それ下と違って下ぶれの方向であったりとか、
1:53:30	体積膨張分がみたいなところですね。
1:53:34	十分考慮されているという説明だったかと思っていて、何かいきなり 100 テラに、
1:53:40	つなげていいのかってのがちょっとよくわからなかったので、
1:53:43	ちょっと一応、コメントまでしておきます。以上です。
1:53:47	いずれにしろ評価の時の話をですね、よく表していただくよう全体資料を精査していただければと思います。言葉遣いとかも、
1:54:06	一応、たくさん、
1:54:08	全体許可のときの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:10	言葉と合わせて整理して、金だったり要員だったりとか、そこら辺の話 って、いろいろ許可の段階で整理してるんですね。例えば、機能喪失 については、
1:54:22	勤務の言葉を使ったりとか何かいろいろやってたと思うんで、ちょっと 全体そういう意味で精査していただければと思います。
1:54:28	いろいろ入れてしまいました。以上です。はい。宮城西田でございま す。ありがとうございます。
1:54:34	当時、使っていた言葉なり考え方なりもう一度見直して、
1:54:40	正確に書きたいと思います。以上です。
1:54:46	あと、規制庁側から事実確認があればお願いします。
1:54:53	規制庁ハバサキ木です。ちょっと私の方からは、7ページの表3の私ど も、右側のボックスの施設の話でちょっと、
1:55:03	具体的なイメージを確認したいんですけども。
1:55:09	こちらで下側の工程室から廊下に漏れいする云々っていうのはこれ具体 的には、工程室、Bツーと地下2階と地下3階ですね。
1:55:20	を対象とするというふうに考えればいいかなという理解してるんです が。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:25	上のポチの話なんですけども、重大事故等の対処に必要な機器等が、
1:55:31	工程室の床や壁等により支持する機能が維持されるってということなんですけども、これは具体的には、実際この対処っていう意味では、
1:55:41	地上 1 回位の間室だとか、地下 1 回位の、から
1:55:49	吹き飛ばすでしたっけ。後、そういう操作を処理をするということもあるんですけども。
1:55:56	残していつてるってというのはこれは、近い 2 階地下三階の話をしてるのか或いは地上 1 階とか地下 1 階も含む話をしてるのか、ちょっとそこを確認したいんですけども。
1:56:07	弓削西田でございます。実際、この 1.2S s、うまい二倍の地震力に対して機能を維持すると言っている対象物は、
1:56:17	おっしゃる通り工程室という言葉を使ってしまうと地下 3 階と地下 1 階、両方あります。実際は、総合学科での S クラス向きの維持するということを要求する。
1:56:27	安重の範囲の纒纒より下 3 階の部分の話をしたと思って書いてましたが、そこがちょっと特定できないように行ってましてそこは修正をしていきたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:37	対象物としてはそういう部分とあとは、実際事故の対処といいますと一番重要なのは、主グローブボックス重大事故の発生を仮定する所重大事故対象設備ヒアリング目的。
1:56:50	これが地下3階にあるもの、あとはそこで発生するカス体系に対して消火ガス副遠隔消火装置自体は、最後のノズル部分であったりっていうのは
1:57:02	地下3階に生きているものであって、ポンベ自体も地下3階に設置されていますというところで、いわゆる重大事故の発生を仮定して地下3階の、
1:57:13	重要区域と言っていたものをその範囲の話をしているというのがここで書きたかったことになります。以上です。
1:57:20	はい。規制庁浜崎です。わかりました今の話ですと、地上1階だとか超過率だとか、そういったところは、ここ、ここには対象外であってあくまでも、
1:57:30	地下三階だということで理解をしました。補足です。
1:57:35	この資料上書いた時はそうなんですけど先ほどあったように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:42	パートの方ですね、32 ページで説明があったような、地上、地下1階地上1階についても、何らか考えはしておかないと、成立性確認ということにはならない。
1:57:55	その点をちゃんと整理をしてくださいねといったときには、何らか出てくるものだと思ってます。
1:58:03	現在その理解で対応を考えてますか。
1:58:06	はい、乳井西田でございます。歌え所この資料の冒頭のやりとりであったらしく、何を確認、何を設計として要求するのかってところを書いた時にはおっしゃる通り対象ってということに対しては、
1:58:20	地上1階だったり地下3階だったり、地下1階かというところが対象になります。そういったことも、全体をカバーして、必要な要求事項であったり、確認をしたりということかなと思っておりました。以上です。
1:58:35	はい。
1:58:36	ハバサキさんどうぞ。
1:58:38	はい。私どもは理解しましたので
1:58:51	ところなんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:53	地下2階に関しても、グローブボックスで近いとなるのでしょうか。ちょっとそこら辺の扱いもよ。
1:59:02	確認したいんですけども。
1:59:05	はい、乳井西田でございます地下2階もグローブボックス自体す。ただ今もともと重大事故を仮定するという枕詞で我々考えていた。
1:59:15	MOX松を露出した状態であるから、高塚斎苑となるものが、同居しているグローブボックスっていうのは、地下3階にしかない。地下2階では他の工程上のグローブボックスであって
1:59:27	ペレットとかそういったものを扱ってるようなグローブボックスもありますし、
1:59:31	あとは分析用の少量の文末を使うブロックというものもあります。そういったものは地下2階に存在しているということでございます。以上です。
1:59:45	施設はないです。今の説明は理解しましたが、それも含めて要は地下2階も地下三階も重要区域であることは、一緒だということで理解しておけばよろしいわけですね。
2:00:02	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:08	規制庁浜崎です。
2:00:13	与儀西田でございますご提出であったりちょっと中区域と言っていた部分も整理をさせていただきます実際地下3階の天井は地下2階の床にもなりますのでそういったことの関係も含めてちょっと整理をして、どの範囲かというのは別途お答えをさせていただきたいと思います。以上です。
2:00:31	はい。規制庁浜崎です。以降の資料に対してもですねちょっとそこら辺が、バラバラであるんすか。わかりにくいので、整理の方お願いします。私からは以上です。
2:00:46	はい。ほか、規制庁側から技術確認があればお願いします。
2:01:01	IVの方、はい。
2:01:04	はい。それでは、
2:01:07	パワポの方に移りたいと思います。
2:01:13	1件よろしいでしょうか。
2:01:17	はい。日本原燃滝口ですよろしくお願いいたします。はい。それでは、 1、
2:01:22	規制庁カミデです関連して、パワポの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:28	23 ページ以降ですかまず 3 ポツからやってっの方がいいと思うんで確認 しますけど、
2:01:36	25 ページで先ほどちょっとお話がありましたけど
2:01:40	下の図ですけど、
2:01:42	青い矢印が刺さってる赤枠のところは、これは 30 条対応っていうこと なんですよね。なんか下は条文の名前で、
2:01:52	メーカー何か違うことなんてな並びがとれてなくてよくわからないんで すけど、そのあたりはちゃんと直してもらえますよ。
2:02:02	タイミングで谷内さん、承知いたしましたその気持ちでした。すいませ ん。
2:02:07	はい。で、
2:02:08	規制庁感じです。重大事故等対処の成立性確認とこれ。
2:02:14	設工認段階でもう 1 回成立性確認という行為をするんですけど。
2:02:21	コサクですけど、これ先ほどから話をしてたところで、言葉も含めて整 理し直すということなのであんまり。
2:02:28	含まないでもいいと思うんですけど、1.2 S s の評価をするっていうだ け。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:32	ですね。
2:02:36	12 ブメントの経緯ありがとうございます。その通りです。
2:02:41	はい。規制庁深見です。わかりました。
2:02:44	ちょっと進んで、
2:02:47	先ほど、27 ページとかで書いてますけど、こういうところで多分、評価のポンチ絵をここに入れるのか後に参考に作るのかっていうことだと思っ てますし。
2:03:00	あとはその発生防止としての役割っていうものが触れられてないので、 きちんと書いてくださいと。
2:03:08	いうところですよ。
2:03:12	続けます。承知いたしました。
2:03:16	続けますけど、
2:03:20	28 ページ、
2:03:25	28 ページは矢印の下に機能要求及び耐震評価方針って書いてあって、
2:03:33	この辺が、
2:03:35	何を書きたいのか、似たようなページ結構、
2:03:38	今回あってですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:42	これは下に書いてあるのは機能要求なんですか、評価方針なんですかどちらをイメージして書いてるんすかね。
2:03:51	はい。日本二名タニグチです。
2:03:55	評価の基本方針。
2:03:57	ちょっとゴチャツとした言い方になっちゃってますけど、あのですねこの資料の構成の気持ちとしては、手前のDSAをご説明をする時にも、
2:04:09	許可でこういうことをやっていたんで、それが技術基準でこういう要求があって、それを我々基本設計方針に、こんなふうに展開していきますっていうので評価、パーツと変えていくっていう。
2:04:20	そういった並びで、並べていたので、この28ページ目以降のところについては、この一定のS sに対して、こういうふうにしたということをご説明する流れのイメージでした。
2:04:31	で、今回はその24ですかね、前回のコメントがありましたんでその前回のコメントを踏まえて、こういう考え方があって、その上で、1.2S sとしては、こんな評価をしていますということに18ページ目のところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:44	記載をしたかったというそういう気持ちでございました。
2:04:48	ただ、内容が重複してるのはご指摘の通りですので、ちょっとそこは整理していきたいなというふうに思います。
2:04:56	あと、規制庁カミデです。言われた趣旨っていうんすかね許可でこうあって要求がこうあってこうするんだみたいなことを書きたいっていう、その趣旨でいいと思うんですけど、書いてあることは、
2:05:09	前半部分だとただ技術基準要求をコピペしただけのような感じもしますし、全般見直していただければと思います。
2:05:23	次に 19 ページですけど、
2:05:27	一つ目の、
2:05:29	やばねで、
2:05:33	これもさっきの話なんすかね成立確認とか成立を、
2:05:38	云々っていうところは、要は、
2:05:40	一定に S s を設計しますっていうところなので、こういうところもちゃんと見直すっていうそういう意識でいいんですかね。
2:05:51	弓削谷口です資料通してそういった趣旨できちんと評価をしますという内容で整理をさせていただきたいというふうに思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:03	はい。規制庁カミデです。わかりました。
2:06:08	すいませんコサクです。今のところの、
2:06:13	大きな矢印の下三つ山根があって、二つ目のところろは、
2:06:21	成立性を確認してさらについて言ってるんですけど。
2:06:26	ここで言ってることに加えて何かやるとか、この間このさらについて言っている前と後とかどういう内容なのか。
2:06:34	ていうのを説明いただけますか。
2:06:37	はい。日本原燃谷口です。このさらにの文章の手前のところは、実際の評価値として、例えば建物でしたら、
2:06:47	2、2000 マイクロで機器ですと例えば4円数とかのやつを超えたところでも、機器がちぎれたりしませんっていう評価の実際の数値のところも含めて、確認をするっていう意図が、手前のところで、
2:07:00	その以降さらにのところは、実際にその重大事故等対処するという対応の中で、技術的能力の中できちんと現場に撤退をしますと。
2:07:10	いうのを決めているような内容もありますので、そういったものに対して、ちゃんとそこまで行って操作することができますかということのきちんと確認をするというそんな伊藤でございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:22	補足です。
2:07:25	意味でわかります。
2:07:28	ターンがそうすると余計なあれですね成立性確認みたいな表現は、
2:07:33	もうちょっと限定したことにされていくということで理解しましたけど、
2:07:40	どこまでを評価の判断基準にしてってということと相まってにはなるんですけど。
2:07:48	通常であればその評価で後に言われるような確認も済んでしまうような判断基準を作るっていうのが普通の設工認なり、設計の、
2:07:59	会計だと思うんですがプラスやらなきゃいけないっていうところは、
2:08:04	じゃあどういうふうにするんだみたいなところって何か整理されてます。
2:08:10	はい。日本原燃谷口です。正直なところ具体的に何をもってというところはあまりないです。実際例えばですけど、今回のお話でさせていただけたらと思っていましたのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:25	さっき言った 34 ページ目のところで、実際その建物としては今今回 2000 マイクロってところを評価中に使っていて、それに対して も、全然余裕がありますと。
2:08:35	実際の建物としては終局的には 4000 万黒ってところがあって、そ こまでなら建物土砂建てられる、いうのがありますので、それに比べれ ば、もう十分に余裕がありますね。
2:08:46	で、そういったお話が、させてもらえるのかなというふうに思っていま した。
2:08:51	以上です。
2:08:53	コサクですけど、
2:08:55	そこを判断基準するんだったらプラス何をやる必要があると思ってたっ ていうことなんですよ。
2:09:00	一方で、4000 マイクロというようにところに置くのであれば、通常であ れば 2000 なのでその先の状態っていうことに対して分析が必要と。
2:09:14	ということなら理解をできるんですけど。
2:09:17	そこが何か不確かさを外して評価をするということが逆に変なことにな ってねえかっていう気がするんですよ。とりあえず現状で私が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:30	疑問に思っているっていうところはお伝えをしてきました。先ほどの議論の中でまた整理をされると思いますのでそこクリアになっていくのかなと思ってます。
2:09:43	現状何か考えてこうってありますか。
2:09:47	はい。日本原燃谷口です。
2:09:49	実際具体的にどういったお話ができるかっていうのはちょっとすいません、今パッと浮かぶのはないんですけれども、もうさっき申し上げた通りぐらいで、
2:09:59	実際ちゃんと対照的そうですねって言うのはいえることかなというふうに思っています。ちょっとその前段部分の整理のところから含めて、お話ができればと思います。
2:10:11	一つあるとするとですね実際の重大事故等対処の中で技術的能力で言っているその可搬設備で対応しますというのがあってですねそこが持っているフレキシビリティってのは非常に大きくてですね。
2:10:24	そういった手前のところで言っている不確実性なんかも含めてまるっとカバーをしてきちんと対象ができますっていうようなお話をさせてもらうというのもあるかもしれませんが、コサクですけどそれは根本的に間違っていて、最初に申し上げたように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:41	常設つう。
2:10:43	常設衛星とこっちで言わないんです。すいません。
2:10:49	設定しているS A設備で1.2は機能を確保すると言ってるものはそれはそれでちゃんとやらしてもらわなきゃいけないくて、ほかに可搬があるからいいんですということではないですね。
2:11:01	なのでそこはちゃんとしていただきたいと、いうこと。
2:11:06	ずつd川も同じように言って2S sで使えるようにしますと言っているのだからそれも相まってであれば、結局一緒っていうことだと思い。
2:11:16	マスで。
2:11:17	私のイメージで言うと、ここはもし不確かさを削るということで、最初に言ってるここで言う成立性確認があるのであれば、他の不確かさを踏まえた時にどこまでその設備が使えるかと。
2:11:30	いうことを評価をするということであって、そうすると先ほど
2:11:39	ワードの方の資料拡幅しないとカーぱらつきを考慮しないみたいに施設を考慮した場合に、
2:11:47	4000マイクロに入ってるのかとか、そういったことを言うのかなあと思 つ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:53	って言ってですね、そうすると、そういうような評価も手元では持っているんですよねっていうようなことをお聞きしたいんですけど、やられます。
2:12:13	はい。日本原燃谷口です。お話いただいている内容、わかりました。正直なところでいくと今実際にどういう状態になるんですかということ僕自身きちんと、
2:12:26	把握できている状況ではないので、きちんと評価をしてみて、実際どうなるんですかということも踏まえて、
2:12:33	整理をして、ご説明できるようにしたいというふうに思いました。
2:12:40	はい。よろしくお願いします。
2:12:42	カミデさんどうぞ。
2:12:45	はい、規制庁カミデです。
2:12:48	一応確認しますけど。
2:12:51	今のようなことにちゃんと回答ができないと、会合で、はいわかりましたっていうふうにはならない。
2:12:58	と思ってますが、
2:13:01	次回の会合に、この件も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:05	ちゃんと角満なんていうんすか耳をそろえて言い方おかしいですけど、 一連しっかり説明するっていう案のところは予定は変わりないですか。
2:13:16	はい。例年タニグチです。ハードルが高いのは認識をしておりますが頑 張らせていただきたいというふうに思います。
2:13:24	はい、規制庁カミデです。わかりました。
2:13:29	その上で今のところ私も疑問に思っていて 30 ページとカーのすごい歯 切れが悪くてですね、そもそも許容限界を、
2:13:39	許容限界っていう言い方も何かおかしくて、判断基準なんだと思うんす けどね設計の、これでOKってどういう判断なのかっていうのを、
2:13:48	やっぱり説明しきれてない。
2:13:52	ここに書いてあるように、2000 マイクロでやりますって言われると、何 でそれ以上のことを考えなきゃいけないのかと。
2:13:59	いうところもあるし、じゃあそれで納めるんですって言うてるのかとい うと、4000 マイクロの話があったり、補足説明で言うとさらにばらつき とか幅はやんなくていいんだみたいな話があったりですね。
2:14:12	全然整理ができてないと思いますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:17	そういうところ、きちんと答えられるような整理ということでよろしく お願いします。
2:14:25	あと、続けて、
2:14:28	関連すると 31 ページとかに、
2:14:31	耐震駅とか地盤の結果が出てますけど、アクセスルートとかっていうこ とは、
2:14:38	この評価で包含できているのかとかですね、そういうところもまだ説明 が足りてないんだと思います。
2:14:50	アクセスルートだけでなく、あとは、
2:14:54	床能力評価っていうのも、
2:14:59	ちょっとなぜやら、やっていないのかっていうところは、まだちゃんと 説明はされてないのかな。
2:15:05	です。
2:15:07	あと最後にしますけど今の関連で、34 ページの、
2:15:14	今書いてある内容で、全然理解できませんよというところは
2:15:20	今までの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:21	話で伝わってると思いますが改めて言いますけどここのページの記載の意味は、
2:15:27	全然理解できないなっていうところなので、
2:15:31	整理をして、会合に、説明いただくということかと。
2:15:36	思います。とりあえず私の方からこのパワポの 1.2m S v については以上です。
2:15:49	あ、土肥今野面について、原燃よろしいでしょうか。
2:15:56	はい。日本原燃谷口です。承知いたしました。
2:15:59	はい。他規制庁側から、1.2 S 部分について確認があればお願いします。
2:16:08	規制庁ハバサキですが 1.2 S s 部分という過去の資料についてなんですけど、
2:16:15	この資料自体、37 ページのまとめにありますように大きく三つの構成になっていると。
2:16:21	ということ等になりますんで、2 ページの目次との対応からするとですね、どうぞ。
2:16:27	3 ポツのところこれ条文との対応 30 条の話だと思いますので、ちゃんとそこは記載が必要かなと思っています。成立性確認にするかどうかとい

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	う文言については先ほども話がありましたので再考いただくということ。
2:16:41	同じことはですね
2:16:46	23 ページの 3 ポチのところですねこれも 30 条という対応で、記載が、
2:16:54	ないのかなと思ってますが、まず、原燃の方はそういう理解でよろしいでしょうか。
2:16:59	はい日本エネテウチです。実際にやっている評価、そこをターゲットにして評価してますので、そういった記載にさせていただきたいというふうに思います。
2:17:08	はい既設浜崎です。修正をお願いしますそれともう 1 点、24 ページですこれ前回コメントをと回答という形で、介護資料。
2:17:19	コメント回答で、それをどの以降のどのページに反映してますよっていうのを最初につけるっていうのが一つの奈良氏になってます。ただですね今以降どこに。
2:17:30	ていうのありませんし、1.2 の扱ってというのが、あまりこの、
2:17:36	この資料上はですね

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:39	効能種従来のフォーマットに合わせる必要がいかないと考えていて、例えば 24 ページを最後のまとめの後にですね、移すという、
2:17:49	ことも考えられるんですが、
2:17:53	原燃としては、何か考えますがその該当するページを入れるのか或いは、もう 22 ページた後に、
2:18:00	最後に移すかっていうことなんですけども。
2:18:04	2 番目の谷口です。ありがとうございます。
2:18:08	今回コメントいただいてたというので過去からの慣習踏まえ、そのところの頭に入れさせていただいてたものでして、特段我々としてここになると駄目みたいなことはなくて、
2:18:20	今車両の一番最後に参考として、前回こういったコメントいただいたましたということで資料構成させていただくというのはそれで
2:18:28	全部説明できるかなというふうに思いました。ありがとうございます。
2:18:32	はい。規制庁浜崎です。検討をお願いします。以上です。
2:18:38	はい。他は、確認があればお願いします。
2:18:47	よろしければ、力にフェイスのゼロイチ。
2:18:53	それとパートの 1 点店の部分ですね、それについてそれぞれ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:59	コメントの確認と対処方針をお願いします。
2:19:04	はい。日本原燃谷口です。本日いただいたコメントでも一番大きかった と 思っているのは、その入力として考えるのが、何かというのはきちんと と整理をしてご説明をすると。
2:19:16	また最後の評価基準も、2000 使ったり 4000 使ったりってところが、 全然考え方が統一できていないので、そういった内容を整理してい くと。
2:19:24	ということかと思いました。それを踏まえて今回やっているのは成立性確 認というよりは、きちんと一定に対処ができるということの評価だとい う内容で全般の見直しで整理をさせていただきたいというふうに思いま す。これ介護の資料のパワーポイントも、
2:19:40	N I S A のワードの文章の方もそういった内容で整理をさせていただき たいというふうに思います。
2:19:46	はい。
2:19:48	今の現状の発言に対して何か確認することがあればお願いします。
2:19:59	よろしいですかね。
2:20:00	はい。それでは、昼に差しかかっているので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:06	規制庁カミデです我々もう昼ですし我々としては、出席者の関係でここで切っても差し支えないんですが原燃としてパワーポ
2:20:22	燃料加工建屋と、前半部分S A T Bの方今やっという方が、都合がいいのであればさっとうやりますけど、どうしますか。
2:20:39	はい。日本原燃谷口です。地震の0002っていうところとあと耐震、建物、
2:20:47	08っていうところかなと思います。基本的にはもうD S Aの内容で反映させていただいてもらっている内容ですので、特段改めて何かここで議論というようなことでもないかなと思いますので、
2:21:00	今の説明させていただいた内容をきちんと反映していくっていう、まずはそちらかなというふうに思いました。
2:21:07	すいません規制庁カミデです私はパワー報のね、燃料加工建屋のパワポの前半部分どうしますかっていう話をして、
2:21:17	それを午前中にやった方がいいのか午後一番で、もう構わないのかっていうところだけだったんですけどいかがですか、あんまり家は影響ないってことですか。
2:21:28	谷口です。大変失礼いたしました申し訳ないです。あれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:33	<p>具体性の評価のところは通常の耐震評価ですのでもしご確認いただけるのであれば、今の時間でご確認いただくとありがたいなというふうに思いました。</p>
2:21:41	<p>あと、規制庁カミデずもう昼ですから一旦切って、午後に再開した方がいいとは思ってるんですけど、出席者の関係で午前中にやってしまった方がいいのであれば、</p>
2:21:53	<p>今やる、やりませんかというお話をしてるんですけどどうされますか。</p>
2:21:58	<p>たびたび申しわけありません。谷口です。午後一番にやらせていただければと思いました。本当にすいませんでした。ごめんなさい。</p>
2:22:06	<p>はい。</p>
2:22:08	<p>それでは午後の再開で、パワポの部分。</p>
2:22:21	<p>それでは午後の再開が、同じWebのルーム 30 で、1時半からとなっておりますので、よろしくお願いいたします。それでは</p>
2:22:33	<p>すいません。はい。</p>
2:22:35	<p>盛さん、1時半から大丈夫。</p>
2:22:38	<p>会合に向けた対応とあって、</p>
2:22:42	<p>大丈夫ならいいんですけど。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:45	少々お待ちください。日本は大丈夫です。
2:22:50	規制庁側。
2:22:54	はい。大丈夫です。
2:22:57	わかりました。はい。
2:22:58	それでは、1度ヒアリングを中断させていただきます。
0:00:07	はいそれでは、
0:00:09	2月18日安雪子にヒアリング等後の分で再開いたします。
0:00:14	それでは日本原燃からですね、午前中の午前中の、
0:00:21	MOXの1、
0:00:24	2Fの川越都市介護向けパワーポイント資料の壇。
0:00:29	1ポツの下から説明をお願いいたします。
0:00:34	日本原燃六ヶ所でございます。追加の参加者のご案内させていただいてよろしいでしょうか。はい。お願いします。
0:00:43	はい。ありがとうございます。
0:00:44	日本原燃側の追加の参加者でございますけれども、
0:00:49	東京電力様より橋本様、関西電力様より、蒲池様。
0:00:56	四国電力様より、大野様、舩田様。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:00	あとウェブからの参加で、三菱重工から高木様、大成建設様から、高橋様、石黒様、渡部様堀田様。
0:01:11	以上が追加の参加者となっております。
0:01:15	それでは引き続きましてこの資料のご説明の方を差し上げます。衛藤規制庁モリノですすいません説明等を申し上げてすみませんでした中身確認しておりますので、
0:01:25	こちらから事実確認を行えればと思います。
0:01:30	それでは本件六ヶ所です。了解しましてよろしく申し上げます。
0:01:34	はい。
0:01:35	それでは、まず1ポツからですね、安全機能を有する施設としての評価のところから、
0:01:43	掲示板から事実確認お願いします。
0:01:46	はい、規制庁カミデです。
0:01:50	1ポツのページで言うと5ページですけど
0:01:55	この部分先ほど1.2S sの時もお話しましたが、
0:02:00	特に矢印の下のところが何を書きたいのかよくわかって、
0:02:07	評価方針。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:10	というよりは技術基準要求が高まってあって次のページに行くともた、
0:02:14	基本設計方針なってるんですけどこの場合その繋がりをうまく見せたい っていう意図なんだと思いますけど。
0:02:23	どういうふうに修正というか、見せるか、今のところ何かお考えはあります ますか。
0:02:37	はい。日本原燃の谷口です。先ほど言ったようにS sのところできちん とどういったご説明の仕方をするかということを整理させていただこう と思っていますのでそれに合わせてと思っています。
0:02:50	今の5ページ目で行くところの、新たな技術基準書いてるっていうところ は確かに仰られる特段あれですので、我々きちんと許可を踏まえて、 設工認の中で、
0:03:00	どういった設計方針をしてるかということを示すのが重要かと思いま すので、そういった順番で記載をさせていただきたいというふうに思いま す。
0:03:08	はい。規制庁、安倍ですよろしく申し上げます。
0:03:12	あと、一気に数、
0:03:14	確かに許可の内容を展開するっていう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:19	フェーズが必要なのかもしれないですけど。
0:03:23	普通のDBの耐震ワーなんかどうなんだっていう感じもしますので、
0:03:30	その辺も踏まえて、
0:03:33	何を説明すべきかというところから、整理いただければと思いますあまりこだわりのあるところではないんですけど、何かおかしいなと思ってたのかというふうにしました。
0:03:45	あとですね、7ページに行きますけど、
0:03:51	先ほども若干お話ししましたが、7ページで言うところとじ込み機能として、Sクラスの壁が評価部位に入ってるんですけど、
0:04:03	これだけなのかと、その床なり、
0:04:08	何なりっていうのが、
0:04:09	ないのかっていう点とか、あと他の日、
0:04:12	以前ヒアリングでお話してますけど
0:04:15	扉とかですねその境界部分も、今回、建物構築物申請としてどう扱うのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:23	いうところも含めてそういう時だとかどう考えてるのっていうところをご説明いただきたいんですけど、その辺はどういう検討状況でしょうか。
0:04:36	日本原燃のオガセでございます。今ご指摘ありました閉じ込め機能がかかっている部位というところで行きますと、7ページには確かにこれSクラスの壁というところで部位を記載。
0:04:47	しているところでございます。プラスで次のページこれ評価の方法が次暴力解析による評価だったので8ページのところで書かせていただいていたんですけども、こちらにとじ込み機能としてSクラスの床についても耐震評価する旨のほうを記載しております。
0:05:01	この取り組みについての確認率事実関係については以上でございますちょっと開口扉関係のところについてはまた別途、他のものからご説明いたします。
0:05:13	規制庁上出です。ちょっと床等、
0:05:16	壁の関係だけでお話をすると、
0:05:21	これって二つ表に分けたのって何か意味があるんですけど。
0:05:26	一緒に書いてもという感じはしますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:31	日本原燃の大賀です意図としましては7 ページ目が地震応答解析による評価で、8 ページ目がいわゆる応力解析による評価ということでやり方で分けているというところでございます。
0:05:42	ただご指摘の趣旨として機能とその隋をこうまとめて書いた方がわかりやすいということだと思いますので、そういうふうにまとめて記載することにももちろん可能でございます。そちらの方がよろしいでしょうか。
0:05:53	規制庁上出です。趣旨としてはそういうところで、機能に対してV っていうのがまとまった方がいいと思うので、というところですね。
0:06:03	その意味でいうと、
0:06:06	1 番目の構造強度っていうのは機能がバーになっていてここはこれでもたよくわからないんですよ。
0:06:14	基本方針とかを見ると、その閉じ込めっていうのは構造強度を有すれば満足できるんだみたいな話も書いてあって、
0:06:23	そ、そこらの妥当性は説明が必要なんですけど、もしそうだとするとですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:29	とじ込み機能のところには、構造強度と同じっていう記載がただ入るだけの気もしているんですけど。
0:06:37	わざわざ書き分けられてる意味もちょっとよくわかってその辺説明いただけます。
0:06:44	日本原燃のオガセです今おっしゃっていただいた通りのところだと思っておりますんで取り込み機能に必要なところでどういう構造強度が必要なのかはたまたま支持機能とかになってくればどういう。
0:06:55	評価の支出。何ていうんすかね。指標が要るのかとかいうところだと紐付けができると思いますので、今のこういうふうにちょっと7ページ8ページで手法で分けて書いたやつをちょっとこういうふうになってしまったんですけども、今のご指摘踏まえまして表があったりする上でその辺の繋がりもわかるようにちょっと修正のほうをさせていただきたいと思います。以上です。
0:07:16	はい、規制庁カミデちょっとどんな感じなイメージはあんまり掴めないんですけど、違和感は伝えてきたと思うのでよろしくをお願いします。
0:07:28	ちょっとその扉だとか云々の話を書いていただけますか。
0:07:34	はい。日本原燃の伊藤です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:36	こちらの扉に関してなんですけれども、ちょっと前回、いらなような発言しておりましたけども、実際、重要区域内の方に付ける扉なんですけれども。
0:07:48	建屋のせん断ひずみが2000マイクロになっておりまして、それに追従するような、追従して
0:07:58	扉の方についてもひずみが発生すると考えております。そのひずみに対しても、脱落落下しないような扉、具体的にはJISの規格に、
0:08:09	そういったひずみの規格あるんですけれども、それに適合するような扉を採用することで、先ほど申しましたけども、脱落落下しないような、
0:08:21	設計にしたいというふうに考えてございます。
0:08:28	規制庁神です。
0:08:31	脱落落下しなければいいと。
0:08:35	ということなので、
0:08:38	例えば厳密な機密性みたいのは要らないんだってそういうお考えなんですかね。
0:08:48	はい。日本原燃伊藤です。
0:08:50	そうですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:55	MOXの方で扱うものがちょっと不待つといったこともありまして、
0:08:59	飛散兵
0:09:02	なんですかね駆動力がなければ飛散しにくいということもありますので、厳密な気密までは不要かと、そういったふうに考えてございます。
0:09:12	規制庁上出です。後でまた補足説明資料のところでは、詳しくお話ししよう。
0:09:18	ですけど、
0:09:20	閉じ込め、
0:09:21	って言っていたり、あと、気密性って言っていたり、
0:09:26	どちらも閉じ込めないような気がするんですけど、
0:09:30	ちょっとそのあたり基本方針の書き分けもまだできてないかなというところで、
0:09:35	そこは補足説明というか別紙シリーズでの話ですけど、整理が必要だと。
0:09:43	その上で今の、
0:09:45	扉は何、何頭位置を確認するんだっていう話なんですけど、この設工認としてどう示すのかっていうところ、番外をお聞かせ願えますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:00	はい。日本原燃伊藤です。
0:10:02	設工認の方で、どう示すかということですがけれども。
0:10:07	ですね添付資料の方ですか。機能維持の設計基本方針について、今書こうというふうに考えてございます。
0:10:17	こちらの方で、そうですね扉については、先ほど言いましたけども、建物の泉ですかそちらについするような、
0:10:29	規格のものを的、
0:10:32	採用するとかそれを用いるとか、ちょっとそういったことを今書こうかというふうに考えてございます。
0:10:39	藤規制庁カミデです。基本方針で、
0:10:45	なるほどそういう建物と同じクライテリアで建物がこれぐらいのクライテリアに収まれば扉も大丈夫なのだというので建物側の、
0:10:55	評価で代表できるということをまずか。
0:10:58	ということ等等、できれば補足説明資料のところからですね、そのあたりもう少し具体の出展内容を説明して、本当にその基本方針で行っている。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:10	建物の 2000 マイクロで踏んでいくんだってところの妥当性っていうのは、補足レベルで、
0:11:17	説明してもらおうというぐらいならいいかなと思いますけど、そのあたりどうですか。
0:11:25	はい。日本原燃井藤です。
0:11:27	そうですね。
0:11:31	そこにも添付書類については、設計の方針書きまして補足説明資料と、 中では J I S のこういった規格の文言もチーフから、
0:11:41	建物のひずみに対して、こういったひずみまで耐えるものを採用するか、ちょっと補足説明の方で詳しく書くようにしたいと思います。
0:11:50	はい。規制庁、赤城です。わかりました。その上で、そうすると、ここで対応資料のこの表で言うと、Sクラスの壁にはその、
0:12:01	境界扉なり、含まれてるってことなので、そういう説明するっていうことだと思いますので、その辺含まれてますよという言葉、注記なりで終わるように、
0:12:12	示していただければと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:16	規制庁のハバサキですちょっと今の点なんですけども、とぴあに関しては、計算書が出るというふうに理解すればいいんですか。
0:12:29	日本原燃の伊藤です。
0:12:31	こちらの方につきましては、建物の歪よりも、それも大きいひずみでも、脱落しない、アップしないもの。
0:12:43	ということで考えておりますのでちょっと計算書の方については、いら ないのかなというふうに考えてございました。
0:12:51	規制庁箱崎です。
0:12:55	考え方はあるんですけども、は、付帯設備に対して、こういう計算の 結果は大丈夫ですっていうのを言って、説明が普通はあると思うんです けれども、その準備がされてないっていうことですか。
0:13:14	日本原燃の井藤ですちょっと
0:13:18	今そちらの方の対応までできてなかったところでちょっと、
0:13:22	やり方については、少し検討してみたいと思います。
0:13:27	規制庁ハバサキですちょっとお願いしますその件は、はい。
0:13:30	はい。
0:13:32	規制庁カミデです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:35	計算処理とかどうかっていうのは、その先行例、実情とかですけどそういうところも見てもらってですね。
0:13:43	持ってる扉の機能が実用労働と同等であれば当然いるのだと思いますし、
0:13:52	MOXの場合は扱ってるものがこんな、こんなですから、さらにクロージングボックスに入ってるみたいな特徴もありますので、その辺、
0:14:03	ちゃんと何を取り扱ってるかっていうところも、
0:14:05	考えて、何を示すべきかというところで整理いただければと思います。
0:14:14	はい。日本原燃伊藤です。はい。今の神さんの言葉を踏まえてちょっと整理してみたいと思います。
0:14:23	規制庁カミデです。あと、1ポツの中では、私は12ページなんですけど。
0:14:32	12ページというか、構成の話なんですけど、ここに一応関東の話が、
0:14:38	あって、
0:14:40	その前には、隣接建屋と、
0:14:47	地盤モデルですですかね、話があるんですけど。
0:14:54	10ページ11ページは会合で話をしたことの商売です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:59	いうことなんですけど 12 ページは何かちょっと浮いているような感じがして、
0:15:03	どういう趣旨でこれをつけているのかと。
0:15:06	もっと言うと水平 2 方向の話とか、ばらつきだとか、その辺の説明がないんですけど。
0:15:16	一概に何かそれを入れてくださいというよりはまず、趣旨を確認したいんですけど、これはどういう構成のイメージなんですかね。
0:15:29	日本原燃の増井です構成のイメージといたしましては、今回小野田委員、この括弧 2 章が地震応答解析、括弧 3 章が耐震評価というところになっております。
0:15:40	その数、ちょっと (3) が先になってしまうんですけども、(3) の方で実施している評価耐震評価の中で、最終的にこの地震応答解析上考慮している影響評価それが隣接建屋の影響と一関の評価なんですけれども。
0:15:54	こちらを最終的に耐震評価の方で具体的に言うと 18 ページのところでお示しをしているところがございます。それを上流としまして地震応答解析側でどういう評価をやったのかというところを、この耐震評価に反映するネタとしてこの一関東と隣接のここの 12 ページ、1112 ページの方に入れさせていただいたと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:10	というような構成のイメージで考えてございました。
0:16:14	規制庁カミデです。
0:16:18	もうちょっと確認するとそうすると、申請書の耐震計算書に載せる結果については、今回パートに説明していて、
0:16:30	(3) に説明は、
0:16:33	手数に関連するもの。
0:16:35	については (2) にも、前段を書いている、そういう理解ですか。
0:16:41	日本原燃の長谷さんのおっしゃる通りでございます計算書に対して記載している内容については、
0:16:48	書いているというところでございます。
0:16:51	規制庁上出です。整理方法とかばらつきって、
0:16:55	計算書に載せない整理なんでしたの。載らないんですたっけ。今回影響少ないとかそんな話になっておりました。
0:17:01	日本原燃の大橋でございますすみません、水平 2 方向の方ちょっと 1 個ずつすみません話をさせていただきますと、水平 2 方向のほうは耐震評価において、荷重の組み合わせのところ当然確認することにしてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:14	それについては、わかりにくい本当すいません第3章のところ、括弧3章のところの、
0:17:22	水平2方向の結果17ページのところに結果としては載せているというところがございます。
0:17:28	ばらつきの方につきましても当然こちらの地盤モデル野瀬すいませんばらつきという言葉が確かに書いていないところがございますけれども、地盤モデルの設定、これこちらの地震応答解析の方法のところなんです、10ページのところで地盤モデルの設定のところありましてこの中にすみません今含まれているというちょっとイメージで書いておりました。
0:17:45	当然このばらつきを見た上での耐震評価関谷地震力を使った耐震評価結果が、括弧3章の方で展開されているというところになってますので、中身としてはすいませんいずれも入っているというところがございますがちょっと目に見える形ではなかったところございましたので、
0:18:01	ちょっと先ほどの地盤モデルの設定のところの、書きぶりのところではばらつきを考慮するとかですとか、耐震評価のやり方のところで2方向を考慮するとかそういったところについて記載の方はきちんと書かせていただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:13	以上です。
0:18:15	はい。規制庁、上出です。わかりました。2ポツのところは2ポツじゃ(2)のところでもそういったところも、もう少し網羅的に触れておけば
0:18:26	多分、一瀬東野。
0:18:29	何か変な際立ち感がなくなるのかなってというイメージを持ちましたので、精査を行った。
0:18:36	お願いします。日本原燃のオガセですかしこまりましたちょっとあとすみません先ほどの内容にちょっと補足いたしまして、まず2方向はやりますというのは、すみません耐震評価の方法具体的に言うと13ページでございますけれども、
0:18:50	こちらの文章の一番下のところで2方向組み合わせる耐震評価の上で、2方向やるという方法論のところ述べた上でその結果を述べているというふうになっているところがございます。で、一方ではばらつきの方につきましては、16ページ等のところでええ。
0:19:05	下のところのページなんですけれどもここで、二つ目の矢羽のところではばらつき見てやってますというところ書いてますので、あとはやはりこの地震応答解析のところではばらつき見ますというようなところについて文章の方を追加させていただきたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:22	はい。規制庁、川辺
0:19:24	すごくあります。
0:19:28	そうですね。1 発について私からは以上です。
0:19:35	他、規制庁側から確認事項あればお願いします。
0:19:42	すいませんコサクです。今野。
0:19:45	結局一関東はどうなるんですかね。
0:19:53	日本原燃の間瀬でございます。先ほどのご質問等回答の趣旨を踏まえま すと、耐震計算書で載る結果につきましては、きちんともしそれが地震 応答解析のところからやるようなものであれば、地震応答解析の章でも 述べるというふうな方針で、
0:20:08	いくと先ほどのばらつきを含めて統一感がとれると思いますので、この 一ノ瀬氏が、一関東のこの 12 ページの記載については、この地震応答 解析でこれをやるというのがあった上で、耐震計算の方で受けてその結 果を示すというところで、このままここにあってもいいのかなというふ うな認識でいたところでございます。
0:20:30	とコサクですけど、ちょっとよくわかんないのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:36	表題として出てくるような話だとすると、この構造がよくわかんないんですよ。
0:20:47	12 ページの最初の矢羽のところで、
0:20:50	S S C 4 はっていうようなところがありますけどそもそも S C 4 自体が、その前のページとかにも出てこないし、
0:21:01	っていうので関係性がわかんなくて、そもそも高は 1 ページにわたってこう書くこと自体が、
0:21:08	説明の構成を。
0:21:10	おかしくしてるように思うんです。
0:21:13	それを踏まえて全体どういう、
0:21:15	この
0:21:17	地震応答解析っていうのはどうあるべきかっていうことを、
0:21:21	カミデが言ってたんだと思ってたんですけど。
0:21:24	回答がわかったのかわかんないのか何だかよくわかんない
0:21:31	はい、深見です。
0:21:35	最初に思ったのは、
0:21:37	別にここに一関の日

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:40	説明は特になくてもいいんじゃないかなっていう感じもあるぐらいなんか受ける感じだったんですけど、まああの、
0:21:50	ちょっと、事業者の回答で、出来栄えがしっかりイメージできないものの、もう少し待ちになるのかなというところに終わってしまいました。
0:22:02	なので、
0:22:04	どうしましょかねっていうのはあれだけど。
0:22:08	コサクですけど、結局
0:22:11	何ですかね地震応答解析としては入力を一通り入れますよと。
0:22:15	いうところがあって、その中には基準地震動としては許可で出してないけど、こういうこともあるので一関東っていうのも、
0:22:25	個別にやりますよということじゃないんですか。
0:22:30	規制庁、金澤元トガシでございます。布施さんの趣旨は宮さんの趣旨も理解いたしまして基本的におそらく 10 ページ目のところの地震応答解析の方法のところ、一つ
0:22:43	今地盤モデル入力振動とかって書いてるところに対してその仕様に対しても考慮してやっていきますよっていったところの一文が多分ある。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:51	これでいいのかなというふうに今理解しておりますので、こちらの方で、資料も購入してありますっていったところをちょっと 10 ページ目の方に展開するような形の方で対応したいなというふうに思っております。
0:23:03	規制庁コサクです。それぐらいのイメージだと思います。で、一方で 12 ページの山根二つ目に書いてあるのがすごい気になるんですけど。
0:23:13	応答比率 1 を上回ることから、
0:23:21	こちらの方は通常の S s で評価しているものに対して、今一関東の鉛直っていうものを比べた際に、
0:23:31	若干こちらの方で 1.007 っていうような形の方で、通常の S s の倍率よりもこの一関の倍率の方が若干上回ってるところがあるので、この影響といったところをうちの耐震計算書の方で、1.0077 倍を掛けたとしても問題ないですねっていうところ。
0:23:48	検討する上での比率という意味で、意味合いで記載してございます。
0:23:54	規制庁コサクですけど。
0:23:57	そう。
0:23:58	なんですか。丹担当。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:01	評価をしてくわけじゃなくて、
0:24:05	水平から何か、
0:24:07	比率計算、応答倍率法的な感じで、
0:24:12	今日、
0:24:13	顔するってということなんですか。
0:24:16	日本でトガシございますそういう意味ではなくてですね基本的にこちらの方の、一関東の鉛直地震動というものがございましてこちらの方を地震応答解析の方を実施します。
0:24:27	そちらの方を評価する際に他のSSで鉛直を評価しようかっていうところがございまして、こちらの方の鉛直の比率、SSの比率のものと、この一関東の鉛直の比率というものを見てみて、
0:24:41	当然こちらの方が1を下回ってる場合に関しては、他のSSの鉛直動に包絡されて参りますので、もう明らかに評価不要ですと、高齢者の方でたまにこの応答比率としましてMOXの場合ですと、1.007という形の方で、
0:24:55	気持ちがある程度ございましたのでこちらの方の1.007といったところを、耐震計算の所の方で実施している間、Ssの評価部位の応答値がご

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>ざいますのでこちらの方に向け合わせたとしても、大戸比率としては問題ないといったところを確認しているというような趣旨でございます。</p>
0:25:12	<p>規制庁コサクです。ちょっと私は十分理解しきれてないんですけど。</p>
0:25:20	<p>やる場合はやるというようなことだとすると、結局あれですかね先ほどの修正の方向でいうと、取り立ててこの部分は言わなくてもいいような内容。</p>
0:25:31	<p>ていうことですかね。</p>
0:25:33	<p>はい。においてございますそちらの方の評価として評価の方として実施してございますのでこの一関東の鉛直動といったところも考慮しますといったところでその内容といったところは反映できてるというふうに思っております。</p>
0:25:46	<p>はい、規制庁コサクです。とりあえず、この資料の修正の方向はわかりました。</p>
0:25:52	<p>で、</p>
0:25:55	<p>具体的な内容の方は、規制庁側では把握しててそんなにおかしな子長官の仕方をしてるわけじゃないっていう理解でいいんですかね。</p>
0:26:05	<p>はい、規制庁カミデです。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:09	基本的に淡々とやっているものと思う。
0:26:14	一応、
0:26:16	他のSS内直と比べてちっちゃかったら、わざわざそれ以上やらなくていいでしょうということを説明したい。
0:26:24	ました。
0:26:28	山崎です私も同感ですやってることは、普通というか、特別なことはやってないんですがちょっとやっぱり、
0:26:38	説明が不足してるかなと、もう少し権者説明が必要かなというのはあります。以上です。
0:26:47	コサクですわかりましたそれで言うとなあれですね、
0:26:51	いくつかの地震は
0:26:54	見て代表なり、包含したような評価をしていくというパターンは設工認でもあるので、その時に、基準地震動での波と一関東を見てというようなことと理解をしました。
0:27:09	設工認なりの図書の中でですねそこら辺の位置付けなり、評価の流れっていうのがわかるようにしておいてもらえば。
0:27:22	はい。日本でトガシございます設備の方に展開の方はして参ります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:33	衛藤規制庁側から事実確認があればお願いします。
0:27:42	それではよろしければ、この1ポツのところですね修正方針、コメントの確認を元からお願いします。
0:27:56	はい。谷峰トガシでございます。まず
0:27:59	最初の機能要求の部分の整理に関しましては、少し要求、機能要求の種別に応じたところでその対応関係の方がわかるような形の方で修正の方させていただきます。
0:28:12	あとまた別途扉関係のところにつきましては補足の少し説明を踏まえた上でちょっとこちらの方を展開したところは検討していきたいというふうに思っております。また今ほど議論のありました一関東に関しましては、
0:28:24	10 ページ目の方にその旨でやってるといったところを展開するような形の方で修正していきたいというふうに思います。以上でございます。
0:28:32	はい。
0:28:34	あと、手帳が%追加で確認はよろしいでしょうか。
0:28:39	よろしければ、それでは2ポツの方。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:41	2 の、事実確認に移らせていただきます。これは規制庁側から、2 ポツについてチェック確認をお願いいたします。
0:28:50	規制庁、上出です。2 ポツはす。
0:28:55	21 ページは同じ話なんで、
0:28:58	して、
0:29:01	22 ページで、同じ側DBと同じですっていう話なんですけど、ちょっと気になるのはその事故時の荷重っていうものについては、
0:29:14	やっぱ差分があるんじゃないかと思ったんですが、そのあたりどう考えてますか。
0:29:34	はい。日本のトガシでございます。極数の施設及びは建物に関していきますところの自己指導荷重っていったところに関しては、設計基準のものとの差分がないものという形の方で認識してございます。ですので、この評価といたしましては基準地震動 S_s に対しての評価と同じような形の方で、
0:29:53	安全機能を有する施設としての確認を実施していくというもので、認識してございます。
0:30:00	規制庁カミデです。今私は許可申請書の点を見ていて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:09	重大事故時における環境温度とか環境圧力湿度みたいな説明があつてですね。
0:30:17	その中では、
0:30:21	工程室内も温度でいうと、100度だとか、圧力も幾つか立っていて、通常時と全く一緒っていう感じには、
0:30:32	見えていないんですけど、ちょっとその、
0:30:37	いつ、同じですっていう回答と、その巨カーで書いてある内容との対応っていうところを少し説明いただけますか。
0:30:54	すいません日本原燃伊藤です。
0:30:56	そうですね環境温度とか、ちょっと圧力については、
0:31:01	重大事故時に一時的に終わるものだと考えているんですけども。
0:31:06	その時間については
0:31:09	数分ます十分程度で終わるといふふうに考えておりました、
0:31:14	そういった意味で荷重の組み合わせが必要はないといふふうに考えております。
0:31:21	規制庁上出です。そうだとすると、このパワーポにおいても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:29	全く、ただ同じですってということではなくて、こういう考えで、耐震評価としては同じ条件になるんだってという結論なんであれば、
0:31:40	観測に至るところの考えってというのは
0:31:43	入ってもらう。
0:31:45	ていうことがこういう、
0:31:48	平成DB体制を上げて買うってところそういうポイントは、説明いただかないといけないと思いますので、ちょっとその辺りは説明をしっかりと
0:32:00	芸能とあと支社等という許可に書いてあることをちゃんと踏まえて、妥当性は説明できるようにということでもう少しけ。
0:32:09	ください。
0:32:12	はい。日本原燃伊藤です。はい、了解しました。
0:32:17	規制庁、上手です。私の方からは以上です。
0:32:24	規制庁側から。
0:32:25	事実確認があればお願いします。
0:32:34	よろしければ、では今ほどの1点ですけれども、修正の方針をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:47	はい。日本原燃伊藤です。
0:32:49	今お示ししている 22 ページのところですけども、こちらの方で、重大事故時の環境条件ですか。そちらの方について、
0:32:59	もう少し詳しく記載するようにしたいと思います。
0:33:04	はい。
0:33:05	江藤次長が追加で確認がなければ、それでは、このボックス建屋の方のバー報を終了して、
0:33:15	次、
0:33:18	東郷ね、飛来物防護ネット等学校の耐震評価に関する審査会合資料の、
0:33:23	ところに移りたいと思います。
0:33:26	日本語によろしいでしょうか。
0:33:31	はい。日本原燃、大脇です。はい。よろしくお願いいたします。はい。江藤。資料は事前に確認しておりますが何か補足で半分説明することがあれば、
0:33:40	どうぞお願いします。
0:33:43	はい。大垣です。資料といたしましては、前回審査会合トーマツの翌日のラップアップでのご指摘を踏まえて見直したものを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:53	パワーポイントの資料として用意しております。併せてですね、前回、 審査会合において、一通りの一貫性、
0:34:03	或いは12月、審査会合での約束との整合を、問題されたこととそれから、その姿勢はあくまでも市村部長から、まずシナリオをきちんと固めた上で、
0:34:13	それに肉付けして資料を構成すべき話もあったもんですから一応
0:34:19	A4版ですね、ワードのものでシナリオも作成してもちろんそれを作った上でこのアポイント資料を再構成したわけですけども、それも本日はご用意しております。
0:34:32	説明としては
0:34:35	というか、基本的には審査会合用に用意したパワーポイント資料を、 に対してのご説明といたしますかご質問。
0:34:46	に対するお答えということでよろしいでしょうか。
0:34:57	あと、規制庁カミデですすいませんちょっと冬に質問が飛んできたので、 ちょっとよくわからなかったんですけど何かお聞きになりたいことあるんですけど。
0:35:08	三宅すいません資料としてパワーポイント資料に合わせてですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:14	A4版のワードのシナリオ、いわゆるシナリオといいまして全体ストーリーもご用意しておりますけれども、
0:35:23	これ、
0:35:27	このシナリオ1人も、当日審査会合に出すかどうかってのはちょっと、
0:35:33	ご相談しなきゃいけないと思っていたんですけども。
0:35:38	このワード版はどう扱ったらよろしいでしょうかというご質問でしたすみませんはい。
0:35:43	規制庁、上出です。理解としては、まずはそのワード版で考えを整理して、それを、
0:35:54	パークに展開しているのだから、当然、パワーポだけでいいと。
0:36:01	私は思っていましたけど、違う位置付けなのであれば、
0:36:06	何なんだっていう感じもしますけどそういう理解で私はだから、
0:36:12	そういう理解ですけども。
0:36:14	回答なんですか。
0:36:20	はい。大柿です。すみません。おっしゃる通り我々としてはまずシナリオ1人を固めた上で、その内容を補足説明資料に展開するとともに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:33	ある意味それを、主要なポイントを抜き出した形でパワーポイント資料を作るということで作ってますので1人時代は、3者で整合してる、一致して考えてますから。
0:36:48	今日の
0:36:50	議論は、ワーポイント資料置いた最初にさせていただければと思います。よろしくをお願いします。
0:36:58	規制庁カミデズ話を聞くのは
0:37:02	介護パーフォ資料と、あとはそのロジックのペーパーも、
0:37:09	含めてお話を聞いて、
0:37:13	今後介護士をどうしていくのかっていう話ができればと思ってますので、今日のヒアリングとしては両方、今回のいっぺんに話を聞いてという、
0:37:24	思います。
0:37:26	よろしいですか。
0:37:29	はい5ヶ月評価しました。はい。
0:37:34	それでは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:37	このロジックテーパーのですね安全冷却塔B 冷却塔の飛来物防護ネット 括弧波及的影響評価の考え方、こちらの方なんですけども、こちらの補 足して説明することがあればお願いします。
0:37:52	はい。コサクです。ごめんなさい。今のやりとりで、そういう説明の流 れの仕方をする意味があまり感じられなかったので、申し上げますけ ど。
0:38:03	前回
0:38:06	管理官出たときのヒアリング私、同席してないのでちょっとよくわかり ませんが、
0:38:11	パワーポイントで、その前に等全部が、
0:38:17	こうられて、部長と話をした時も含めてなんですけど、資料として、そ れなりの大部の、今回のこれだと 128 ページと、
0:38:30	いうものになってますけど大部になりますと、別にそれは大部でも構わ ないんだけど、論旨をしっかりと原燃の中で整理をしてそれがわかるよ うに説明をしてくれと。
0:38:40	いうことを申し上げていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:42	その労使がはっきりしなかったので、ちゃんと整理をしておくことという ことでこのワード版の資料を作られて
0:38:55	ストーリーがしっかり。
0:38:58	しているかどうかを確認をし、そのストーリーに則ったパワーポイント。 ト。
0:39:04	いうことに、微修正されたのかしてないのかわかりませんが。
0:39:09	しているということだと理解をしようかなと思ってたんですけど。
0:39:15	そうだとすれば、わざわざこちらの紙資料を説明する事項もないような 気はするんですが。
0:39:22	大柿さんはどういうつもりでいらっしゃったんですか。
0:39:26	私の認識はコサクさんと同じです。
0:39:32	まさに、まずはし、ストーリーをきちんと固めて、もちろんそれを社内 で共有してですねその上で、それに沿って、補足説明資料をパワーポイント 資料作るということで作ってきてますので、
0:39:45	そういう意味では、すいませんちょっと話させていただいた。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:49	本日、あえてA4版で何かご説明しようという意図はございませんので、パワーポイント資料についての議論をさせていただければと思います。
0:40:01	はい、わかりましたコサクですわかりました。うん。盛さんそれでいいですか。はい、かしこまりました。
0:40:08	そう。それでは、パワポ資料の方の事実確認を、規制庁ばっかお願いします。
0:40:17	すいません日本原燃の東です。ちょっと当方からですねこのパワポ資料につきまして、若干ちょっと補足的な説明をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:40:26	はいどうぞ。
0:40:28	はい、江藤二本木委員東でもです。
0:40:31	こちらの資料につきましては1月3日の審査会合における指摘を踏まえまして、まずはシナリオ、先ほど秋野からお話したものに合わせまして、会議資料として策定したものでございます。
0:40:42	基本的な流れとしましては、12月の会合でご説明しました設計モデルの妥当性、また保守性の検証の計画。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:50	こちらの方で、従った形で実施した結果を、しっかり記載するというところで再構成してございます。
0:40:57	大きく該当部分としまして、まず2点ございましてクレジットは24ページ以降にありますけれども、指摘を受けた保守性の確認のうち、鉛直応答への影響と、
0:41:08	いうところですね、こちらの方を、他の、
0:41:11	その他にちょっと入れ込んでしまったというところございましたので、項目として独立した形で、検証をしっかり行うということをしてございます。
0:41:20	この中で、28ページのところですね。
0:41:22	C案で、比率が鉛直の比率が大きくなっているというお話を差し上げてございますけども、こちらの方、
0:41:28	若干ですね、もう少し考察が必要かなということを考えてございますので、こちらにつきましては、もう少し検討を深掘りした上で記載を充実させていくかというふうに、
0:41:41	2点目としまして、地盤剛性の変化に関する検討というところも、交錯考察分析を行ったというところを31ページ以降で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:51	加えてございます。
0:41:53	具体的には、S s - A は予想通りの結果になっていて、S S C はんで、 想定していた通りの結果ならなかったというところを踏まえまして、
0:42:02	今回は、
0:42:04	その他の地震動につきましても、その中間状態ってのはどのようになっ てるのかというところを、
0:42:09	応答スペクトルですとか、時刻歴の、は形に基づきまして分析を行った というものでございます。
0:42:17	極端分析につきましては、43 ページから 45 ページの方にですね、ちょ っと記載をしておりますが、結果的に、我々としてやはりその中間状 態が大きくなるという、
0:42:28	確たる原因というものはなかなか突きとめることができなかったという ところがございますので、ちょっとですねちょっとこちらの結果と考察 の、ちょっとバランスが欠いてるかなと。
0:42:38	いうことを考えてございますので、それについては、少しですね。
0:42:42	うちで、まとめの方を修正したいということを考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:48	第二部につきましては、会合でご指摘いただきましたことを受けまして、波及的影響の考え方につきまして、
0:42:57	その結果、考え方につきまして記載させていただきます。
0:43:01	こちらにつきまして提出、この資料の提出後にですね、資料内での不整合というのを、いくつかございまして、こちらにつきましては、大変申し訳ございませんが、今後ですね。
0:43:12	次回提出の際にはしっかり直したいと思います。
0:43:15	具体的に申しますと、
0:43:17	結果を記載してですね。
0:43:20	ページで言いますと、120 ページでございます。
0:43:26	120 ページと、119 ページの前後にですね
0:43:31	離隔距離との比率を規制してございますがこの検定比をですね、ちょっと同じ次のページなんですけど、若干津川代表を記載してしまってるというところも踏まえまして、その他の数値も併せましてですね。
0:43:45	資料内での数字の整合ですとか、また補足説明資料との整合もあわせまして、ぜひしっかり見直しの上で、
0:43:53	次回提出の際には、レビューしたいということを考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:56	補足的な説明は以上でございます。
0:44:01	はい。規制庁大川です。それでは、すいませんまず第1部について
0:44:09	事実確認を規制庁かからお願いします。
0:44:20	規制庁、田原です。
0:44:23	患者さんどうぞ。はい。ちょっと先に体裁的なところなんですけど。
0:44:28	6ページとかで、12月23の、
0:44:34	再掲。
0:44:37	7ページだと、そこからの変更合戦でってということなんですけど。
0:44:43	1月カラー、
0:44:46	の変更って言う方がいいのかなと。
0:44:50	というか、今回この下線12月からの差分を示したい意味っていうのは何か事業者としてこだわりがあるんでしょうか。
0:45:01	日本原燃の東です。はい。こちらの方12月からの修正にしたというところに関しましてはさ、前回1月の審査におきまして、
0:45:10	12月における、我々の設計の設計モデルの検証のあり方、これに従った形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:18	しっかり説明するという意味を込めまして12月からの差分ということ を、今、この手法については整理しているというところでございます。
0:45:28	はい、規制庁カミデです。1月。
0:45:32	からの差分は特に示さない。
0:45:39	日本原燃なります。そうですね現調ちょっと1月の審査会合でご説明し た部分というのは、
0:45:47	なかなかそのもともと説明し、
0:45:49	しなければならなかったというところからはちょっと、大きく外れてい たかなというところを踏まえまして、あまり4月からの差分というより は、12月でご説明した方針。
0:46:00	こっから、しっかり説明していますというところ。
0:46:04	ご説明したいというところで現在の記載にしているというところござ います。
0:46:10	規制庁カミデです例えば、
0:46:13	そうだとすると、
0:46:15	例えば10ページみたいな河成の光方をして、
0:46:20	何か、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:21	昔から変わってないねとか、ここが変わった連携、よくわからないので、
0:46:28	いっそのことをこの河川なんかを止めてですね、そちらが説明したいことを冒頭で何かまとめて、
0:46:38	説明するとか、その中に、我々12月から変わってませんか、あとは1月からはこういうところを変えましたよって説明が実を言うぐらいでも、
0:46:49	何か目的が達成できるんじゃないかという気はするんですけど。
0:46:54	いかがでしょうか。
0:47:00	2番目になります。はい。亀井さんのご趣旨理解いたしますと記載の仕方につきましてちょっと検討させていただき、いただいて、ちょっとあんまり下線があったりですね、我々はその意図するところはお金を渡して、資料の方、ちょっと修正したい。
0:47:24	はい、規制庁ハバサキです。
0:47:26	第1部の方ですね、前回の会合の指摘を踏まえて内容がゆっくりし、あるなということはいえるかと思います。
0:47:38	ただやはり特に記載上で、いくつか問題っていうか

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:43	コメントがありますんでですねコメントしたいと思いますまず 28 ページです。これ先ほど稲葉さん申し上げましたけどもう少し、
0:47:54	考察を深めるという話をされてたんでそれを反映なされるかと思うんですけども、やはり今、28 ページのところ、接種案の比率が大きな原因です。ねそれが、
0:48:07	そのプラスマナーとマイナスの新風が大きく違うからっていう話なんですけれども。
0:48:13	ちょっとこれワー、原因じゃないとは言わないんですけど、これをもっていいんだって言い切れるのはちょっと。
0:48:21	合理的ではないかなというふうに感じてます。やはりその周期特性だとかですねモデルの所条件に、によりも寄ってるわけですので、そこら辺を踏まえて、
0:48:32	超す考察をしてもらいたいというふうに思ってます。
0:48:36	それが 1 点目です。それからちょっとこれお聞きしたいのは 30 ページ目の下から二つ目のポチのところの 2 行目、真ん中の表ですけども、
0:48:46	水平方向の保守性も特に与えていないっていう表現なんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:54	ここで言う水平方向の保守性っていうのは具体的には何を言われるんでしょうか。
0:49:04	日本原燃の渥美です。はい。こちらで言ってる時保守性というところは設計モデルにおいて、
0:49:10	まず公租公課として、周辺地盤を考慮しないですとか杭MMRを考慮しないといったところを、
0:49:17	設計モデルの方では、保守性という形で考慮してございましたがそれを実態的に考慮して、
0:49:24	周辺地盤ですとか、杭ですとかMMRを考慮した、件数読めるという意味で、
0:49:31	指標5に、特別な保守性を考慮しないという意味で、こちらの方は記載させていただき、
0:49:38	規制庁浜崎です。今の話で理解はしました。ちょっとこれモデルの水平方向1個の方法の話と、その上部確保、
0:49:49	その水量の向上とかですね、そこら辺がいえるので、記載の方は、それぞれわかりやすく丁寧な説明の方をしてもらえればというふうに思っています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:01	でも話が今後続くんです。基本的には今の分で代表しますけどもですね、あと、
0:50:11	ちょっと気づけますけれども、39 ページから II 案、例えば 39 ページなんですけれども、一番最後のポッチの下から 2 行目ですね、真ん中ぐらい。
0:50:23	あれ、先ほどの A4 のペーパーではこれ消されてますけど、たまたま短い周期の凸部があったとかですね。
0:50:30	或いは、40 ページの方行っていただくと、一番最後のポツの 2 行目のところ。
0:50:37	位相特性に顕著なくせがないためだとかですね、特にちょっとこれはひどいというか、
0:50:46	秋だと思ったのが 77 ページですね。
0:50:51	一番上のポツの 4 行目偶発的に短い周期の凸部だとか、これ先ほどありましたけども、
0:50:58	二つ目のポチも先ほどありましたような、たまたま短い周期の面とか、非常にこれ、合理的な説明になってないというふうに感じてますので、さっきも S s 仕様のところでは言いましたけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:12	やはり波の特性モデルの特性、応答の特性ということを踏まえれば、ある意味この偶然だとかたまたまではなくて、起きるべくで起きているわけなので、
0:51:23	そこら辺をしっかりと合理的に分析をして、評価をして考察をしてもらいたいというふうに思ってます。
0:51:30	ちょっと全般的な話になっちゃうんですが、よろしいでしょうか。
0:51:36	2本目のイナヅマです。はい。まずご指摘30ページでいただいた文章で、こちらはちょっと移行しているところがしっかりと表現できてないと、部分につきましては、
0:51:46	改めさせていただきたいと思っております。また今お話いただいた用語の使い方ですね、たまたまですとかそういった言葉につきましては、 しっかりして
0:51:56	合理的な判断したと、降りて判断したということがわかる形での、
0:52:01	表現、また、考察の結果を規定する形で修正させていただきたい。
0:52:14	規制庁カミデですすいませんちょっと28ページのところで、ちょっと今後どうされるかっていうところをちゃんと聞いてなかった。
0:52:23	んですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:25	例えば
0:52:28	真空の非対称性が、本当に原因なのだとしたら、
0:52:35	もう少し傍証があるのかなと思ってまして、模擬的な一波を作ってですね、檀さんはみたいな形で、すぐできると思いますんで。
0:52:47	対象並木対象、非対称も幾つか段階をつけてっていうような形で、検証してみるとかですね、そういったお考えってあるんでしょうか。
0:53:01	日本原燃イナヅマです。衛藤。ちょうど今、神谷さんがおっしゃったところでの検証を考えてございまして
0:53:08	衛藤さん印カーブをですね、うまく使ってですねこういった形につくのときに、同じような結果出るのかというところを含めてですね、検証したいと考えてございます。
0:53:21	そもそもS Cそのものが、他の地震、基準地震動と比べてどうなのかというところも含めて、
0:53:28	考察も実施したいというふうに考えてございます。以上です。
0:53:35	いいですか。わかりました。
0:53:36	あと、
0:53:39	1点を確認したいのが、30ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:44	の
0:53:47	一番下のところで、結論的に部材設計を行う。
0:53:53	ことは可能であると判断。
0:53:56	いうふうになっています。同じように、45 ページだとかも、
0:54:05	こういう中間のところで、
0:54:09	うん。
0:54:10	今後、
0:54:12	状態で評価できるっていうことを、
0:54:15	確定的に、
0:54:18	書いてます。へえ。
0:54:21	さらに言うと、
0:54:26	50 ページですかね、の二つ、下から二つ目のダイヤのところも同じなんですけど。
0:54:33	検証の内容からすると、ここで、
0:54:38	完全にOKと。
0:54:40	丸を付けるっていう付けられるほどの結果が出てるとも思えず、
0:54:45	ていうところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:47	考え方としては、こういうデメリット、鉛直が多くなったり、
0:54:53	そういうモデルだけど、使えるだろうと。
0:54:57	そういう特性も
0:55:00	踏まえながらそういう特性を持ってるものでたつていうことで、意識しながら、設計に使うんだと。
0:55:08	なので、設計をしたところでは、最後の考察のところ、そういうデメリットに対してどうなんだってところの考察があつて、
0:55:17	初めて、こういうモデルでの設計っていうのが完結するのかなあとは思つてるんですけど、そのあたり、事業者としてはどっかいてます。
0:55:34	はい日本原燃協ですおっしゃる通り、
0:55:38	30 ページ 45 ページについてはこれそれぞれある検証対象に対しての考察部分なのでここ、
0:55:50	だけの結果をもって、使えるというのはちょっと書きすぎてるといふか言い過ぎだったと思うんでちょっと改めたいと思いますんで、
0:56:02	他のそういう特性を踏まえつつ、用いる必要があるということで、最終的にですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:12	ただ第1部のまとめとしてはやはり我々これを使って、部材設計を行っていいんだと、いうことはやはり我々としては確認したということに、
0:56:24	非なりと次の第2号に繋がるんじゃないかと思ってまして。
0:56:30	それを最終的に結果を、最後の結果を見て判断するってのはちょっと、
0:56:36	安全タイミングとしては、
0:56:40	遅いといいますか、バイタリティの段階で使えるということは確認したということにしたいと思ってるんですけども。
0:56:48	規制庁、上出です。そういう考えお持ちであれば全然その考えを変える必要はないと思ってますけど。
0:56:58	感想で言わせてもらうとちょっと下固く考えすぎというか。
0:57:03	んな、なんだろうな、より丁寧な対応があるんじゃないかとは思ってますけど。
0:57:10	そういうことでもう第1部でもう、
0:57:13	これを使えばもう
0:57:15	何でも設計できる、何でも設計できるっていうのはあるかもしれないですけど、
0:57:20	こういうものに対して、関できるんだって結論をしっかりと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:25	つけるんだっていうことであればそれではそれで構いませんし、そその結論に至るような、検証をしっかりされてるかっていうのを確認するまでですからその辺は事業者としてどう考えるかっていうことだ。
0:57:40	思いますので、
0:57:42	いずれにしても、その辺り目明確に、
0:57:46	書いていただければ今の状態でも明確だと思うんで、これが日本原電の考えですということではそうだ、そうでしょうし、今ほど大脇さんが少し、
0:57:56	前段のところを前、
0:57:59	それならそれで、出された結果についてまた確認したいと思います。
0:58:08	はいわかりました。
0:58:09	我々この設計モデルがどんな地盤、或いはどんな構築物に使えるとはもちろん思っていないくてですね。
0:58:19	それは 50 ページの最後に書いてますようにあくまでも今回対象とする。
0:58:24	安全冷却水 E D G の冷却塔に対する、5 ネット学校の武強化のためには、使うことが可能であるという、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:32	トップであって、ご指摘の通り万能のモデルだとは、大町、もちろん思 ってませんのでそういう条件つきというふうに考えてます。以上です。
0:58:42	藤規制庁カミデです。
0:58:46	万能ではないっていうところは変わります。で、説明する際気をつけて 欲しいのは、今言われた通りこのネットには使えるんだ、使えるモデル だっていう結論だけでは、
0:58:59	ちょっとわからないから、要はその防護ネットってというのはどういう、 工学的な。
0:59:07	特徴を有しているのかっていうところを、もう少し噛み砕いてですね。
0:59:12	説明をしないと、こういうものに使えるってこういうものっていう 形、定義としては
0:59:19	飛来物防護ネットってというのは、なかなか定義として使いにくくて。
0:59:24	ちょっと建物で言えばよ、株式のRC造とか、鉄骨のラーメン構想とか そういう何か構造種別みたいな。
0:59:37	それぐらいのイメージで語ってもらえればと思いますのでその辺りは少 し意識をお願いします
0:59:46	はい、真木です。はい、わかりました了解しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:49	コサクですねのためですけど、今回のモデルの議論でいうと、上部構造もそうなんですけど、地盤の方、地盤って言うていいのかどうかあれですけど。
1:00:00	周辺として
1:00:02	局部的に拘束が強くなっているところを外すと保守的になるとかですね。
1:00:08	そういうこともあっての対応だと思いますので、そこも
1:00:13	考慮事項だということはわかったほうがいいかなというふうに思います。以上です。
1:00:19	はいおっしゃる通り
1:00:22	あくまでも、こういう地下構造、周辺の地盤状態でのお話だということも踏まえていきたいと思います。
1:00:36	規制庁、上出です。私から第1部最後にしますけど、43ページの、
1:00:43	考察みたいところでこの辺も丁寧ということだったんですけど、できればお願いで、書かれてる内容が、
1:00:55	なかなか文字だけでは
1:00:58	へえ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:59	イメージしにくい。
1:01:01	ところなんで、一番丁寧なのはここにポンチ絵が入ってくると、いいんですけど、それはそれで大部になるっていうのであれば関連するページ番号なり、
1:01:11	参考に何かをつけてそこを読ませなんですね、してもう少し
1:01:19	この考察。
1:01:20	というものが、
1:01:22	説明がわかりやすいように、工夫できないかっていうところなので、その辺りも検討いただければと思います。
1:01:31	日本原燃谷津はい、かしこまりましたおっしゃる通り文字だけで、3ページに渡る考察と、
1:01:38	検討、設計の影響というところに記載してございますので、ここの少しわかりやすい形でまとめる、もしくは参考の方で、表をつける等のやつをつけるなどですね、わかりやすい形にまとめたいと。
1:01:52	はい。
1:01:53	どうぞ。規制庁カミデです私の方は以上です。
1:01:59	清家規制庁ハバサキです。すいませんちょっと先ほど28ページの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:07	そうなんですけれども砕波を構成して傾向分析をするようなことを、
1:02:13	考えているってことを矢澤さん言われてたと思うんですが、今後そう説明あると思うんですが、現時点でどういうことをされようとしてるかっていうのは、
1:02:22	もし説明できたら教えていただきたいんですが。
1:02:29	大成建設高橋です。
1:02:31	今ですね、こちらの方で、片側からの加力に対しての影響というふうなのはどういうものかというふうなのを、
1:02:41	表現する上で、まず、
1:02:46	何て言うんでしょう。
1:02:48	今回のこの影響というふうなのはとりあえず液状化ということではなくて、単純に波の±の非対称性に、まずはそこに着目した形で、
1:03:00	表現できるような、そういうふうなモデルで、モデルというか、波で実施しようと思っておりますが、残念ながら今、詳細までどこまでどういふふうにするというところまでは、
1:03:12	構想が練れてないのが実情でございます。なので、一応我々の方のイメージとしましては、本日中にこういうふうなことをやれば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:25	片側からの地震はの、非対称性の影響が出るのではないかというのは、 わかるような案を本日中に練り上げて、
1:03:37	キンキンにこの土日の間にも、解析をテストランを実施できればな、 そのように考えております。以上です。
1:03:48	はい。規制庁浜崎です。今の高さんの説明は理解しましたが、ちょっと 先ほども言いましたけれどもこれ片側の新風振幅だけの話ではないとい うことで、
1:04:00	実際、今日このパークの資料にはないんですけどまとめ資料 20 等、今 回のモデルその作業が非対称のモデルによって、ロッキングの出方が、
1:04:12	左右で違ってるとっていう考察があって、その 70 と 80 のもう 15 度、そ の方向によってですね、
1:04:23	除名のある勤務の行動が出方が違いますというようなこともされてます ただ 70 と 8 次の周期が何時、どのぐらいなのかとかそういう説明がな いんで、
1:04:33	これは先ほども言ったように、振幅だけの問題ではなくて、波の周期特 性であったり、そのモデル化の局所的な話で、こういう的な、こういう 値的な、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:45	鉛直も出てくるっていうことを加味して、単に考査砕波といってもいろんな周期が考えられるわけですので、その辺りを考慮して、
1:04:55	検討してもらえればと思ってますんで、これ、定量的な結果を求めるといよりはどちらかというと定性的な傾向分析になりますんでですね、そこら辺を踏まえて等、
1:05:07	検討を覚えてもらえればと思ってますちょっとね、2度手間にならないようにですね、現時点で私としての考えを伝えておきます。以上です。
1:05:18	大成建設高橋です。ありがとうございます。ですねちょっと補足で私どもの考えをお伝えしておきます。まず、地震はの、非対称性。これが原因のすべてとは我々の方でも、
1:05:33	考えてはございません。その証拠にですね、27ページの方に示しているように、SSC湾以外に対しても、
1:05:44	鉛直応答に対して比率は生じております。で、今回、SSC湾の方に、非対称性に対して着目しているのは、
1:05:56	特に接種案は大きな差が出ておる。そのところ何に着目しまして、要因の一つだ。そういうふうを考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:08	なので、その辺も踏まえてさらにハバサキさんからの今のご意見をいただいたご意見を反映する形ですね、
1:06:19	試解析の方できるよう進めていきたいと思っております。以上です。
1:06:25	はい。規制庁浜崎です。お願いしますこれ先ほど鍛冶からもありましたけれども、今回の設計モデルっていうのは板東ではなくて、鉛直応答に関しては、
1:06:35	ある意味非保守的な結果を出してしまう。
1:06:39	その原因はしっかりと分析をした上で設計では後退をしているという流れになりますので、その分析はやはりしっかりとしてもらいたいというふうに思います。私からは以上になります。
1:06:51	規制庁、カミデです。
1:06:54	一応確認しておきますけど先ほど大成建設さんで、この土日っていうお話はされてましたけど、
1:07:02	あれですかね、今日中に解析セットして仕事は計算はコンピューターにその間やってもらって、また来週結構見るとそういう意味で言われてたんですか。
1:07:20	大成建設高橋です。その通りです。はい。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:25	はい。わかりました。はい。
1:07:34	規制庁、伊佐です。
1:07:36	何点か確認させてください。冒頭で、
1:07:40	35 ページ以降については考察と結論がまだ
1:07:48	見直しの余地があるということで修正されるというようなこと。
1:07:52	お話があったんですけども、それに関連して事実確認なんですけど。
1:07:58	この中間状態の評価っていうのは、45 ページ、結論がのって行って、
1:08:03	一番下のポチです、液状化、または非液状化で評価できると、中間状態について配慮する必要がないという記載があるんですけども。
1:08:13	結論導くに至る前段の考察分析ってのはおそらく 31 ページぐらいからずっと来てるかと思うんですが。
1:08:22	この中の文章とかロジックペーパーもそうなんですけれども。
1:08:27	記載内容、ご説明の内容を見ていると、基本的には液状化が最大になるっていう説明が
1:08:35	たくさん出てきてですね、非液状化も必要だよってところがどこで説明があるのかちょっと言えなくて、
1:08:41	パワーポイントで言うと、40 ページの一番下にですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:46	液状化のみでなく非液状化を考慮する必要があるという説明があるんですけれども。
1:08:52	このほかにも、後ろの方の参考とかも含めてですね、非液状化も必要であるという説明がどこになされているのかっていうのをまず教えていただけますでしょうか。
1:09:14	大成建設高橋です。
1:09:16	今のお話、ちょっと
1:09:20	副2ページにわたってお話をさせてください。まず、31ページの方。
1:09:26	31ページのところでですね、我々の中で、液状化が最大になるであろう、そういうふうには、予測を立てました。
1:09:37	で、
1:09:40	ここの文章の中にも記載しておりますけども、文章というか、まずそれ
	にのっとって我々いろいろと検証、検討を行っていききましたところ、
1:09:53	ほぼ予測の通りの共同を示しておりました。液状化が最大になるケースがほとんどです。
1:10:00	ただ、その次、33ページの方お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:08	実際に 33 ページの方、液状化によってですね、地盤の方の、周期特性が長周期か、そちらの方にシフト。実際には
1:10:21	長周期の方が卓越するというか、そういう形の傾向になっております。ですが、短周期側、今グラフの中で右側の図の方に書いておりますけども。
1:10:32	例えば気配りのようなものだですと
1:10:36	もうかなりかたい状態だ。ですので、加速度はもう Z P A のような値しか、それが顕著に出てくるわけなんですけども、短周期の方の応答に關しましては、
1:10:48	必ずしも液状化が卓越する、そうか、言えませんが、まず、この 33 ページの時点で必ずしも液状化が最大にはならないよというふうなのを、
1:11:01	示しております。で、それで、先ほどの先ほど藤。
1:11:09	何だっけ。
1:11:12	ごめんなさい。ここのページにおいて、まず、長周期の液状化の時間が最大ではないよというふうなのを提示したつもりでございます。
1:11:24	以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:26	須藤です。わかりました。40 ページの結論に至るその前段として 33 ページの説明もあるという。
1:11:35	理解いたしました。衛藤。
1:11:37	後ろの参考とかあとこの後で説明がある補足説明資料の耐震建物 23 でも、これ以上の問題という理解でよろしいですか。
1:11:54	日本原燃の原田です。今の点なんですけれども補足説明資料の方。
1:11:59	パワーポイントで説明した内容以上のことは、特に、
1:12:05	現状書いてございません。以上です。
1:12:08	先生よろしいですか。はい、わかりました。
1:12:11	ということであれば 33.4、10 ページに記載の内容で、床の床応答の傾向から対周期で、非液状化が最大になる可能性があることをもって、非液状化も必要と考えたと。
1:12:26	そういう結論になったのかなというふうに言って理解したんですけどその理解で正しいでしょうか。
1:12:36	日本原燃の原田
1:12:38	今の部分は、岸野さん、今ご説明いただいた通りの理解で正しいデータらしいです。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:45	<p>所長。はい、わかりました。えっとですね、ちょっとここ、結論に至るまでの考察はもう一度見直すということで、おっしゃっておられたので、ちょっと今言ったようなところですね、液状化も必要になるといったあたりの根拠というか説明というのがちょっとあの中に溶け込んでしまっても良いしてるところもありますので。</p>
1:13:03	<p>そこはちょっと明確にいただいて、結論にどう繋がるのかっていうのを考えながら、修正の方をしていただければと思います。お願いいたします。</p>
1:13:16	<p>はい。日本原燃原田です。この辺の考察、現状ですと、かなり文字も多いですし、</p>
1:13:24	<p>池内容もボリュームでかなり読み手にとって煙に巻かれているような、というふうに感じてしまうところもありますんで、その辺ポイントを明確にしてですね。</p>
1:13:35	<p>しっかり整理して、わかりやすい記載、ポイントを絞って、</p>
1:13:39	<p>見直す予定でございます。以上です。</p>
1:13:42	<p>はい。お願いします。警部に分かれてるとは思ってないんですけども。</p>
1:13:46	<p>ちょっと明確にしていいただければ。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:50	次なんですけれども、
1:13:53	同じく 40 ページ
1:13:55	なるほど。
1:14:01	報道では、
1:14:04	S S の C 案が、バスのような地震動であること。
1:14:10	と、あと液状化と非液状化とで相違が出にくいこと。
1:14:15	もう、繋がりがこの説明ではちょっとわかりにくいなと思ってるんですけれども。
1:14:20	S S G はパースだからこうなったんだっていう説明妥当、ちょっと言葉 足らずすぎるような気がするんですが。
1:14:28	このあたりどのお考え、考察分析考察されてこのような文章にな ってるともう少しかみ砕いて説明いただけますでしょうか。
1:14:41	大成建設の高橋です。
1:14:43	まず、液状化のバーいこう繰り返し揺れが増えることによって、より液 状化、観月水圧に変化が生じまして、
1:14:56	液状化の状況が大きく、採用する、そう考えております。それで、S E はこの 40 ページであればグラフを二つ記載しておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:08	清さんはバーいまず初めに、大きな揺れによって液状化が進んで、さらにそのあとで各応答値が最大になるような、そういう現象が起きております。
1:15:21	しかし、SSCはのバーいまず初めに、大きな波がポンときて、そこで最大応答値が出るのと同時に、液状化がその時点で生じている。
1:15:34	そういうふうな現象が、まずS s - A N S S C湾では違う。その違いについて述べたのが、パルスのような瞬間的に増数というふうな、
1:15:46	表現を使いました。ただ、今ご指摘のようにこの文章だけでは、非常にイメージを伝えるのに
1:15:57	言葉足らずなところもございましたので、もう少し表現を、収束す、就職するように変更していきたいと、そう考えております。以上です。
1:16:12	規制庁。
1:16:14	表現の就職という
1:16:17	これは大成さんというより減免
1:16:23	言葉を出しているというイメージを伝えれば足りるとお考えなのか。
1:16:27	ここで、先ほど田井さんからご説明があったり、
1:16:31	SS - Aという政府のCRのような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:34	地震はの違い、確かに派遣やそういったことは想像つくんですけども、この地震はの特性を反映して実際の高騰の時間差をで発生していたり、
1:16:45	瞬間的にも最大値に達していたりといった、
1:16:49	解析データからもそれが裏付けられるというようなボウショウってのは、とっても御説明っての考えじゃないでしょう。
1:17:09	規制庁の内海さんの今考えておられる段階でもう少し補足しますとですね。
1:17:13	パルスは的な、
1:17:18	特性というようなことなんですけども、要するにこのパルサーの周期特性とですね、液状化した地盤非液状化した地盤の固有周期との関係というような感じなのかなと推測されるんですけども、そういった違う角度、
1:17:30	カラーも考察されて、いやいやそうじゃなくて、時間的な遅れを伴って、最大値が発生するかしないかの違いなんですよっていうことを、自信を持って、説明できるような準備はされていますでしょうかという質問なんですけれども、その辺りいかがでしょうか。
1:17:50	日本原燃佐藤です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:53	ただいまのご質問に対する検証にもなるかと思うんですが、
1:18:01	28 ページでちょっともう少し深掘りをしたいということで、片振幅、
1:18:08	影響を砕波で見ると、
1:18:12	この際に、サインは、まずロッキング周期とぶつかるようなそういう砕波を作ったり、外してみたりとか。
1:18:22	そういった検討によって、
1:18:29	少し
1:18:31	今ご質問なられてるような周期特性に関する会、
1:18:35	検討。
1:18:38	に対する答えが少し見えてくるのかなと。
1:18:41	そういった追加の評価が今、もう少し必要かなということで、深掘りの方をさせていただきたいというふうにお伝えしているところでございます。
1:18:54	以上です。
1:18:57	規制庁の岸野です。はい。28 ページで、検証しようとしているのは多分、竹野佐伯対象の影響がどの程度かってのを見ようとしているのかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:07	うんって運転手の説明に繋がるのかちょっとそこは私わからないんですけども、いずれにせよ、そういったものも使いながら 40 ページの説明を、
1:19:18	もう少し深掘りをして寄与されると、そういう趣旨と理解しましたので、ちょっとそこら辺も
1:19:25	ご準備の方お願いしたいと思います。
1:19:29	日本原燃佐藤です。はい、承知いたしました。
1:19:33	はい。あと、
1:19:37	四番の 48 ページ。
1:19:40	設計モデル。
1:19:42	の、検証モデルを用いた妥当性の検証を行うということで、
1:19:47	二つ目で、確認に用いる地震動及び検討断面は妥当性検証の確認と同じとするという。
1:19:55	説明。
1:19:57	があります。
1:19:59	この妥当性検証の検討条件の説明がパーフォ上はこれしかないんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:05	具体的に、用いる地震動検討断面、
1:20:08	地盤物性とか地盤の状態についてご説明いただけないでしょうか。
1:20:22	はい。日本原燃イナヅマです。こちらにつきましては、やっぱり
1:20:27	検証モデルの方をどうするかというのを記載してございません。衛藤。
1:20:31	検討も、設計モデルの妥当性検証というところでは、12ページの3ポツ 1の中で、その検討断面ですとか、
1:20:42	1万状態というのを記載してございましたのでちょっとこちらの方を、
1:20:46	しっかり明確にする形で、
1:20:50	妥当性検証というところで、
1:20:54	的な形で修正したい。
1:20:56	あまり、
1:20:59	規制庁の内野です。12ページにその条件の記載があるというご説明なん ですが、
1:21:04	確認なんですけど、検討するためのNS断面、
1:21:10	液状化非液状化というと液状化自分で、
1:21:13	ちょっと地震動やって生成のFSSのC1-2は、
1:21:17	いうことでよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:25	今までのやつは、現状そのような、せ、条件のもと、設計モデルと、研修の
1:21:33	比較検証を行っているというところでございます。
1:21:37	地盤物性については説明がないんですけども、これはばらつきも考慮されてるんでしょう。
1:21:47	2本目のイナヅマです。衛藤千葉布施につきましてはまだ知見を考慮しない。今、地盤として用いてる平均地盤というものを、直下です。
1:21:57	一番の条件で実施するといったもので整理してございます。
1:22:04	成長率はい、わかりました。そこら辺ですね条件はちゃんと明確にっていうのは、多分前々回の会合で、
1:22:14	ちゃんと説明の方ですねできるように準備をお願いしたいと思います。
1:22:18	その上でなんですけど。
1:22:21	12ページ記載の条件の通りだとすると、液状化非液状化については、液状化のみでやるということと理解したんですけども。
1:22:34	設計モデルは、非液状化、全応力でも、
1:22:38	用いるわけなんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:40	非液状化について検証をやらなくて良いと考えている理由を教えてください。
1:22:52	大成建設高橋です。今、このパワポ 48 ページ上では、液状化のものを代表例として記載しておりますが、
1:23:04	実際に、裏では、ばら地盤のばらつきを考慮したもの、もしくは全応力有効力、両方とも
1:23:15	実行確認は実施しております。ただ、それぞれに対してと大きな差異はないので、まず、それと、ここで言わんとしているのは、まず、
1:23:27	設計モデルと、この検証用モデルの違い、傾向はどういうものか、これを代表例を基に、
1:23:39	被害に対して、説明する、それが目的でございましたので、今回は、より明確になるように、ケースを限定して、
1:23:50	条件を限定して、この 48 ページの方には記載しております。以上です。
1:24:01	以上です。村でいろいろとご検討されたバックデータをマツダという、
1:24:06	理解をしたんですけれども。
1:24:08	でも対し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:10	違いはないのでこれを代表例ということなのですが、設計モデルとしてはその非液化化条件でももちろん用いるわけで、その非液化化条件の中の設計モデルの妥当性を検証する。
1:24:26	上で、この検証モデルとの比較が必要でないっていうのは、とにかく説明が必要ではないかなと。
1:24:33	おそらくそこは計画段階で、明確に必要なというふうに
1:24:38	確認できなかったというふうには、おそらく裏でいろいろと確認はされている。
1:24:44	ということかと思しますので、
1:24:46	そこら辺の考え方っていうのは何らか説明してですね今回この液化化時に絞って、検証を行っている理由というのを、
1:24:56	説明があった方が、いいように思うんですけども、その説明の方は可能でしょうか。
1:25:05	はい。日本原燃佐藤です。
1:25:08	中間状態のところ、県、県等で主に、
1:25:13	液化化時の応答が大きいという傾向が見てとれてますので、それを踏まえて、今回はここでは、液化化時と比較をもって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:26	まずは妥当性を確認。
1:25:29	するというような趣旨を少し明確に表しておきたいと思います。
1:25:36	以上です。
1:25:40	規制庁吉井です。はい。
1:25:42	概ね趣旨を理解します。
1:25:44	木佐貫。
1:25:49	あともう1点。
1:25:51	次、49ページ。
1:25:57	中ほどですね、三つポツが並ん。
1:26:01	一つ目のポツの同意書ですけれども。
1:26:05	ここが非常にわかりにくいのでちょっと説明をお願いしたいんですがまず1行目で、
1:26:11	援助法等に対する確認結果を踏まえた考察において求めた水平成分に対する他の制度の比率、まずこれは何を指してるのかっていうのを教えていただけないでしょう。
1:26:22	ほら。
1:26:40	処理があり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:43	あ、すいません規制庁会議室です。日本原燃再処理事業部音声落ちていますか。
1:26:52	最初に言えば大丈夫です。
1:26:58	日本原燃東京事務所です。音声は落ちていません。大丈夫ですご質問も聞こえておりました。そうですか。それでは今のキシノの間2の回答お願いします。
1:27:11	はい。日本原燃原田です。えっとですね、49ページ目の真ん中の矢尻。
1:27:19	他の成分の比率でございますけれども、こちらは29ページに整理されております。右下に表がございますけれども。
1:27:30	そこにA B C Dと、四つの政府がありまして、
1:27:34	これはですね、無理、無理無理ですね。
1:27:41	検定比+。
1:27:42	検定比の結果を、水平成分改定線
1:27:46	鉛直成分地震以外、地震外っていうのは受注だったり課税課長だったりするんですけども、こういった成分にむりくり分けたときに、
1:27:54	水平成分に対する、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:57	水平成分を1としたときに、回転成分はどのくらいの比率かというのを 出してございます。この比率のことを申しております。以上です。
1:28:08	規制庁、
1:28:09	はい。
1:28:11	この比率を、水平成分相当。
1:28:16	合算統治を求めて比較した結果、
1:28:20	というところもちょっとわからないんですけども。
1:28:23	その次のポツがこのようにということで、支配的な大立ではないという 結論に結びつく理由がこの一つ目のポツということで、
1:28:31	まず非常にわかりづらいという。
1:28:33	あとちょっと無理くりっていうようなお話があったようにですね、29 ペ ージで設定されているものっていうのが、これをこの比率を求めてこの 比率を、丸々常時出張さんを統治っていうのを求めてみたいなんで すけども。
1:28:48	その事にどの程度物理的な意味があるのっていうのは、前回の会合前か らですねヒアリングでいろいろと、各審査官からですね、質問等が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:58	まだ十分答えられていないように思うんですが、高校の検討結果のまとめの軸にこれを置いて説明されるというのは、これからも変わらないということよろしいですか。
1:29:10	もしそうであればですねまず、
1:29:13	読んで意味がわからないところはもう、ちゃんとクリアにしていだかないとですねまず趣旨が理解できないと。
1:29:20	それぞれやってることのその意味合いってというのは、明確にしていだかく必要があると思うんですが。
1:29:26	どのように、
1:29:28	ほぼ、
1:29:29	修正していく方向なんか方針なのか。
1:29:32	教えていただけますか。
1:29:37	はい。日本原燃の原です。ですねかなり 49 ページの説明が、無理くり無理くりというのはですねこれ本来、
1:29:48	水平とか鉛直とかベクトルが違う話。
1:29:52	大きさを単純に比較したいがゆえに、
1:29:57	これ、ベクトル無視してですね、た比率。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:04	をかけることによって合算してですね、それで比較しましたと。
1:30:08	述べてるんですけども、それで比較してみて、
1:30:13	設計モデルの方が落ちてきた。
1:30:17	野辺。
1:30:19	ということでございます。
1:30:22	ただ、かなり無理のある説明かもしれませんのでちょっとここもう少し 違うふうな表現もできないかも含めてですね。
1:30:33	検討したいと思います。以上です。
1:30:37	規制庁の木田です。はい。お願いします。
1:30:42	おそらく原田さんがおっしゃったようにですね、ちょっとこれでストレ ートにはちょっと説明できないんじゃないかっていういわくは我々も同 じように思っていて、
1:30:52	これをもし生かすのであれば、これはこういう、
1:30:56	元提出された条件の中ではこういうことがいえるっていうようなこと も、
1:31:00	というような条件つきでの説明になるのかと思いますし、あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:04	そのベッドのことも考えてというようなことで別の説明も考えておられるかと思しますので、そういったことも踏まえてですね、
1:31:14	どうして支配的な元地ではないというふうに結びつけるのかというのが、もう一度再構成。
1:31:19	なければ、
1:31:23	はい。日本原燃原田です。承知いたしました。工夫したいと思います。第1についてキシノから。
1:31:33	提供ハバサキです。今の点に関係してなんですけれども、今まで29ページ例えばですね水平と鉛直の設計に対する企業ということで失礼を受けたんですけれども。
1:31:46	我々も本来、地震応答に関して、防護ネットがそんなに鉛直の影響を受けない国であれば、基礎だろうかフレームみたいのがですね。
1:31:58	いうふうに思ってます。ただ、屋根に関しては、結構第1空間といいますがスパン飛んでますので、国保結構鉛直方向の入力のってというのが、
1:32:08	支配的になってくるっていうのは、これまでの実用量、辛さなんか見てもわかるんですけども、ちょっと今そういう傾向分析この20例えば29ページにはなってない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:23	ので、そこら辺、やはり部位、部位ごとにと言いますか、見るべきは、 こういう大空間であり、そこに関しては水平と鉛直の影響力がどうなっ てるってというような形で分析をしてもらいたいというのが1点と。
1:32:36	水平と鉛直の中分の話ってというのはこれ、ある意味、設計モデルを使う 上の肝になる場所ですので、
1:32:47	先ほど何か無理やりだとかいろいろ非なんかいうことを説明されようと したんですけども、きちんと、どういう評価をして水平と鉛直の寄与分 を考えてるってことをですね、しっかり説明してもらわないと。
1:33:00	ここぐらついちやうと、全体に影響してきますので、そこをしっかりと考 えていただきたいというふうに思ってますが、よろしいでしょうか。こ こ。
1:33:12	はい。日本原燃は、
1:33:14	ここはまず二つの側面D、水平が支配的だよと、伸びようとしてまし た。一つは家族とですね、加速度の前例等だと。
1:33:27	もう一つは駄目査定で財力食うで評価した時に、本当に水平の方が支配 的でだよと。
1:33:37	言おうとしてました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:38	駄目だと言えばあれなんですけど
1:33:42	モデルを組んでですね、鉛直水で同時入力した結果をもとに評価するので、それほど説明は素直になってくるんですけども。
1:33:53	ちょっと勝つ速度で説明が、かなり苦しいところがありますのでですね、ちょっとそこをちょっと工夫してですね。
1:34:03	総合的に水平が支配的であると、わかりやすく示したいなと考えました。以上です。
1:34:12	はい。規制庁ハバサキです。今の原田さんの説明は理解するんですけども、今ここでやろうとしている波及的影響評価、先ほど言ったように屋根トラスに関しては鉛直が支配的になり得る。
1:34:24	に対して、今回はどういう所、結果です。分析したらですね、そういう、やはり
1:34:31	最終の、何を説明しようかというところののっかってですね加速度がいろいろ最終設計計画結果が良いのかと思うんですね。そこはちゃんとポイントを押さえて説明をしてもらいたいというふうに思ってます。
1:34:44	よろしく申し上げます。以上です。
1:34:47	はい。日本原燃原です。承知いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:54	店長の竹田です。
1:34:57	登坂さん聞いてもやりとといいますか、29 ページのところなんですけれど、大体今までのやりとりでてるところではあるんですが、この右下で示されている所の各部材での最大限低地のところなんですけれど。
1:35:13	今、六つぐらい挙げられてるんですけど、これが網羅的になってるかどうかって言うのも、ちょっと疑問がありまして、
1:35:22	例えばクインだとか、基礎スラブだとか、そういったものっていうのも、構成する部材としては挙げられると思いますので、
1:35:33	そういったものも含めた網羅的な考察を行ってほしいと思うんですけども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
1:35:46	はい。日本原燃原です。えっとですね。
1:35:50	お答えはできますというかもうすでにやってありますという答えになります。29 ページには第 1 部隊だけを示しておりましたが、
1:36:01	後の藤井若菜補足説明資料。
1:36:05	或いは
1:36:06	後ろのページの 62 ページには、
1:36:10	いけないから、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:12	すいません。ちょっとです。ね。しっかり機器外各位もやっていますので、
1:36:18	そこがわかるように表記いたします。以上です。
1:36:26	はい。規制庁の竹尾です。わかりました。お願いいたします。
1:36:30	それで今、
1:36:32	院長斉田一井から、MSDの加古西部への分解の回されているんですけど、これはどういう方法で分解されているのかとか、そういった辺りも現状あまり明記されておらず、
1:36:47	ブラックボックスになってるかと思うんですけど、こういった方法で分化していけるのかとかいうところも説明に加えていただけられるでしょうか。
1:36:59	はい。はい。日本原燃原田です。はい。説明に加えたいと思います。ちょっと簡単に紹介しますとですね、本来、静的解析する時にですね、III DMに、
1:37:11	水平テストせん断力、鉛直だとか速度、
1:37:16	あと自重とか積雪荷重、同時入力していくんですけども。
1:37:22	入力を、やめるといっつか水平だけにしてみるたらどうなるかと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:28	そうしたところ 0.54 という検定比が出てきました。
1:37:32	いったふうに、ここは出しました。同じく鉛直だと鉛直だけを入力する せん断力とかの自重回収なんか入力しないでやってみると、
1:37:42	1 になりましたというふうに、そういうふうに算出したということでござ います。そのことがわかるように記載を追記したいと思います。以上 です。
1:37:54	はい。規制庁の竹田です。わかりました。お願いいたします。
1:37:57	箱崎の方からもあったんですけど、ここは鉛直成分がそんなに支配的 ではないということを示す上で、十分、非常に大事なページになるかと 思いますので、考察の拡充の場、よろしくお願いいたします。タケダか らは以上です。
1:38:16	はい。ほか、規制庁側から事実確認があればお願いします。
1:38:26	それではよろしければ第 1 部についてコメント統制と対処方針について 原燃から説明をお願いします。
1:38:39	オオガキで、ほかには宮脇です。今いただきましたコメントにつきまし て、まず
1:38:49	ちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:51	会合の先西谷については検討させていただきます。それからまず鉛直応答についてはですね、S C I についての
1:39:02	考察について非対称性を持つ仮想的な波によるボウショウを加えたものをにかけてですね
1:39:13	単にその非対称性だけではなくて、波の特性等も踏まえた考察を充実させるということで考えております。
1:39:22	それから液状化につきましては、
1:39:31	今ご指摘あったようにですね、
1:39:40	まず
1:39:46	項立ての部分ですね、ここで
1:39:55	検証の趣旨を踏まえてですね、検証趣旨を明確にして、
1:40:04	ごめん、ちょっとこれ力していましたと。
1:40:08	梅谷見城校長のところ追加いたしません消防庁のところ言いますと、今ご指摘のあった、その精製分が支配的であるということの説明ですね。
1:40:20	よりわかりやすく、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:25	経理的な記載を加えてですねちょっと説明を追加したいと思っております。
1:40:29	それから、
1:40:32	液状化については英気液状化についても考慮する必要があるということがきちんと読み取れるように、ちょっと記載を見直したいと思います。
1:40:44	それとあと検証モデルとの比較については、
1:40:50	検討にあたっての検討断面、地震動、地盤物性の記載を明記いたします。
1:40:56	それから全体的にまとめの部分で、この設計モデルが計上可能ということと自体については、
1:41:06	ここの
1:41:09	検証項目についてのまとめであれば、その検証項目に沿った表現になるようにちょっと見直しをしたいというふうに思います。
1:41:18	以上です。
1:41:22	今の説明ですか、3ヶ月とかってありましたっけ、傾向分析する。
1:41:29	すいません規制庁も飯野です。今説明の中に、
1:41:35	自身非対称性のやつで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:40	対象の単価とか作ってですねそれで傾向分析するっていう話が今日の 日、ヒアリングの中であったと思うんですけどそれについて言及ありま したでしょうか。一応確認です。
1:41:50	掲載申し上げました円熟大戸のところでC案で、特にそのOB対象延長 事は、
1:42:01	応急対策についての原因の究明とかでは、はいSCは萩田先生を申し上 げてますけどそれを補強するために、
1:42:12	画像的な社員は頭を使って、合意書を追加したいというふうに考えてお ります。以上です。
1:42:20	はい、ありがとうございます。
1:42:22	一応網羅されてたかと思えます規制庁側からさらに追加で確認があれ ば、
1:42:28	よろしいですか。それでは第二部お願いします。
1:42:33	規制庁側から第二部の確認事項があればお願いします。
1:42:50	規制庁の牛田です。
1:42:53	1点確認です。
1:42:58	波及的影響評価の結果が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:01	いるようなんですけれども。
1:43:04	この評価を行ったそのケースの考え方については特に説明がないように思うんですが、用いた基準地震動ですとか物性値です。
1:43:16	うん。
1:43:17	その辺りの説明ってのは、どっかにあったら教えていただけますでしょうか。
1:43:29	日本原燃あります。はい。申し上げます。現状の干す会合資料では、基準地震動として13%を用いるということは記載してございますが、
1:43:41	実際その物性をどうしているのかというところについては、この資料ではメルペイしておらず補足の方では記載しているんですけれども、本資料の中においては、
1:43:51	条件として、記載してないというのが実情でございます。
1:43:56	規制庁の岸委員。
1:43:57	これはつまり会合のときの結果だけの説明にとどめて、どういう流れでやって、
1:44:03	説明はを考える。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:13	日本語になります。いえ、そういうわけでは、現状の記載がございませ んので読者の方はしっかりですね、条件として、どのような波を用い て、また地盤物性としてどのようなものを用いてとか、またばらつきに ついて、どのように考えているのか。
1:44:26	これを含めて、条件として、しっかりご説明した上で、
1:44:30	その解析の内容ですとか、結果についてお示ししたいと思っております。 す。
1:44:37	店長の岸です。はい、わかりました。ちょっと現状パートの中では具体 的な説明。
1:44:44	その確認はまた後程補足説明の中で、させていただければと思います。 キシノから以上です。
1:44:56	規制庁カミデです。ちょっと1件確認なんですけど。
1:45:01	102 ページ。
1:45:03	の、
1:45:06	説明の意図がよくわからないんですけど、ここは何を説明したい場所な りました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:18	はい。日本原燃の東です。こちらにつきましては実際の補足の方ではしっかり説明してはいたんですが、実際のまず標準直下の
1:45:27	一番の特性を用いまして前月流した上で、影響の大きいものはここで赤マルつけてについては、その物性のばらつきを見るという、確認っていうか、
1:45:40	そういった評価をするということを記載してございますのでそういった趣旨がわかる形でこちらの方、
1:45:45	先ほど来、北さんからご指摘あったパーツの考え方ところも含めて、整理し直したいと思います。
1:45:53	規制庁、上出です。
1:45:56	もう一度、目的を教えてください。
1:46:06	日本原燃の原田でございます。えっとですねここで述べているのはですね、まず地盤応答は、13%で全部やりますと、
1:46:17	そのときに、全応力も有効力も1通り、
1:46:22	やりますと設計モデル持ちですね、やりますと。
1:46:25	そのあと、上部構造物の評価の段に移るんですけども、その時にスリーDFEMモデルに、に入力してやるんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:38	その時は一番チャンピオンになるところを、
1:46:42	持ちますよと。
1:46:43	いう意味で、丸赤間ですね、つけたものを、部材設計で用いますと、そういう説明になってるページでござい。
1:46:53	以上です。
1:46:58	はい、規制庁カミデです。わかりました。だから、
1:47:04	あまりつけたところがねえ。
1:47:08	部材設計のインプットに使うものだと。その部材設計のインプットの選定の、
1:47:14	ところの説明だっという、
1:47:19	はい、二本木佐原です。おっしゃる通りでございます。
1:47:24	はい。
1:47:27	要は、こういう確認をして、インプットし守り絞り込むだと。
1:47:32	着眼点が、幾つかあるんですけど、
1:47:37	こういう着眼点で、いいんだっというところは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:42	それはどこに繋がってるんですかね、下流の話はわかったんですけど、 これがどう繋がるかは、今の説明だったんですけど、条例としてどう落ちてきてるかをご説明いただきます。
1:48:08	日本原燃の原田です。
1:48:10	とですねその辺の町からのやりとりといいますか評価の流れはですね、 95 ページ 96 ページあたりで、
1:48:21	整理していったつもりでございました。この流れに沿って、
1:48:28	隙 102 ページ、103 ページ 104 ページに展開していくと。
1:48:33	もっと言うと、
1:48:35	ですね、
1:48:37	109 ページ 110 ページあたりは基礎張りだったり栗田的です。
1:48:43	料計算するところなる
1:48:45	いう話の展開で整理してございました。以上です。うん。
1:48:50	はい、規制庁カミデでその辺はちょっと全体の繋がりがよくわからない ので、102 ページにも、そのあたり、
1:49:02	書いた方が、
1:49:03	いいでしょうし、それより前のところでも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:10	これを、
1:49:11	どうするのかっていう。
1:49:14	フォローですね。その辺がもう少し明確になってこないと、何かちょっと全体の流れが見にくい。
1:49:22	感じがしますんで、ちょっとその辺り、精査をいただくよう、
1:49:30	はい、二本木原田です。
1:49:32	そうですね。ちょっとはい。つ工夫させていただきます。少しあれですね地震を、東海、このフロー2の、
1:49:43	もし展開の紐付けを明確に。
1:49:48	する場を借りやすくなるかなあって思いましたのでちょっと工夫させていただきます。以上です。
1:49:57	はい。規制庁、カミデです。私の方からは、
1:50:01	以上なんですけど、102ページのそういう意味で言うと、
1:50:07	割と自身は絞り込みっていう意味でそれなりの意味があるところで、
1:50:14	だとすると、
1:50:18	赤間でつけただけじゃ、どれかよくわからん補足説明資料ちゃんと魅力はわかるんですけどって感じで、ちょっとその辺りは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:26	検討いただければ。
1:50:28	私の方からでしょ。
1:50:31	はい。日本原燃働いた時に赤丸だけじゃわからないので、
1:50:36	すごいしたたか
1:50:37	と思いました。
1:50:44	その他規制庁側から、第二部の確認事項があればお願いします。
1:50:49	はい。規制庁ハバサキです。いいですかまず、これは記載だけの話とい えばそうなんですが 120、最後ですね、110728 ページ。
1:51:01	これは各部たが、付箋形で、今回その F M モデル上も線形の部材で問題 ないと。
1:51:13	いうことを、結果から説明しているし、
1:51:19	説明資料だというふうに思ったの考えてます 127 と 128 ですね。ただで すねこの 128 ページの短期に対する検定比がここにぼんと出ると。
1:51:30	非常にこれ、目立つので、要は、波及的影響評価としては 120 ページ が、評価結果としては一番重要なところですので、
1:51:42	そこ、誤解がないようにですね、構成なり、或いは文章を追加して、あ くまでもこれはモデル化上は線形でいいっていう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:53	ことを示すためのだけの紙情報だということがわかるように、修正のほ うが必要かと思うんですが。
1:52:01	事業者はいかがでしょうか。
1:52:06	日本原燃の東です。岡崎さんのおっしゃる通りかと思います。我々の下 のこの施設としては波及的影響の評価を行って問題ないというところ は、120 ページでしっかりお示ししてございますので、
1:52:19	128 であくまで弾性範囲に収まっているというところをその中で確認す るだけの紙だけというか、そういった、
1:52:26	出し半減わかってるという確認の資料でございますのでちょっとそこは ですねそっち分けてわかる形で、江藤文書の方、記載するとですね、は っきりもともと我々がやりたいことと、
1:52:38	切り分けてわかるような形で、
1:52:40	法的的させ、
1:52:44	はい、規制庁浜崎ですお願いします。もう 1 点はちょっと中身に入って 細かい話なんですけども、111 ページ、今回会合での指摘を踏まえて、
1:52:58	検証用モデルの結果との比較をしてもらおう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:02	説明がありますで、111 ページは杭の応力分布という形で深さ方向もです ね、示されたんですけども、まず確認は、
1:53:14	検証用モデルで何本か線が引かれている。
1:53:19	ですが、
1:53:20	これは何を意味するのか説明してください。
1:53:25	大成建設高橋です。今、グラフの右が二つ側の検証用モデルなんですけども、両方とも断面①、
1:53:36	要するに、何ていうんでしょう、施設の中間あたりをカットした、そういうふうなところの断面になっております。で、中間の断面で切りますと、
1:53:49	杭の 4 本、モデル化しておりまして、その 4 本の杭の値を記載しております。ちなみにですね断面②端部のほうですと、
1:54:02	応力値、小さい数字でしたので、①の方、より大きな数字が出ています。断面①の方を、このページには記載しました。以上です。
1:54:16	はい。規制庁浜崎です。おそらくそうだろうという予測はつくんですが今、凡例がありますので、そこは判例を地下の方もしてもらいたと思います。よろしいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:31	大成建設高橋です。承知しました判例を追記します。
1:54:36	規制庁浜崎です。その上でなんですが、例えばモーメント分布を見ますと、これは以前も説明があったんですけども、
1:54:47	国の先端部で、モーメントが大きくなっているところがありますよね。 で、黄色のモーメント分布なんかはですね、これ基本的には国が同じハイキングがされてるんで上から下までですね。
1:55:02	国等で設計してるから問題ないっていうので説明はあるんですけども、
1:55:10	この図だけを見ちゃうと、弱視センター分って結構いってるねっていう話も、当然、見る人が考える人もいるんですけども、要はその、
1:55:22	基本的には、国のす。
1:55:24	背景は同一だから問題ない。
1:55:28	知久伊藤檀だけの設計で問題ないっていう、そういう説明が、はい。本来入るべきだというふうに考えますが、そういう理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:39	はい。大成建設高橋です。浜崎さんのおっしゃる通りだと思います。クインが、すべての長さにおいて同一ハイキンであるので、杭最大モーメントが発生する。
1:55:53	杭等で評価を行った。そのような記載を追記しようと思ってます。以上です。
1:56:00	はい。規制庁浜崎です。これ、みんなが内容を知った例えば最近状態を知った人が見るだけではないんですね、そこ丁寧な説明の方をお願いします。
1:56:14	私から以上です。
1:56:19	はい。衛藤規制庁側から、大臣について確認ありますでしょうか。
1:56:28	よろしければ、日本原燃の方から第二部について受けたコメントと修正方針の各課の確認をお願いします。
1:56:39	はい。日本原燃の渥美です。はい。第二部におきましてもほぼの評価の部分等、また状況を明確にするというところにつきましてコメントいただきました部分につきましては申請の上対応したいと考えてございます。以上です。
1:56:54	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:58	はい。それでは、パワーポイント二つなんですけれどもこれの修正しされて、提出されるスケジュールっていつぐらい予定されてるか教えていただけますか。
1:57:15	はい。改定、
1:57:28	頑張りたいと思います。はいどうぞ。はい、ありがとう。日本原燃おはようございます本日いただいたコメントにですね、もちろんコメントを踏まえた追加のボウショウ。
1:57:42	を含めてですね、月曜日中に資料を整えてご提出したいと考えております。以上です。
1:57:49	はい。規制庁森野ですわかりました。そのように対応をお願いいたします。
1:57:55	それでは、5号のヒアリング開始2時間経ちましたので、1度休憩を挟ませていただきます。再開は45分で、
1:58:05	よろしいですかね。はい。では45分再開ということで一旦休憩挟みで中断します。
1:58:13	はい。日本原燃6次。
1:58:16	45分再開、了解いたしましたよろしく申し上げます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:03	はい、それでは2月18日のヒアリングを再開します。
0:00:08	それでは次の題目なんですけど。
0:00:12	次に今表示されてる、元の資料だと、新0002ってことなんなんですけど。
0:00:20	審査会合に関連する補足資料先にやった方がいいと思いますので、
0:00:26	建物08と23を先にして、最後、00-02という形でいかがでしょうか。
0:00:36	はい。日本原燃六ヶ所です。はい。今のご提案の順番でやらさせていただきます。よろしくお願いいたします。
0:00:44	はい。それでは耐震建物08。
0:00:48	から、始めさせ、関西化させていただきたいと思います。衛藤。
0:00:54	08について何か補足で説明することがあれば元からお願いします。
0:01:01	羽生遠藤氏ございますこちらの方の資料といたしましては先日出ししているものから変更してございませんので日本原燃から特に説明はございません。はい、かしこまりました。
0:01:11	それでは規制庁側から事実確認をお願いします。
0:01:20	規制庁の岸野です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:22	補助について何点か確認したいと思います。まず 37 ページをお願いします。 ます。
0:01:32	こちらの方に表があってですね燃料加工建屋の地盤モデルカッコ基本ケースの物性値が載っているんですけども、
0:01:41	この表による、上の方ですね造成森谷六ヶ所層、単位体積重量 γ_t っていうのは、
0:01:48	お礼事業変更許可申請書に記載された解析用の物性値から変更しているんだと思うんですけども。
0:01:57	過去のヒアリングで、
0:02:00	この平均地盤モデルから直下地盤モデルに変更する際に、この表にある V_T とか V_S 数、
0:02:07	いやひずみ依存特性、
0:02:09	もうその変更内容については説明があったと思うんですけど。
0:02:14	頑張りについて、どういう経緯で変更したかというような明確な説明がなかったというふうに記憶しておりますので、
0:02:23	この変更理由と根拠という説明をしていただきたいと思うんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	この点についていかがでしょうか。
0:02:36	まずはなかったかということも含めてご説明いただけますか。
0:02:42	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらの表の単位体積重量のところなんです、こちらにつきまして今回燃料加工建屋の直下または近傍のP S検層データボーリング調査データ。
0:02:54	これに基づいて設定しているわけなんです、V s V pにつきましては、これまでご説明している通り、これらのV s V pの平均値でやっているというところ、単位体積重量につきましても同様にこのボーリングのデータから、
0:03:06	設定しているというところでございます。まず設定の事実関係については以上でございます。
0:03:11	成長期3です。はい。
0:03:14	これは今まで特に説明がなかったという理解でよかったです。
0:03:22	日本原燃のオガセでございます。これまでのご説明といたしました野末V Sを今回ちょっと直下のモデルの方に切り換えた際に合わせて直しているというところでございますが、ちょっとこのすいません数字の中身

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>というか根拠というか、それについてちょっと説明していなかったところでございます。</p>
0:03:39	<p>規制庁の中ですね、事業許可で説明のあった内容から変更があった内容についてはですね当然ながら説明が必要になってくるということで、</p>
0:03:48	<p>今、</p>
0:03:50	<p>こちらから指摘した頑張り以外にもですね、そんなようなものがあるならば、</p>
0:03:55	<p>ていうかそのようなものがないことを今一度確認の上ですね、</p>
0:04:00	<p>それらの設定根拠考え方についての説明を改めてしていただきたいと思っていますので、どうでしょうか。</p>
0:04:10	<p>日本原燃のオガセでございますかしこまりました今までのご説明の際に速度構造の方をちょっとメインにご説明させていただいてたところありましたのでちょっと改めて確認をさせていただきます、ご説明していないところについては根拠の方を出すような形で、</p>
0:04:24	<p>この資料の方に立つと検討の方させていただきます。</p>
0:04:28	<p>成長の基準です。</p>
0:04:31	<p>ほかにもあれだと。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:35	事業許可申請書だと頑張ってたたら、
0:04:38	深さ方向に変化するような数式で与えていたと思いますけど、今回はもう一律の値の層ごとに記述値としておりますので、その考え方を変える根拠なんかも含めてですね。
0:04:50	また次回とかも、説明をお願いできればと思いますが、よろしいですか。
0:04:58	はい、かしこまりました日本原燃のオガセです。V Sの考え方と同じような形でこの対単位体積重量の深さ依存深さの方の考え方もやっているところがありますのでその辺りもあわせてご説明の方には加えさせていただきます。以上です。
0:05:12	はい。
0:05:13	成長の基準です。よろしく。
0:05:16	これはおそらく食う添付書類でいきますと4-1-1の地盤の支持性能に係る基本方針の中で、事業とか一申請書に記載があった物性値とそうではない整地みたいな形で、
0:05:32	示されることになると思うんですけども、現時点でこの資料の中で、表を用いた説明ってのはされておられませんので、これもですね、この、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:42	新制度に係る基本方針を今後説明する際にはですね、どのような形で、これを反映したのかというのわかるような形で説明をしていただきたいと。
0:05:51	で、こちらの方もあわせて準備の方、
0:05:56	はい。日本原燃の間瀬でございます。地盤の支持性能の方にもこちらの方変えたところについては反映する方針としてございますのでそちらの対応していくこととなっております。以上です。
0:06:07	社長、岸野です。はい。
0:06:09	続きまして、
0:06:13	ちょっと後の考察の方に関して何点か確認をさせていただきます。まず 46 ページの方お願いします。
0:06:24	中ほど (2) 課題 1 として等価線形解析の適用についてという、
0:06:31	見出しの下の文章なんですけれども。
0:06:34	結論が全周、いずれの深さにおいても、全周期体において有意な差はない結果となったという説明になっております。
0:06:43	これー。
0:06:44	ここで読み込んでいるというのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:47	第5-4の水とか4図という、
0:06:51	ことなんですけれども。
0:06:52	例えば48ページの5-4-2図を見ますと、
0:06:58	深さ43.2メートルのスペクトルっていうのは、等価設計解析の苦労と、 逐次設計の、残り3色のものって、くっきりと差があるように思うんですが。
0:07:11	こういったことを踏まえても、いずれの深さにおいても全周期体において有意な差はない。
0:07:18	結論付けたというのはどういう考え方なのでしょうか。
0:07:23	その背景にある考え方も含めてご説明をいただけないでしょうか。
0:07:28	はい。日本原燃の間瀬でございます。こちらの考えにつきましては現在画面に映してございます48ページの図でございますがまず逐次非線形解析この赤青緑の線につきましてはこちらについては有意な差がない。
0:07:42	解析の、パラメータスタディですがそちらの方について有意がないということで行っているというところでございます。一方で黒瀬の等価線形解析の方につきましても現在考察としては有意な差がないというふうな形で書かせていただいているんですが。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:57	こちらの、我々として設計として最終的に用いるものとしましては等価線形解析の方を使うということにさせていただきますが、この結果に対して有意な影響を与えないこの逐次非線形解析をやってさらにそのパラスタ-をやったところというのが、
0:08:11	その等価線形解析でやることに対して有意な影響を与えないという意味で、有意な影響はないというふうな、有意な差はないですかというような言葉の方を使わせていただいている次第でございます。以上です。
0:08:23	支店長の儀間です。今ご説明のあった内容ってのは、この48ページの図から読み取れる。
0:08:29	行動や、例えば設計に差がないということを読み取るのかちょっとわからないんで教えていただけますでしょうか。
0:08:38	日本原燃のオガセでございます。当然明確に言葉で書いているわけではないんですけども、このこちらの資料の中では最終的に評価線形解析のほうを用いるというふうに結論づけているところもございますので、その等価線形解析でやっている結果が、
0:08:53	全周期体においてこの応答スペクトルこの赤緑青の応答スペクトルを上回っている10点で、見れるとは思いますが。ただちょっと今、こういっ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>た話の子機気持ちというかそういったところが文章には反映されていない</p> <p>ところは確かにおっしゃる通りだと思いますので、</p>
0:09:07	<p>ちょっと表現の方は正しく、最終的に使うのがこれだっていうところも踏まえた上での記載に、するべきかなというふうにちょっと今のやりとりで考えてございます。</p>
0:09:16	<p>規制庁の岸野です。なんかすごい認識が隔たりがあるなというふうに感じていまして、</p>
0:09:21	<p>結果的に用いることになったどうか設計解析の結果で比較すると差がないといった、知見をですね、46 ページに持ち込んできたという、その考え方自体がよくわからないんですけれども。</p>
0:09:33	<p>それは何か他のところでわかった結果をここに持ち込んできたというご説明で、理解しましてそれでそういう説明でいいと原燃として判断したということなのかなと思いましたがけれども。</p>
0:09:46	<p>そういう考え方するところはどういうふうに。</p>
0:09:49	<p>今のやりとりを聞いて理解したということですけどどういうふうに直されるおつもりなんでしょうか。ちょっと先を読めないでご説明いただけますか。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:12	はい。日本原燃のオガセでございます。今のちょっと修正の方針考えにつきましてですけれども、46 ページの文章にきちんと考え方を記載するのかなというふうに考えております。
0:10:23	46 ページの文章のところでございますけれども、
0:10:29	例えば上川はい、こちらの方に先ほど申し上げましたようなところ、イシズミ損特性のガイソウ範囲のパラメータスタディこれについては影響与えな病院の影響がないというところ。
0:10:41	踏まえますというところでさらにそれに対しては等価線形解析、最終的に使うものでございますけれども、それで設計することに対して、評価に対して有意な影響はないという考察が選べるというところの記載をこちらに立つのかなというふうなところで考えておりました。
0:10:57	規制庁の内野です。46 ページの (3) についてはパラスターの中で差がないっていうのは、それはずっと照らし合わせてですねおっしゃることは理解できるんですけど。
0:11:07	それはいいんですけど、(2) については、設計において有意な差はないということをこの中で説明するというので、そういうことは48 ページの図だけではなくて実際に設計をやった結果、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:19	王道の結果なんかも、ここに持ち込んできて設計、ただ、藤スペクトル湯浅はあるけれども設計の結果に影響がないことを、改めてここで説明する方針であると。
0:11:30	そういう理解したんですけどそれでよろしいですか。
0:11:40	はい日本原燃富樫でございますこちらの方の図といたしましては、まずまず、こちらの方で今回逐次非線形解析の文に基づいて評価の方を実施して今のこのケース1に行っていたところでパラスターの方をした。
0:11:57	ものと基本係数といったところを比較して、こちらの方の逐次線形で見えた場合といったところでは、当該層範囲に対しての有意な差はないといったところの確認できているといったところでございます。
0:12:08	また一方で実際の建屋の評価の方で用いておりますのが等価線形解析の方を用いたものになってございますので、こちらのもので入力の変位スペクトルレベル感でいきますと、
0:12:20	逐次でやったものにですね大きな家、入力等になっているといったところをもちまして、現状の評価といったところは少し応答としては大きめの評価になるようなところで評価しているといったところで。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:34	現状の建屋の評価としては、こちらの方を少し構造の方としては保守側の評価の方を実施してるという意味合いのところで記載したものになってございます。
0:12:45	成長の基準ですはいわかりまし
0:12:47	た結果を与えるという意味で書かれてない。
0:12:50	優位な差はないという
0:12:54	聞いてたんですけれども、そういう趣旨である。
0:12:58	趣旨はきちんと明確に。
0:13:00	修正の方針、
0:13:04	はい日本への投資でございますちょっとこちらの方混同するような記載になってございましたのでしっかりと記載の方は適正化の方さしていただきたいというふうに思います。
0:13:13	はい。規制庁の岸田です。それに関連しますけれども、ちょっと飛んで59 ページですね。
0:13:19	今回の
0:13:21	本冊。
0:13:23	が述べられています。で、59 ページは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:26	中ほどより少し下に、しかしで始まるパラグラフがあるんですけども、
0:13:31	この主文章ですね。
0:13:34	解析手法による有意な差を現れなかったことからと。
0:13:38	有意な差はない、現れないことを前提としてこれ以降のロジックを展開させていますけれども、それも多分おかしい話になっちゃってるんで、保守的な結果を与えることから、この後に繋がるのかちょっとわかりませんけれども、
0:13:53	先ほどの修正方針とあわせてですね、これ以降もおそらく手を加えることになろうかと思しますのでここは適宜、
0:14:02	修正の方をしていただければと思いますが。
0:14:07	はい。日本で飛ばしてございます先ほどのところもあわせましてちょっと全体的な文章のところをちょっと見直し、もう一度読み直させていだきまして適切な表現の方に修正のほうを加えていきたいというふうに思います。
0:14:21	はい。規制庁の岸です。すみません。
0:14:25	はい。小阪です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:28	直す際にですね、今の表現ぶりについては、そもそも 40 ページを見ると、
0:14:35	差があるかどうかということを見ようとしているわけではなくて、
0:14:41	算定結果に影響を与えないことを確認とそもそも言っていることでの考察なので、そこを踏まえて整理をいただければと思うんですけど。
0:14:53	その結果どういうふうにかかれるのかにもよるんですけど全周期体においてって言われ、
0:14:59	てるところが残るんだとするとですね。
0:15:03	48 ページのす。
0:15:06	上の図で言うと、
0:15:10	周期 1 秒以上のところ、
0:15:14	つい 1 秒以上のところというか 1 秒台のところですね。
0:15:18	今逆転してるところがあるので、
0:15:22	そのあたり、
0:15:24	税収期待で云々っていうのはちょっと違うかなと。
0:15:27	思うんですけど、基本ここは影響を与える場所じゃないってことでいいんでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:33	はい日本原燃富樫でございます。基本的に建物主体でいきますとマニー業務本部三行ぐらいが主要周期になって参りますのでそういったところでいきますとこういった長周期の領域部分につきましては建屋の音としては影響を与えない部分だというふうに理解してございます。
0:15:49	コサクです。わかりましたそうするとコンマ2秒からコンマ3秒っていうのは、
0:15:55	町、
0:15:58	何ですかねトーカー線形の方が高いということでもなくて、
0:16:03	微妙に逆転してるところもなくはない。
0:16:08	いうところなので、いずれにしてもそこら辺を適切に表現するようにお願いします。
0:16:15	はい弓削トガシでございますちょっとこちらの方丁寧な記載作りさせていただきます。
0:16:24	コサクです。木曾さんよろしく申し上げます。
0:16:27	規制庁の岸野です。
0:16:29	続きましてですね59ページ戻っていただいて、
0:16:34	59ページ下の方ですね一番下の行から60ページにかけての、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:39	内容なんですけども。
0:16:41	記載内容がですね、表層地盤中で速度構造のコントラストが大きいこと。
0:16:47	そうですね。あと燃料加工建屋の地盤モデルの特徴といった言葉も出てきてるんですけど。
0:16:53	これは具体的に何を指しているのかというのが、文章読むだけで理解しがたいところもありますので、ここは具体的に解析データを引っ張り出す日本中など、
0:17:04	Gとしてですね、具体的な説明を加えていただきたいと。
0:17:11	そう。その方向で検討いただけますでしょうか
0:17:15	日本原燃のオガセでございますかしこまりましたのポンチ絵と加えましてひずみの分布図で歪が卓越しているところがどういう岩盤の方なんですかねコントラストのところにいるとかそういうところが対比できるような、のを加えた上でご説明の方へ加えさせていただきたいと思えます。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:32	はい。そこは、何かを加えていただくときにはちょっと留意していただきたいということですね。李りかいいというイメージがなかなか持ちづらい。
0:17:43	表層地盤中で速度構造のコントラストが大きいってどういう、
0:17:49	当地盤モデルの燃料加工建屋の地盤モデルの特徴っていうことが出てくるんですけど。
0:17:56	これとは別の資料で建物耐震建物の中ですかね減衰定数の補足説明だったと思いますが、
0:18:03	この中で燃料加工建屋の周辺地盤の特異性みたいなことも出てくるんですね。
0:18:09	それと同じことを指していると違うものなのかちょっとわからないんですけども、それと違う意味でここで言葉を使っているのであれば、そういう違いも明確になることを意識してですね。
0:18:22	ご説明を加えていただければと思いますので、ご検討の方お願いしたいと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:29	日本原燃のオガセでございますかしこまりました。そちらの資料での言いぶりとかともきちんと整合横並びもしくは違うのであれば違うところそういったところがわかるようなところで明確に資料の方、記載の方は気を付けさせていただきます。
0:18:45	それとですね、次の 61 ページになりますけれども、
0:18:51	上から五つ目のパラグラフ。
0:18:55	3 行目ですか。
0:18:58	本地震動と燃料加工建屋の地盤モデルの周期特性が一致したっていう、この説明もですねここでいきなり唐突に出てくるような感じがあるんですけども。
0:19:09	本地震動と
0:19:11	地盤モデルの周期特性一致したことっていうのは、具体的に
0:19:15	こういう周期等が大体近い位置にあったというようなことかと思うんですが、これは、
0:19:20	具体的に言うデンスをもって、ちゃんと説明をしていただきたいと思えます。別のページでもうすでに説明済みだということであればそこを読み込んでいただければ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:30	それと説明。
0:19:34	日本原燃のオガセでございます。こちらの意味合いといたしましてはこのSSCは σ のところの波に対して地盤の固有周期がという話でして、上の方での説明をちょっとすみませんまとめて書いたところでございます。そのエビデンス、中身の細かい説明は、
0:19:50	この上のところで説明しているところでございますけれどもそれをずーっと示しているのがですね、64ページにあるようなものなんですけれども。
0:20:00	このことを言うておりました64ページでございます。地盤は保有し固有周期といいますか吊りの伝達関数なんですけれども、これも工事PEEK大体これでいきますと。
0:20:13	何秒0.5秒とかそれぐらいのところ、山があるところこれが地盤の時、地震はのときの固有周期と当たっているだろうとそういうようなところの、ご説明としてこちら文章の方は記載させていただいたところでございます。以上です。
0:20:28	規制庁の木曾です。はい。ちょっとこれとの結びつき読み取れなくてですね、今教えていただいてもこの文章がこの図から読み取れるかどうかってのはすぐ理解できないんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:39	この図に基づいて、これを述べているのであればですね、図を参照しながらですね、具体的にこの 0.5 秒付近の辺りで一致しているとかですねその辺りの説明をきちんと加えて、
0:20:50	いただければ理解はしやすいかと思しますので、ご検討をお願いしたいと思します。
0:20:56	日本原燃のオガセでございますかしこまりました。説明の内容とどこの図で読んでいるかわかるようにこちらの方は適正化させていただきます。
0:21:05	はい。規制庁の木曾です。同じく 61 ページで次のパラグラフ。
0:21:10	ふうにあるんですけども。
0:21:12	下の方 136 行目ぐらいですかね。
0:21:16	等価線形解析と比較して、
0:21:20	地盤の固有周期が明瞭に卓越せず、
0:21:23	高次モードの影響が大きくあらわれなかったためであると考えられると推測されてるんですけども。
0:21:30	逐次線形と等価線形と比べて、
0:21:34	なぜこのような、このようになると考えられる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:37	これはちょっと理解できない。
0:21:39	です。
0:21:40	隣の、あとは次の 62 ページで物を見ていただくとですね。
0:21:48	等価線形解析 t の、黒線と青線ありますが、青線の方、SS-C T も ですね。
0:21:55	これと、逐次非線形解析、赤線と見比べると、傾向が異なっているんで すが、
0:22:03	この 6 パラメの、
0:22:05	説明で、これ、この傾向の違いってのは説明ができるのかもちょっと理 解できないんですが。
0:22:12	ここで、これらの傾向の違いっていうのをきちんと説明できるのか、も う一度かみ砕いて説明いただけないでしょう。
0:22:20	はい。日本原燃のオガセでございます。こちらについて、ちょっとまず 口頭でかみ砕いてご説明いたします当然文章の方はこれまでのご指摘も 踏まえまして持ちわかりやすくというところは拝承してございます。
0:22:31	まず 62 ページの図のところですけども、こちらの青の等価線形解析 SS の C 案 - σ と逐次線形解析こういうふうに応答が違うというところ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>でございます、この青の線につきましては、46メートルのところでお渡しになっていてその上でちょっと原になっているというような状況になっておまして、</p>
0:22:50	<p>あの辺、この地盤のひずみの関係見ただけでいきますと、工事モードこの46から55までのところで、工事ピークが発生しているというところが見て取れるというふうに考えております。</p>
0:23:02	<p>一方で他の逐次線形解析の赤い線とかは下に行くほどひずみが大きくなっていくということで、いわゆる一次振動が卓越しているであろうというところがモードとして見えるというところがございます。これを周波数特性波の周波数特性と、地盤の固有種のピーク。</p>
0:23:17	<p>こういったものと照らし合わせて確認をしてみましょうというのが、先ほどご覧いただきました64ページの図でございますけれどもこういったところで考察をしているというところがございます。まず64ページはこれ等価線形解析のSSCワン。</p>
0:23:31	<p>つまり工事ピークが立っているっぽいというふうになっているところがございます。これでいきますと、上のところが地盤のいわゆる伝達、地盤の伝達関数ですので一番固有周期に該当するようなものだと思っただけならばと思うんですが。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:45	<p>それで行った時にですけれども先ほど申し上げました 0.5 秒ぐらいのピーク、こちらの方で、この地盤の方で赤と緑の線が立っているというところがございます。こういったところのピークが、下に目を移していただきまして、</p>
0:23:57	<p>この黒い線のフーリエスペクトルこちらはこの S C 湾の波そのもののこの波の性格の新周波数特性、フーリエスペクトルなんですけれども、これを見たときに、</p>
0:24:09	<p>雇用推進、S S C はもういわゆる一次、これは 1 秒過ぎぐらいいるようなところ、これもあたってはいるんですけれども、それよりも大きい山で、2 G P 2 時なのかすいませんわからないで工事ピークとさせていただきますけれども。</p>
0:24:21	<p>二つに大きい山へが大体 0.5 秒ぐらいのところにいるというところになっています。ここも山賀はどうやらこの上の地盤の赤とか緑のところ、これと合致することによって、地盤としては高次モードが卓越して先ほどのような原となるような、</p>
0:24:37	<p>途中で小原に出る、出るような格子ひずみ増になっているというふうに考えているという考察でございます。一方で逐次線形解析、あと 62 ページの赤線の、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:48	ところのものでございますけれども、これも同じような分析を試みた結果を 68 ページの方に記載しております。
0:24:55	68 ページの図にございますけれども、こちらの下の方の III スペクトル S C はのフリースペースとは当然が一緒ですので変わらないというところであるんですけども。
0:25:06	やはりこの逐次非線形解析というのが時々刻々と物性値が変わっていくというようなものでございますので、とある一定の収束物性値を決めて全時間を
0:25:18	地震法とか市場の応答解析をやるような、等価線形解析よりも、一定の周波数のピークが立ちにくい。やはり自国で買ってくるピーク周波数特性が変わってくるというのが、逐次非線形解析の特徴だというふうにもとも思っているところでございますけれども。
0:25:34	やはりこの伝達関数、赤とか緑とかの線でございますが、それを見るとやはりですね、時々刻々変わっているのもこのようにぎざぎざと、固有のピークが明瞭に立つような地盤ではないと、逐次線形解析では言うことができる。
0:25:46	それで行った時に先ほどの C 案の 2 時ぐらいのピーク 0.5 秒ぐらいのところを見ても、やはりその辺の山というのが、先ほどの等価線形

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>解析よりも、ちょっといないというような状況ぴったりと合っていない というような状況があります。</p>
0:26:00	<p>ですのでやはりこのこの逐次線形解析では工事モードが卓越せず、提 示、一次のピーク、そういったものが卓越することによって、最終的に は下に張りつくような、ひずみ依存特性やひずみの結果となった。</p>
0:26:13	<p>というふうなところがいえるというのがこちらのずっと文章のところで ご説明しているところでございましたというのをちょっと文章の方でも う少しわかりやすくご説明すべきだというところは認識してございま す。御説明すいませんかみ砕いたものというところでしたので、以上で ございます。</p>
0:26:27	<p>規制庁の椎野です。ご説明ありがとうございます。イメージを、</p>
0:26:33	<p>かなり詳細にご説明していただいた内容が 61 ページの私は、</p>
0:26:39	<p>指定した二条の中にすべて込められていると。</p>
0:26:42	<p>思いますので、それはさすがにちょっと行間を読めと言われてもです ね、ちょっと良いところとあろうかと思います。で、おそらくおっしゃ りたいことは、等価線形解析と逐次線形解析それぞれの解析手法の特徴 と、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:55	詳細に分析した結果とは整合しておいて、解析手法の特徴を反映した結果になっているんだというふうなことかなと理解いたしましたので、
0:27:07	そこら辺ですね。
0:27:09	関連する他、ずっとその対応関係を明確にしながらですね、一つ一つ丁寧に、今のような形で噛み砕いて文章にしていただければ理解しやすいかと思いますんで。衛藤。
0:27:22	ご検討をお願いしたいと。
0:27:25	日本原燃のオガセでございますおっしゃる通りでございますときちんとご説明したような内容をかみ砕いて、評価の手法に対応したような結果になっているとかそういったところも踏まえてですね、考察の方ちょっと丁寧に書かせていただきます。以上です。
0:27:38	はい。規制庁の岸野です。お願いします。今の 61 ページのところってのはですね、そのような、
0:27:44	対応する図との対応関係を明確にしながら説明していただければ。
0:27:49	一応裏付けとなる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:51	もあって、こういった考察に繋がるんだらうなっていうところは理解できると思うんですが、先ほど言いますとその 59 ページから 60 ページにかけての考察というのは、ここはですねほとんど
0:28:05	推測の文章になっておりまして、具体的にここで推測していることがいかにた確からしさがあるのかっていうところを裏付けるようなデータ。
0:28:15	ていうのは特につかないものですね、文章ついてるところもあります。そこもですね、できる限りボウショウといいますか、裏付けでもって推測している内容が確かなんですよということがわかるような説明の工夫をしていただきたいと。
0:28:31	これはもう少し時間があるでしょうからですね補足説明資料の修正の過程の中で、それを意識して、データ等を追記して、記載を
0:28:41	はい、改善といいますか適正化をしていただければと思うんですが、対応可能でしょうか。
0:28:47	日本原燃のオガセでございます 59 ページの方の考察につきましては反社協会で、感謝しているであろうとかそういったようなところをあくまで定性的な地盤モデルの何ていうんですか、状況というかそういったところから読み取って、我々としては書いていたところなんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:03	もうちょい定量的な一なのか、もう少しちょっと傍証的なデータになるようなところも踏まえた上での考察になるようにというところだと理解いたしました。ちょっとその辺ちょっとどういうふうにするか現状ちょっとこれから考えますけれども、そのような修正方針で対応させていただきたいと思います。以上です。
0:29:20	はい。規制庁の岸野です。よろしく申し上げます。本資料について私からは以上になります。
0:29:30	その他慶長馬場事実確認があればお願いします。
0:29:46	よろしいですかね。
0:29:48	よろしければ、この0、建物系耐震建物08に対する結果コメントとそれと対処方針についてまとめを下からお願いします。
0:30:00	はい。日本原燃のオガセでございます本日いただきましたこの耐震建物08地盤モデル関係でございますが、まず大きくは直下地盤モデル燃料加工建屋のもので使っているものについて、V s V pまでこれまでデータの方詳細にお示ししておりましたが、
0:30:14	単位体積重量とそちらの方につきましてもきちんとデータを整理した上で、ご説明の方させていただきます。また、考察関係のところですね、等価線形解析と逐次非線形解析の違いですとか、あとはひずみの出方が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	違うところの考察、そういったところにつきましてもきちんと丁寧にかみ砕いてご説明をというところでしたので、
0:30:34	そのように資料の方は修正させていただきます。
0:30:39	以上でございます。
0:30:41	はい。一応網羅されてたと思います。よろしいですかね。はい。
0:30:46	それでは、よろしければ次、耐震建物 23 の方ですけれども、こちらについては、口頭で最終修正方針の説明があるということですが、
0:31:01	2 年から、
0:31:03	説明いただけますか。
0:31:07	はい。
0:31:08	はい。日本原燃原田でございます。
0:31:10	田井新宅 23 ある 10 になります 4 日停止
0:31:14	ございます。こちらの方は、
0:31:16	前回かなり辻井が多かったんですけれどもその情報を入れ込んだとい う、
0:31:23	手を加えております。
0:31:24	審査会合資料とかなり差分がありましたので、整合を図ったと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:29	さらには構成の方ですね、今まで修正をパッチ当てみたいな形でやって いった結果、何がどこに書いてあるのかよくわからないものでございま したので、
0:31:40	構成を整理してですね、
0:31:44	少し大抵だ。
0:31:46	第2、見直したという、修正を加えてございます。
0:31:50	ただしですねこれ、14日提出で、審査会合資料の方が一旦14日提出し たんですが、情報を加えて16日提出したということもございましてで すね、また再び、
0:32:04	ちょっとあの審査会もどんどん削減は生じています。
0:32:08	ですのでその辺の差分を埋める形、或いは先ほどコメントいただいた内 容を盛り込んでですね、再度来週早々にでも再提出したいと考えてござ います。
0:32:20	私から以上です。
0:32:22	はい。
0:32:23	多分23のそういった状況を踏まえて、規制庁側から実方であればお願 いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:53	よろしいですか規制庁ハバサキです。お願いします。また 20、
0:32:59	よろしいですか。はい。お願いします。
0:33:01	はい、規制庁ハバサキです 23 番についてはまだ見きれてないのとあ と、今、荒さんからもありましたようにまたいろいろ手が入るとい となので、
0:33:12	驚見ちょっと、現時点で気づいた等について何点かさ。
0:33:19	確認を求めたいと思います。まず今回、液状化非液状化の解析をする ということで全応力解析という形なんですけども、有効力解析につ いては一通り説明が従前と同様の説明があるんですが全応力解析 についての説明が、
0:33:36	解析法についてですね、あまり触れられてないんですけども、数 年、その点について記載のほう拡充をお願いしたいと思うん ですが、可能でしょうか。
0:33:49	はい。日本原燃原田です。そうですね今回持ってる
0:33:54	を作る、或いはあれですね地盤応答考えるにあたって、やはり 全応力有効力、両方を比較してというところがまず前段にあり ますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:05	その辺がわかるようにですね、ちょっと全応力の方の説明も、追記いたします。以上です。
0:34:14	はい。規制庁浜崎です。はいお願いします。
0:34:18	それとあとこれさっき古藤というお話がちょっと触れましたけれども、
0:34:25	172 ページでしょうか、170273 ページ辺りですねロッキングの影響の話で、
0:34:36	モード図が出てますけれども先ほども言いましたけれども、8とか7時という話は出てるんですがその時の振動数がちょっと見当たらないんですけれども。
0:34:49	これは現状今記載はどっかにありました。
0:34:56	大成建設高橋です。今こちらの方でもすぐ回答できない状態ですので、 確認次第
0:35:05	また回答したいというふうにも思いますし、多分ない今、記載されてないと思いますので、追って追記したいと思います。よろしくをお願いします。以上です。
0:35:17	はい。規制庁浜崎です。
0:35:21	先ほど

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:23	タカナシの話と、あと、何で周期の話で、本当に 78 時が対応するのかどうかもありますので、要は重要なデータになりますので記載それから考察のほうをお願いしたいと思います。
0:35:37	はい。日本原燃原田です。そうですね 78 の周期が何か。
0:35:41	それからこれがどうロッキングに影響するかの考察も含めて記載を充実したいと思います。以上です。
0:35:50	はい。規制庁浜崎です。お願いします。
0:35:53	ちょっとこれ、確認したいんですけども、次なんですけども。
0:35:58	188 ページの、
0:36:01	表の 2-5-5-1 の、
0:36:04	注記なんですけども。
0:36:07	次の 14 なんですけども、鉛直方向地震荷重は係数 1.5 倍していない数値を採用って書いてあるんですけど、ちょっとこの意味を、
0:36:19	教えてもらえますか。
0:36:21	はい。日本原燃原田です。ちょっとすいません。これは、
0:36:26	記載は昔のなお名残でございまして、これ当初鉛直が低く出た時にですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:35	ただ低い部分を穴埋めしようと考えまして、このケース 1.5 倍のようなことも考えた、その時にこんな記載をしていたんですが、
0:36:47	現状そのようなことはしておりませんので、ここの記載、見直します。以上です。
0:36:54	はい。規制庁浜崎ですわかりました冒頭穴沢さん言われたようにまたこの資料自体の完成同があまり高くないということもあるので、
0:37:04	ちょっと細かい話はしませんけども、あまり誤記と思われるところもありますので、その辺りも十分注意して参りたいと思います。
0:37:12	これは動きだと思っんですけども、ちょっと飛びまして 603 ページ。
0:37:18	あれ、603 ページとかあるんですけど。
0:37:25	すいません私、レビジョンの軸を見て話をしてるんですけども。
0:37:31	はい。日本原燃原田です。レビジョン中。
0:37:35	603 ございいます 615 万円。
0:37:39	ございいます。603 ページのですね第 535 表。
0:37:44	S s - A に対する評価の活動評価のところですが、E W 方向の値ですけども。
0:37:52	これ数値やってますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:55	これ、コンマ 315 とかになりませんか。
0:38:06	はい。二本木の原田です。
0:38:08	すみませんちょっと即答できませんので、確認いたします。
0:38:14	施設ハバサキですはい。
0:38:17	おそらくせん断応力を抵抗力度で割った旗だと思いますので数値が間違 ってると思いますんで、要は、
0:38:27	その動きなのか
0:38:31	正しい数値なのかもわかりませんのでですねちょっとしっかりと内容の 方確認をして参りたいというふうに思います。
0:38:39	ちょっとそれ以外もあるんですけど、細かい話が置いてですね
0:38:45	またから、また後からにしたいと思うんですけど 1 点、ごめんなさい。
0:38:50	これはそんなに小さい話ですが 366 ページ戻っていただいて、国の評価 をされてるところ D。
0:38:59	これ今周面摩擦を考慮されてるんですけども、
0:39:03	これいつも私も伺ったと思うんですけど周面摩擦を無視した。
0:39:09	原形っていうのもされてたというふうに思うんですが。
0:39:14	それに対しては特に記載がないかなと思いますけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:21	大成建設高橋です。以前浜崎さんの方からコメントを受けまして、この表であれば先端支持力ってところが、周辺万札を入れない数値に、許容値のところとなっております。
0:39:35	それと、検定比の方は括弧書きのところ、今、周辺摩擦を考慮しないときの検定品の値となっております。以上です。
0:39:47	はい、室長野崎ですすみませんわかりました理解しましたが、
0:39:53	今、この資料中はその、
0:39:57	内容っていうのはわかりました。
0:40:02	大成建設高橋です。注記のところの*2の方に、その辺の内容は記載しております。以上です。
0:40:13	わかりました。特にその周辺摩擦を無視して売るっていう、この数値を言えばわかるということによろしいんですね。
0:40:23	大成建設高橋です。すいません。その通りです。以上です。
0:40:27	わかりましたちょっとやっぱりそこを丁寧を書いていただけませんか。
0:40:34	大成建設高橋です。承知しました。
0:40:38	先行例もご存知だと思いますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:42	補足としてさらに閉め摩擦を無視したケース、減っ検定っていうので、 補足を作っているようなサイトもあるからですので、そこをしっかりと 説明は丁寧な説明をお願いしたいと思います。
0:40:55	と、
0:40:56	等、
0:41:00	院長、きちんと箱崎です。ちょっとすいません私の方から以上です。
0:41:09	規制庁、カミデです。
0:41:13	冒頭原田さん、これは、
0:41:16	全体構成わかりやすく見直しましたと言われて、
0:41:21	いましたけど、まだ、まだというか、なかなか読んでてもいろんな情報 が結構飛び飛びだったり、
0:41:29	するなというイメージでは呼んでました。どういうコンセプトなり、考 え方、骨子なり、こういう構成にすればいいんじゃないかって思ったっ てその辺。
0:41:43	説明いただけます。
0:41:46	はい。日本原燃原田です。14 ページの、
0:41:50	目次でちょっと簡単に紹介しますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:54	まずあれですね概要というところで、ネットの構造ですね。
0:42:02	上部がこの構造だったり、規則の構造だったり、周辺の状況だったり、 まず構造を説明しましょうと。
0:42:11	その次に 2 ポツ目、地震応答解析はどんな方法で実施するか。
0:42:18	それが設計モデル。
0:42:21	ていうものを使うとか、妥当性はどうか、
0:42:23	そんなものを整理したということでございます
0:42:28	そういったモデルを使ってどうやって耐震評価していくんだというの を、
0:42:35	3 ポツ目ですね、まず上部学校について考え方を述べていって、
0:42:44	条文の次は近藤木曾と角井の設計に移るわけですけども、それを 4 ポ ツで、
0:42:51	基本方針、
0:42:54	ざっくり言うと、そんな流れでいます。
0:43:00	これ別紙 1 の別紙 1-1 なんですけども、述べて、
0:43:06	さらに、その補強といいますか、細かいところは別添に飛ばしていっ たと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:15	店の方も割と先ほどの流れ、例の順番に沿ってですね。
0:43:20	並び替えたということをしてございます。以上でございます。
0:43:27	はい。規制庁、深見です。わかりました。
0:43:32	一応そういうことと理解しておきます。ベース点関係がかなり多いので、なかなか難しいところだと思いますけど、
0:43:43	本文の構成に合わせてしまわれたことでとりあえず考え方を理解しました。
0:43:50	ちょっと細かいところの確認になるんですが、
0:43:56	30
0:43:58	ページ。
0:44:00	ですかね、フロー図がついてまして。
0:44:08	下の、
0:44:10	黄色い四角左から三つ目に相対変位の確認っていうのが、
0:44:16	あるんですけど。
0:44:20	これが今3次元フレーム解析のアウトプットから出てきますっていう話なんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:28	この間の会合で話をして、要は、そこだけじゃないですよ地盤の変位 観みたいのもあわせてってということで、
0:44:37	会合資料はそうだったんじゃないかと思いますが、この辺もまだそ ごがあるって感じなんですかね。
0:44:47	はい。日本原燃原田です。
0:44:49	相対変位はそうですねこのフローだと、地盤の変位っていうのは、ちょ っと表現されてませんでしたね。
0:44:59	はい。衛藤。
0:45:00	実際は
0:45:03	前回コメントいただいた点を踏まえまして一番の変位も踏まえて相対変 位出してございますので、
0:45:09	そう、そういうことをやってる。
0:45:12	よというふうな、
0:45:15	フローに、
0:45:19	規制庁カミデさんお願いしたいのは、フローを直すとか、
0:45:24	いうのは、ということではなくてですね。
0:45:28	きちんと補足説明ベースで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:32	やることなり、根拠なりをちゃんと積み上げてそれで、
0:45:38	会合資料を作り込むって正しいプロセスを踏んで欲しいと。
0:45:43	いう多いです。
0:45:46	先ほどの説明でも、会合資料に合っていないという話なんですけど、やっぱり順序逆転してるようなところが、
0:45:53	ありますので、ちゃんと補足で組み立ててっていう。
0:45:58	ことを、
0:46:00	なかなか意識して作業がされてないんじゃないかな。だからこういうところは、ポツポツ出てくんじゃないかなと思いますので、そのあたり、認識していただいて
0:46:11	きちんとまた資料出してもらえればと思います。
0:46:17	はい。日本原燃原田です。承知いたしました。本来とですね評価の流れというものがあって、その流れに沿ってですね。
0:46:28	こういったデータを使ってどういうアウトプットを出してと。
0:46:32	流れがある話。
0:46:35	2 でありますので、その辺を意識してですね再度、ちょっと資料見直して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:41	必要に応じて構成を直すなり、
0:46:44	記述を追記するなりしたいと思います。以上です。
0:46:50	はい。規制庁、上出です。
0:46:53	あと、いくつか目についたところとしてお伝えしますが、52 ページ。
0:47:01	のところで評価対象部位の選定はされてるんですけど。
0:47:06	防護ネットとか五番は評価対象じゃありませんと言いつつ、選定理由で、ボルトが健全であればって話で。
0:47:16	の周りで評価をしているような感じなんですね、デフォルトの評価自体は、特には載ってなくて、後ろの方に竜巻の荷重と地震の荷重の比較が、
0:47:29	あるんですけど。
0:47:31	そのあとにも、52 ページのところできちんと話をしなきゃいけないと思っていますので、ちょっとその辺りも精査のスコープにちゃんと、
0:47:41	文章、もう一度ちゃんと読んでいただきたいというところなんですが、理解いただけました。
0:47:50	はい。日本原燃原田で。
0:47:52	はい。ここのあれですね、選定から除外する理由。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:59	のところでございますけれども。
0:48:02	へえ。
0:48:04	あたかもここ上る
0:48:06	どう評価してみてその結果で外しましたっていう。
0:48:11	何か何ていうんですかね。
0:48:14	とんちんかんな理由になってますんで、ちょっとここ、そうですね。
0:48:20	はい、記載を直したいと思います。以上です。
0:48:25	はい、規制庁の認定です。
0:48:28	あと 60 ページに、表面鉛直応答の結果っていうのがでて、失点番号が記載されてるんですけど。
0:48:39	ちょっと知って盤法。
0:48:41	か、どこのものなのかっていうのがよくわかんないんでこういうのもここだけじゃなくてですね、ちゃんと覚えているのか、っていうところは確認しておいてください。
0:48:55	はい。日本原燃畑田です。そうですね。それでは串田宇野氏。
0:49:01	と対応するはずなんですが。
0:49:04	ちょっと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:05	かなりページをさかのぼりないとわからないような状態になってますので、記載、見直したいと思います。
0:49:17	規制庁カミデです。
0:49:18	あとは、68 ページで、
0:49:25	これもフローなんですけど、フローの一番最初、失点系モデルってあって、
0:49:33	示してあるんですけど、これって、
0:49:36	会合資料で言うと、設計モデルっていうことになるんですかね。
0:49:45	はい。日本原燃原田です。おっしゃる通りですね。設計モデルの真上にくっついてる行く手段を、のこと。
0:49:54	そこからで、
0:49:56	何だ、アウトプットを使うというところから、フローを示してます。
0:50:02	そうなると、趣旨としては同じものであれば、合わせてくださいっていう話なんですけど、別物ってことだから、言葉を使い分けてるってことですか。
0:50:16	ていうわけでもないですよ。
0:50:20	はい日本原燃原です。別物ではございませんね。先ほどの全体フロー。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:29	20 ページ、20 ページ。
0:50:31	ごめんなさい、36 ページの、
0:50:33	フローから、基礎は利食いだけをですね、ポイントを再整理するところ なると。
0:50:40	いう形で示したつもりなんですけれども、言葉は合っていないし、ちょ っと線の書き振りもちょっと違ってますので、
0:50:50	合わせたいと思います。以上です。
0:50:54	はい。規制庁、上出です。私の方からは、とりあえずは以上ですけど、
0:51:02	審査序盤であれば、これぐらいのことっていう感じではあるんですけ ど、そちらとしてはもう、
0:51:11	会合で説明をし尽くしたいという。駄目。
0:51:14	あるわけですから、その辺は、
0:51:19	きちんとですね、こういった資料も、
0:51:23	精査の上でそうあるべきだと。
0:51:26	思ってますので、いずれにしてもきちんと精査をお願いしますというこ とです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:33	はい。日本原燃はですね。はい。大変申し訳ございません。おっしゃる通りでございますので。
0:51:39	提出いたしたいと思います。
0:51:46	規制庁の岸野です。ちょっと私からも何点か確認したいと思います。
0:51:53	179 ページ、お願いします
0:52:00	下の表でですね、比較がされていて、
0:52:06	設計モデルT鉛直モデル比率ということ。
0:52:11	もう、
0:52:12	表の右側に検証用モデル。
0:52:14	モデルとの、
0:52:17	が、これと概ね一致するという説明なんです、
0:52:21	この表の左側、
0:52:24	英語で言うとBモデルなんです。
0:52:27	って言ってるものと、検証用モデル等では情報構造のモデル化は多分違 ってると思うんですけども、鉛直モデル例の門型を使いまして、
0:52:37	検証用までは
0:52:41	質点系になるんですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:44	ということでそういったモデルの違いを考慮してですね概ねと言ってしまえばもう全部含めちゃうのかもしれないんですけども、そういったモデルの違いっていうのを踏まえても、
0:52:55	評価で問題ない。
0:52:56	といえるのかどうかまず教えていただけますか。
0:53:02	はい。二本木長原です。
0:53:04	おっしゃる通りですね、鉛直確認モデルって言うのは門型タイプですね。検証用モデルは一軸タイプのことでございます。
0:53:15	まずもってちょっと図、その辺の使い分けを、179 ページに、
0:53:21	追記したいと思いますし、
0:53:24	あと文がたくイチジクの。
0:53:27	違い、大戸。
0:53:29	もう確認すると大して違いがないということに関しては、ちょっとここでもう述べられるかなと思いますし、ちょっと別の場所でもですね。
0:53:41	それに特化した比較を行ってまして、対して、応答に違いがないよということを書いてますんで。
0:53:49	そことの紐づけも、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:51	このページでしたいと思います。以上です。
0:53:55	清町の岸野です。はい、わかりました。
0:53:58	すいません。他のところでは。
0:54:00	説明をしている場所。
0:54:02	どこに
0:54:10	はい。
0:54:11	日本原燃原です。
0:54:13	ちょっとすいませんパッと出てきませんので、
0:54:16	正しいです。175 ページの方で、藤支店系の状態、一本棒のイチジクの状態と門型の状態での比較を記載しております。
0:54:28	瀬崎です。はい、わかりました。
0:54:32	現状確認モデルは門型にします。
0:54:34	で、あまり明確な説明がなかったんですけども方の方が保守的な結果を与えるからってというような、口頭での説明があったように思ってるんですが、それとも、整合ってのは、
0:54:46	問題ないと考えてよろしいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:49	大成建設高橋です。門型の方が保守的な値が出るという、表現だとちょっと語弊があるかな、そう考えております。
0:54:59	まず問型であろうが、一本軸であろうが、175 ページに書いてあるように、基本的に設計モデルで使うにおいては、どちらにも保守性があるわけではなく、同じ値だ。
0:55:15	そういうふうな、考えております。で、今回、179 ページの中で、屋根部の鉛直加速度の比較をする場合においては、
0:55:26	ちょっと条件っていうか、変わってきておまして、まず、鉛直確認モデル、これ片側に、周辺構造物をモデル化したものなんですけども。
0:55:38	左右の、地球の状態が対象ではなくなる状態になっております。
0:55:45	と、
0:55:48	今回の硬い部分、改良地盤の部分なんですけども、右端と左端で挙動が違うことが、今回屋根部の鉛直加速度の違いの要因である、そう考えておりますので、
0:56:04	改良地盤のミータンと左丹の違いを表すそういう目的であると、残念ながら、一本棒の失点系だと表現できないので、
0:56:16	今回は鉛直確認モデルは、門型を使用しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:22	なお、検証用モデルの方も同じように、左右の改良地盤の左右の足のこの挙動の違いが明確になっている。
0:56:35	門馬田野モデルの方がより、屋根部における応答加速度の差が顕著になっている、そういうふうを確認しておりますので、
0:56:45	決して保守的だから、そういう理由ではございません。以上です。
0:56:51	支店長の岸です。はい、わかりましたありがとうございます。ちょっと保守的だからという見込みがあったんですけど説明はそういうことじゃないという。
0:56:57	で、
0:56:59	現状確認モデルにおいてそういった理由でもバターを採用してるっていう説明はおそらく受けていたかと思います。ちょっと今一度ご確認いただいて、該当提示すぐ上げられないんですけど。
0:57:11	そちらの方にもですね、今言った理由も形としたという理由、もし抜けていたら追記の方していただければと思い、思います。
0:57:20	大成建設の高橋です。今のご指摘の件なんですけども、178ページの方に記載しているつもりなのですが、
0:57:30	例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:34	ちょっとその辺の表と図の間の、この文字がムニヤムニヤって書いてある、この辺りに書いたつもりではあったんですけども、よりわかりやすいように表現を、
0:57:46	考えてみます。以上です。
0:57:49	成長しますはい。
0:57:52	はい。ちょっとそうですね。読み取れるか。
0:57:56	再度ご確認ください、と。
0:57:59	記載を工夫していただければと思います。
0:58:02	ということですね。
0:58:05	それで183ページ、これも先ほどのパワーポイント出てきた費用なのですけれども、
0:58:12	この表の数字っていうのは、
0:58:15	どうせモデルで求めたの。
0:58:18	何でしょうか、この設計モデル。
0:58:21	何か検証モデルなのかという意味ではどちらに。
0:58:32	大成建設高橋です。すみませんちょっと今ページが追いついていないので、少々183ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:40	183 ページです。
0:58:42	はい。
0:58:46	すみませんもう一度ご質問の方よろしく申し上げます。はい。この規制庁の基準です。183 ページのこの表の数値っていうのは設計モデルを用いて求めた数値という理解でよろしいでしょうか。
0:58:58	はい。大成建設高橋です。その通りでございます。
0:59:03	はい。規制庁の岸野です。
0:59:04	設計モデルだとするとそもそも鉛直応答が小さいので、これが比率を求めても、どういう意味があるのかよくわからないんですけどそこら辺はどういうお考えで設計モデルで用いられて、教えていただけますか。
0:59:17	はい。大成建設高橋です。今、設計モデルの鉛直応答が小さく出るっていう比率がですね、179 ページに書いてあるように、3、3 割から 4 割ぐらの数字でしかございません。
0:59:30	で、今 183 ページの方はですね、鉛直成分における影響率っていうのは、38 分の 1 とか 103 分の 1 とか、かなりの、浅間。
0:59:43	について記載しております。ですので、今回、このところで
0:59:49	何ていうんでしょう、数値を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:52	算出するにあたって、採用したのは設計モデルですけども、変に、他のものをいじるよりも、
1:00:02	実際に最終的に用いる設計モデルを使って、
1:00:07	この辺の表現をした方が、より説明、根拠として、
1:00:15	数字の根拠として意味があるから、そう考えて記載しました。実際に、先ほどの
1:00:23	鉛直法等の増分比率が3割とか4割というふうなオーダーであっても、今のここの183ページのような、38分の1103分の1に比べれば、
1:00:35	微々たるものだ、そういうふうな認識で、こちらの方は、
1:00:43	鉛直モデルではなく、設計モデルを採用しております。以上です。
1:00:48	店長の木曾です。ご説明の趣旨を終わります。
1:00:53	そういう趣旨であるという前提でですね、数字の精度よりもおそらく傾向を見るために、設計モデルの
1:01:02	結果を用いて比率を求めているんだということ。
1:01:05	で、用いたモデルが設計モデルである。
1:01:10	この説明っていうのは加えておいていただければと思います。よろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:29	衛藤。
1:01:30	体制が原因かわかりませんが、先ほどのキシノのコメントは、聞こえてましたでしょうか。
1:01:38	あれ、今はいい。
1:01:42	日本は言いません。大成建設だから
1:01:45	今こちら回答したんですけども、うまくマイクの方がオンになってなかったみたいで、申し訳ございませんでした。回答としては承知しましたと回答しました。以上です。はい、わかりました。よろしくお願ひします。
1:01:59	あと 190 ページをお願いしたいんですけども。
1:02:03	ここで中核で生じる最大反力を計算してますけど、これは設計モデル。
1:02:10	で、求めた値ということでよろしいでしょうか。
1:02:15	はい。大成建設高橋です。その通りです。
1:02:18	設計モデル、今回ですねこの 190 ページに限らずですね、数値を計算するにあたっては、基本設計モデルを用いております。以上です。
1:02:30	店長の岸野です。はい、わかりました。
1:02:34	続いてですね、ちょっとページを飛びまして、238 ページの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:40	うん。
1:02:43	ここで参考資料1という。
1:02:45	いう、資料になって、地盤の材料物性のばらつきを考慮した検討による地震動の選定という資料なんですが、
1:02:54	これは、
1:02:56	何を目的とした資料なのでしょうか。
1:03:00	この後、各S sに対する応答結果が出てきているんですけども。
1:03:06	これで何を説明しようとしているのか、或いは、この結果からの波及的影響評価に用いる地震動をこの中で設定している。
1:03:16	ようにも読めるんですけども、この資料。
1:03:19	目的を教えてくださいませんか。
1:03:40	はい。江藤小俣すいません日本原燃原田です。えっとですね
1:03:46	実施に大友当銘部隊にまずばらつきを考慮しましたよと。
1:03:52	それはどういうふうに公表したかというのを説明する意図で、つけた。
1:03:59	資料でござい。
1:04:00	以上で、
1:04:01	成長の基準。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:03	それは波及的影響評価の、
1:04:06	に用いる地震動の選定ではなくって、その前だかいいですか、設計モデルの妥当性保守性を検証している中で、持ち、
1:04:18	また条件をここで、
1:04:20	理解で正しいですか。
1:04:24	日本原燃原田です。
1:04:27	藤。
1:04:28	そうですね理解としては
1:04:31	268 ページ見ていった。
1:04:35	よりわかりやすいかなと思うんですけども、結局波及影響に、13%を用いて、
1:04:43	冒頭評価していくんですけども、そのベースとなる地震動、
1:04:50	うん。
1:04:51	についてばらつきも考慮した上でやってますよということを述べてございます。以上。
1:05:02	院長。
1:05:03	ですけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:05	この資料の繋がりというか、位置付けはまだよくわからない。
1:05:10	戻っていただいて、241 ページ。
1:05:13	ですね、この検討の中で、
1:05:15	こんな地震動の選定のフローみたいなものが出ている。
1:05:20	うん。
1:05:21	どこのフローに沿った形で、進めていった最終結果がこの 268 ページと いうことでよろしいですか。
1:05:35	はい。
1:05:36	二本木野原です。今、岸野さんおっしゃっていただいた通りの認識でございます。
1:05:49	そうしますとですね、241 ページのフォローを見ますと、
1:05:54	中程のダイヤで S S の C T G を境にして、分岐するような形になっているんですが。
1:06:04	へえ。
1:06:16	うん。
1:06:17	そのあとの説明を見てますと、S s - C1 の田内が最大となる場合は、 S S C ちいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:25	その他の S S の中で最大となるものに歯を選んで行って、
1:06:30	S S C 以外のモットーが最大となる場合はその S s 1% を選定している ような、検討を言われている。
1:06:38	読めましてこのフローで説明してる流れでちょっと違ってるとやうな すけども。
1:06:44	すいません。地震は選定の流れ、ちょっと正しい読み方っていうか、
1:06:49	もう一度説明をいただけないでしょうか。
1:06:55	大成建設高橋です。ちょっとこの辺
1:06:59	記載云々ということよりも、実際にやった内容についてお話しします。ま ず 13% ありまして、13% の包絡値を、
1:07:10	まとめて設計するっていうのも一つの手法なんですけども、今回の S C 湾の水平力はかなり大きい値でしたので、まず、S S C 湾だけ特化し て、
1:07:25	評価、部材評価を実施しました。で、
1:07:30	じゃあ残りの地震はに対して無視していいのかって言ったら、それは抜 けになってしまいますので、S S C 湾を除く残りの地震は
1:07:41	包絡をする形によって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:43	そちらに対しても部材評価を実施する
1:07:47	トータルとして、すべての地震案に対して、抜けはないよ、そういうふうなスタンスで、作業を進めて参りました。で、ちょっとその辺の内容について、この、
1:08:01	真ん中のひし形のところで、SSC湾を除く云々っていうかな、分岐になっているっていうふうに考えております。で、ちょっとその辺の今私が口頭で説明した内容と、
1:08:15	ここに書いてある記載内容で、ちょっと
1:08:20	なそごがあるようなところは、見直して、修正させていただきたいと思っております。以上です。
1:08:29	規制庁の首藤です。まだちょっとどういうお考えで地震動を選定したかっていうところまで来るとイメージできないんですけども、そこは
1:08:38	30と説明を見直しいただければと思います。で、その結果られたのが269ページの、
1:08:46	ばらつきを考慮検討も中深度、
1:08:49	これは先ほどのパワポの第2 隔離的影響評価に用いた、
1:08:55	地震動である。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:57	そう理解してよろしいんですね。
1:09:05	大成建設高橋です。パワーポで書いたものと、このところで、ちょっと違いがございますので、補足させていただきます。
1:09:16	まずですね、パワポで説明した介護、加増用資料の方で、
1:09:25	モデルの検証に使ったのは、あくまでも最大のチャンピオンケース、13%のうちの最大のもの、それが代表は、
1:09:37	そういう考えで実施しております。で、それは今までの会合での説明も、SSC湾が最大となるであろう。
1:09:48	そういうふうな予測のもとでやっていた、その流れに関しては、一切変更はございません。
1:09:55	で、今、この269ページの中に、S s - A S S Cは以外も、記載。
1:10:04	復習の波が記載されております。これは、実際の設計する上で、まずSSCは最大値が生じているSSC案を、まず、
1:10:16	部材評価を実施しました。で、S s仕様以外の波に対しても、部材評価をするにあたって、SSC案を除く。
1:10:26	残りの12版に対しての、最大値をピックアップして、それに対して、地盤物性のばらつきを評価して評価しましたよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:37	そういうふうな内容を、この 269 ページの方で記載しております。ですので、最大にならない地震は、要するにナンバーツーの地震はもこの中には記載しておりますので、
1:10:51	設計には、このナンバーツーの地震応答結果も使用しておりますが、先ほど説明、パワポの方、介護資料の第一部の方で記載しておりました。
1:11:04	検証用の方で、この地震はすべて使ってるかって言ったら、使ってはおりません。検証はあくまで S A と S s 支援は、こちらの 2 を代表として実施しております。
1:11:17	説明は以上です。
1:11:20	規制庁の基準、すみませんちょっと混乱しちゃって追いついてないんですけど、269 ページで、ばらつき聞き考慮に用いる地震動ってのは、これは、
1:11:32	先ほどのパートの第二部波及的影響評価、
1:11:37	用いる地震動と理解してたんですけどそれは、
1:11:41	合ってますか。
1:11:43	大成建設タカハシ、おっしゃる通り、その認識は正しいです。
1:11:49	以上です。わかりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:51	T2分は旧の方が、おそらく物性値は基本で、全13%をやって、その中から、ばらつき検討に用いる地震動を、
1:12:02	選定選定した結果が269ページで、これを用いてばらつきケースもやって、それら全ケースの中から最大のものを、先ほどの、
1:12:12	パートの第二部の最終結論みたいなところに出してきているんだろうと、そう予想してたんですけど、それわかっていますか。
1:12:23	大成建設高橋です。実際にやった内容っていうかルーチンっていうか、それは多少違いますが、最終的な結論としては、その認識で問題ない、そう考えております。以上です。
1:12:41	以上です。ちょっと基本的なことを言われても、
1:12:44	パープル第二部で波及的影響評価に用いた地震動とか説明っていうのが、この耐震建物23の、
1:12:53	269ページ以外のところで説明があるんでしょう。
1:13:04	今実際に使用した内容の整理した表というのは、この600枚の補足説明資料の中で、ここだけだったと思います。
1:13:16	わかりました。規制庁の岸です。
1:13:20	そこら辺の説明がですね、今パートの加速にもない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:23	ですね旧的影響評価、どういう条件でやって、
1:13:27	なので、これ以上ちょっとここにもしようがないかなと思うんですけども、そこはきちんと説明をしないとですね。
1:13:34	はっきり影響評価の結果が本当に正しいのか。
1:13:38	最終判断はできないと思いますので、
1:13:41	そこをちゃんと、
1:13:42	いただくように、
1:13:44	お願いします。
1:13:46	大成建設高橋です。今、ごめんなさい。私の会長がうまくいかなかったかもしれないんですけども、今、この 269 ページの地震。
1:13:59	抜粋抽出というのは、この補足説明資料の中の、
1:14:08	243 ページから 266 ページの中の表、こちらの方で実施しております。 この赤でくくった四角と黒でしか括った四角がございまして、
1:14:23	赤でくくられた四角というのが、
1:14:28	何ていうんでしょう、この 269 ページの表の中で、ばらつきを評価するにあたっての対象とする、ナンバーワンではない、ナンバーツーのところの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:40	地震は、それを記載してございます。
1:14:45	そこで、どの地震版が該当するというのが読めるような、そういうふうな資料構成にしたつもりでございます。
1:14:55	以上です。
1:14:57	はい。規制庁の岸野です。
1:14:59	マップで選ばれた地震はが、波及的影響評価にもばらつき検討においては用いられてるとそう理解しておけば、
1:15:11	はい、大成建設高橋です。その通りでございます。
1:15:14	以上です。
1:15:16	現状です。はい。大体わかりました。いずれにせよですね資料上で用いた検討条件の設定の考え方と、実際に設定した検討条件っていうのは、明確にしていだかないとですね。
1:15:27	結果だけ示されてますね。抜け漏れがあるんじゃないかというところでつまずいてしまいますので、そこはちゃんと説明をしていただくようお願いします。
1:15:37	大成建設高橋です。承知しました。その辺の説明をもう少し手厚くするようにいたします。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:51	キシノから以上になります。
1:15:57	規制庁の竹田です。
1:15:59	これちょっと解析条件のところの確認をしたいんですけど、124 ページをお願いします。
1:16:16	藤。
1:16:22	えっとですね
1:16:26	わーっとはその下のマンメイドロック冷却塔基礎、
1:16:32	ていう衛藤モデルが対象のものが、線形の平面要素という設定になっているんですけど。
1:16:41	ネットの基礎だとかその辺で確か弾性範囲におさまるっていうこと、審査会合の資料とかで確認はしたかと思うんですけど。
1:16:52	例えば直下地盤だとかってというのは、これは非線形性を考慮していないということになるのでしょうか。
1:17:03	大成建設高橋です。
1:17:05	その通りです。非線形性は考慮しておらず線形でモデル化しております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:14	規制庁の竹田です。考慮していないということは収束物性値を用いた線形要素とかっていうんじゃないくて、完全に初期剛性のままという理解ですか。
1:17:27	大成建設高橋です。初期剛性というよりも、これは等価剛性を使っておられますので、事前形成、その辺も考慮した形になっております。
1:17:39	以上です。
1:17:41	規制庁の竹田です。わかりました。いやあ、
1:17:45	1次元なり何なりで解析して収蔵した分設置を線形化するという事で理解をしました。
1:17:52	それっていうのは、例えばマンメイドロックとかっていうのも同じ考えで、収束物性値を使ってるという理解で正しいですか。
1:18:19	大成建設高橋です。すいません今
1:18:23	マンメイドロックなんですけども、かなりかたいものなんで、
1:18:30	頭角補正ではなく、そのまま使ったかもしれなかったんですけども、ちょっと私の方では今、
1:18:37	この場では回答できないのですが、申し訳ないですけども大成建設本社の方で、回答よろしく申し上げます。大成建設の牟田です。はい。今ご

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	指摘いただきました件、マーメイドロックにつきましては、これコンクリートとして非常に、
1:18:53	その剛性の高いものでございますので、基本的には初期剛性相当を使用しております。その中で、先ほど高橋からご説明した効果線形そのうちシークの結果に、等価剛性を算定したものとしては、
1:19:08	直轄和み、以上です。
1:19:13	規制庁の武田です。マーメイドロックはコンクリート相当の初期剛性を使っているということは理解しました。
1:19:22	これまで線形化で仮定しているものっていうのは、それは清家可児。
1:19:28	野田清範囲に収まっているかどうかっていうのは、エビデンスとして用意はしてもらっているんで、これについてもそれは用意してもらいたいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:19:43	はい。大成建設の堀田です。承知いたしました。
1:19:48	はい。お願いいたします。
1:19:51	それですねこれらの現象モデルの地盤モデルの解析用物性値とかっていうのは、これより前のページとかで記載されてると思うんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:03	非線形特性についての記載はないと思うんですけどこの辺を追記いただいてもいいでしょうか。
1:20:17	基本的なかったですね。そう。
1:20:21	うん。
1:20:21	はい。ちょっと介護主力のサブは、もちろん図るつもりですんで、記載を充実したいと思います。以上。
1:20:30	規制庁の竹田です。お願いいたします。
1:20:34	それに関連するんですけど。
1:20:40	自分に関係するモデルが、米と、この 124 ページでいう埋戻し度から、
1:20:47	直下地盤までのこの四つかなと思うんですけど、これはいずれも、
1:20:52	あそこは今は線形駄目ということなんですけど。
1:20:55	上の三つの 5 層っていうのはいずれも非線形特性を、
1:21:02	考慮しているという認識でよろしいですか。
1:21:10	大成建設の瀬瀬会館、今おっしゃられた通り、線形測線を設けた、モデル化をしております。以上です。
1:21:20	はい。規制庁の竹田です。わかりました。では清家と積極性ですね記載だけお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:28	私から確認以上になります。
1:21:38	はい。規制庁側から他に確認事項があればお願いします。
1:21:44	規制庁ハバサキです。
1:21:47	内容について、甘利医長思ったんですけれども、144 ページから剥離様 相考慮有無の検討が今回新しく説明を加えてもらったというふうに理解 してますけれども。
1:22:04	144 ページの、
1:22:07	文章のところで、下から二つ目のパラグラフ。
1:22:13	まあね、確認用モデルの改良一番って書いてあるところなんですけど も、この2行目の、
1:22:20	精製加振時では、任意時刻において剥離が生じていることがわかったっ ていう。
1:22:26	ちょっとこの意味を教えてくださいなんですが。
1:22:39	大成建設の堀田です。はい。S s - A 関心事におきまして、すみません これは時刻を適切に表現すべきだというふうに思っておりますが、機 器、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:50	現時国体におきまして、剥離、接触が生じるようなことを示しておりますので、そういう点で、常にですね接触してるわけではなく、時刻歴で追ってみますと、剥離が生じている時刻があったと。
1:23:05	ということでこのように記載をさせていただいております。以上です。
1:23:10	規制庁浜崎です。
1:23:13	この 2.4. 35 ましょうかっていうことで、あまり影響ないですよみたいな結論なってるんで、大体傾向はわかるんですけども、ただやはり
1:23:25	もう詳しくっていうか、正しく説明、要はこちらの受け取り方が本当に正しいのかどうかっていうのは確認できなくて、
1:23:33	例えば 146 ページにこれ結果が出てますんで、
1:23:37	例えば S s - A に関しては北川については 100%。
1:23:42	離れるわけですね。
1:23:45	それ以外の並みとか、
1:23:49	うそサイドにしても、ほぼ 8 割とか 7 割以上、郡司さんは離れてしまうということで、S S C に関してはその上の図データ分 8 秒ぐらいのところ、ところで一周。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:04	はわかりするけどまた元に戻りますよっていう、そういう説明かというふう に理解してます。だから影響がないってというような話してるんですが、 例えば $S_s - A$ って、
1:24:15	この、
1:24:16	継続時間の中でどのぐらい剥離してるのかとかですね。
1:24:20	多分それは波のそのピークのところで剥離してたり戻ったりってことにな ると思うんで。
1:24:27	145 ページの図だけで、影響はないですってというのはわかるんですけど も、もう少しこれ詳しい分析をしてもらわないと、この結果自体、或い は解析自体が、
1:24:39	どうなのかなっていうふうになって思ってしまうので例えば、例え ばですけど、
1:24:47	その 146 ページの上の図ですね。
1:24:51	に関しては、アプリ率の、
1:24:54	時刻歴を $S_s - A$ 等し、 SC をについて、
1:24:59	比較するとかですね、そういうことはできないんでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:06	大成建設の堀田です。ご指摘ありがとうございます。まず今お示ししております、パック利用閉院さへの時刻歴を示しておりますが、まずこの中でS A1 が、ちょっと図が誤記等、
1:25:22	Cはとなっておりますのでこの点ちょっと修正を加えさせていただきたいと思っております。また今浜崎さんからご指摘いただいた接触剥離S s - Aに関しましては、おっしゃられる通り、接触したり剥離したりというのを繰り返しながらですね。
1:25:37	常に把握してるわけではないような挙動を示しております、そういったものは、今おっしゃられたような剥離率の時刻歴でお示しすることができるかと思っておりますので、そういった一つの追記もこちらで検討させていただければと考えております。以上です。
1:25:53	はい。季節ハバサキです最初に。
1:25:56	大田さん言われた5期っていうのは、図の5の方が本来はS s - Aを入れるべきところがC案が入っちゃったということですか。
1:26:06	はい大成建設の堀田です。その通りでございます文章の方では、この方はS s - Aの文章を書いているのにこの中では、C案となっておりますので、工程につきましては、
1:26:18	修正をかけさせていただきたいと思っております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:22	規制庁浜崎です。その上なんです。S s - A に関しては、継続時間に対して、例えば、
1:26:31	本当にピークのところだけが紅白率っていう状況なのか、或いはもうかなりの時間。
1:26:38	継続時間中のほぼ、
1:26:40	半分以上がはっきりしてる状態なのかとかですね、そこら辺が今わかりました。
1:26:46	はい、大成建設の堀田です。S S M への A につきましては C 案と異なりましてやはりスペクターですので、国立か P E E K な波が出るものではないと思っております。なので、
1:26:59	接触と剥離をですね繰り返すような共同をしておりました。ただその図をですね、ちょっと今後お示しできればと考えております。以上です。
1:27:11	規制庁ハバサキです。わかりましたちょっと、そういった分析、それから考察を、もう一つを、ちょっと見なおしていただいて説明の方お願いします。
1:27:22	私からは以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:27	規制庁側から、事実確認があればお願いします。
1:27:40	よろしいですか。
1:27:42	よろしければ、
1:27:44	この建物ニジュウサンについて東京的、受けた指摘と、それと修正の方針ですね、ちょっと数が多いかと思うのでできるだけまとめて元の方からお願いします。
1:27:59	はい。日本原燃原田です。かなり
1:28:04	私のメモで 14 ポイントぐらいご指摘いただきましたけど、ポイントだけ、ざっくりご説明しますとまた今回、有効力のことはかなり詳細に説明してましたけれども、
1:28:17	専用力の方の記載が薄いということで、こちらを充実化したいと思えます。
1:28:23	それから、あとロッキング挙動のところですね。
1:28:26	結構 78 の周期
1:28:30	特性について
1:28:33	少し紹介してるにもかかわらず、考察が全然書いてないということなので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:37	少し、木曾ここも記載の充実化ですね。
1:28:41	それから、耐震評価のフロー。
1:28:47	があって評価を進めていっているんですけども。
1:28:51	ちょっと現状やってることと、相違がある点がございますので、そこを直すと。
1:28:58	いうことをします。
1:29:01	それから、頭はそうですね。
1:29:05	先ほどのパクリ様相の話なんかもですね、少し考察充実ですね把握率を、時刻歴で追ってみて、
1:29:14	大した影響がない。
1:29:17	という、評価をするとか、少しその辺、
1:29:21	それから藤%あれですね非線形性をどう、どこでどう扱ってるかっていうところも、
1:29:30	今、
1:29:31	使ってないということなんすけど、北井が
1:29:35	審査会合資料と差分がございましたので、その記載の充実を果たすと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:41	いったところですね。
1:29:43	ちょっと、ちょっとそんな感じかなと思います修正加えます。以上です。
1:29:49	はい。
1:29:51	新たに来ていたかと思いますが、
1:29:54	追加で確認等ありました。
1:29:58	可及的影響評価の検討条件とか、明確になっていません。それも明確にするようにお願いします。規制庁記者です。
1:30:08	はい。二本木蛸原です。
1:30:11	おっしゃる通り、検討条件とか、
1:30:14	そうですね。その辺は波及液滴影響評価だけでなく、
1:30:22	いくつか保守性とか妥当性、比較する上においても、ある条件のもとでやっていますから、そこは一つ一つ、
1:30:32	わかるように記載を充実したいと思います。以上です。
1:30:38	はい。
1:30:39	よろしいです。
1:30:40	はい。それでは建物 23 については終わりたいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:45	ちょっと時間がもう 11 時 20 分ぐらい来てるんですけど、残りの資料一つ。
1:30:53	地震、00-02 のミッションシリーズなんですけれども、
1:31:00	本日どこまで、原燃としてやられるのかそれとも次回に送るのかとかっていうそういった方針をまず説明していただけますか。
1:31:18	すいません日本原燃の伊藤です。
1:31:20	本日用意している別紙 4 です。別紙ですけれども、すいません。地震の 0002 ですけれども、審査会合に向けての燃料加工建ての耐震性についてお示ししますので、
1:31:35	そちらの方について記載したものでございます。あとそれに関連して、もう耐震設計の基本方針についても、別紙 4 の育成、まとめておりますので、
1:31:47	こちらの方について、規制庁さんの確認して、彼確認事項について、
1:31:56	議論させていただければと思います。本日、引き続きお願いしたいと思 います。
1:32:03	規制庁深見ですもうそちらとしてはもう業務時間終了ということだと思 いますし、我々もあと 1 時間って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:14	三田丹治そのぐらいで終わりそうな感じもないっていう状況でお聞きしてるんですけど、具体的には別日がいいかなとは思ってますが、
1:32:26	いかがですか。
1:32:38	日本原燃の伊藤です。
1:32:40	はい。ちょっと
1:32:43	弁当は多い。1時間以上かかるということであればちょっとまた。
1:32:47	月曜日とかでも、実施していただければと思うんですけどもいかがでしょうか。
1:32:54	規制庁カミデさんちょっと機材等の関係があるので、部屋は月曜日ありましてどこまでか、そこはまた事務的に連絡かと。
1:33:05	思いますけど、なるべく早いうちにやった方が、
1:33:09	いいんじゃないかなとそちらの都合ですけど、そちらの都合勘案すると、
1:33:14	早い方がいいのかなという気はしてます。
1:33:18	一つ確認なんですけど。
1:33:22	完成度。
1:33:24	どう考えているのかっていうよくわからなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:28	もうとても立派なものがありましたっていう終わって出されてるのか。
1:33:34	何かこう、補足で説明したような状況なのかっていうのがよくわからなかったんですけど、この辺は少し説明いただけますか。
1:33:48	はい日本原燃伊藤です。
1:33:50	本日お出ししてる資料ですけども、別紙4の一井の耐震設計の基本方針につきましては、
1:34:01	これまでのヒアリングでコメントいただいたところございまして、
1:34:06	まず、この設計方針で、建物の中で、安全機能を維持する施設と、重大事故等対処、すいません。はい、規制庁、具体の中身っていうよりは
1:34:20	はい。一言。完璧ですっていうのは、その程度のお話でいい。
1:34:26	はい。
1:34:28	いただいたコメントを反映したのと、うちで気づいた点については、修正させていただいております。
1:34:38	はい。
1:34:40	そこで中途半端なんだったらやる必要もないと思いましたが。
1:34:45	そちらとしてはちゃんと見たということで、
1:34:50	なるべく早めに、次の機会にやろうと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:54	あと、4-1、基本的に最初に出てきたのが経産省のフォーマットの、
1:35:03	シリーズが出てきてその他4-1が出てきてるんですけど。
1:35:08	関係するの、それだけじゃなくて、
1:35:11	そもそも別紙1があってという話ですし、
1:35:15	別紙4-2以降であって、燃料加工建屋、当然関係してくる部分がある んですけど、
1:35:22	その辺りこの別紙4の、
1:35:26	出してるもの出してないものってどういう区分けをされたんですか。
1:35:34	日本原燃伊藤です。
1:35:37	審査会合に向けてちょっと耐震計算書の方の説明はまず必要かと考えて おまして、この別紙4の中から16までですね、そちらの方を出して たんですけども。
1:35:50	それに関連してやはり設計地震力とか、
1:35:55	教育委員会とか、そちらの方についてはまず示さないといけないという ふうに考えまして。
1:36:02	本来であれば別紙4-2から別紙4の9ですかね、そちらの方も出すべ きかと思ったんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:11	ちょっとそちらの方まだ作業してるところもございまして、別紙4-1 で、
1:36:17	基本設計方針だけ、今回、させていただいたということになります。
1:36:24	規制庁、五味です。まずはわかりました。その状態でやりましょう。
1:36:30	今思ったのは、
1:36:33	聞いててチャットだけ思ったのはそういうことも、審査会合において は、何かステータスとして話があるべきかなと思いました。
1:36:45	計算はしたんだけど、基本設計方針は、まだ全然煮詰まってませんよっ ていうステータスだっていうことをちゃんと示し、
1:36:55	いただくのも、
1:36:57	必要かなと思いますので介護支援の今どこについていう話ではないですけ ど、
1:37:04	何だろう。
1:37:05	多分今計算で持ちますみたいな感じで終わってるんじゃないかと思いま すけど、この後の宿題事項が何あるのかみたいなところも、
1:37:17	一緒にわかるような、少し記載を検討いただければと思います。よろし くお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:27	はい。本K-NETです。はい、承知しました。
1:37:32	他全体的に連絡がもし確認等あればお願いします。
1:37:40	すいません日本原燃の大柿ですけどよろしいでしょうか。はい、どうぞ。
1:37:46	2月28日の審査会合資料のですね、今日のコメントを踏まえた提出の日程なんですけれども、先ほど月曜日、12号を停止すると申し上げたんですけれども、
1:37:57	ちょっと再度作業工程を検討してですね、できましたら、
1:38:03	火曜日の午前中ということに、提出予定を変更させていただきたいんですけどいかがでしょうか。
1:38:10	はい、わかりました。午前中であれば大丈夫だと思います。はい。
1:38:19	恐れ入ります。青柳ですそうしましたら火曜日の午前中にご提出でよろしくお願いたします。すいません。
1:38:28	よろしいですかね。
1:38:31	それでは、日本原燃伊奈イナヅマです。どうぞ。2点ほど
1:38:35	今の飛来物のレート確保についてちょっと2点ほど確認させていただきたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:40	神谷さんから構成について、全体のところでちょっとお話いただいた、 12月の会合まで1月の会合からの変更、修正した部分をポイントとして まとめて記載するというところは
1:38:55	対照したいと思います。その上で、今12月の会合は公開といいますか 浅部について書いてますと。
1:39:01	こういったところについては、現状、
1:39:05	最初はこのままにしようかなというふうに考えていたんですけども、 ちょっとイメージが合ってるかどうかちょっと確認させて
1:39:15	気を入れ、入れようと。
1:39:18	下線を取ってください。
1:39:21	もう1点。
1:39:23	日本原燃が、
1:39:25	どういう説明をしたいのかっていう。
1:39:32	そういうところが、
1:39:35	説明できれば、どんな資料
1:39:42	かしこまりましたの、二本木夏目です。当方の説明する内容に沿った形 で、わかりやすい資料ということで修正したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:51	もう1点はですね、ところの一つ前の、すいません。
1:39:55	なので、
1:39:56	だから、今ここでどういう趣旨だから、こうするんだっていう説明があるのか。
1:40:01	言いましたけどそれは、
1:40:08	はい。今までのイメージとしましては先ほどサポート申しました通り、12月の審査会合、もしくは1月の審査会合からは、そういった点を修正したという、ちょっと説明を
1:40:20	冒頭に説明した上で、河川としては基本的には12月のベースでこうだった
1:40:30	修正、また変えてないと、12月の方針の通り実施していますという説明をしたいというふうに考えています。
1:40:41	お任せするんですけど、もしそういう趣旨だったらそういう趣旨のところに下線を引くとかっていう、
1:40:49	こともあるんじゃないかと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:52	何か説明したいところの変わったポイントと、別に説明はしちゃってないんだけど、とりあえず資料上変わってますっていうところが混在してるんじゃないかと思いますので、その辺こっちは2、
1:41:05	資料で示されてもって感じはしますから、ちょっとそういうところも踏まえて、
1:41:12	考えていただければと思いますけども。
1:41:18	手法2課日本エリア事務主任を理解いたしました。我々として考え方ですとか、そういった趣旨が変われば、そういったところは変わりますよというようにわかる形で、
1:41:29	示したいと考えてございます。ありがとうございます。
1:41:33	もう1点につきまして
1:41:35	もう一つ前の重大事故の方の米、資料の方浜崎さんの方からコメントありましたの。
1:41:43	介護の指摘につきましてコメントリストは冒頭に持ってきた部分については、ボックスの方の資料では参考の方に持ってきたらどうかというようなご指摘もございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:54	今回、このA4Bの資料につきましても、特にこのコメント回答という資料というよりは、コメント回答を踏まえた上で、このA4Bのこの設計をどう考えてるのかといった趣旨でございますので、
1:42:08	こちらの資料につきましてもコメントについては参考側に持っていくというふうに考えてございますが、こちらの方について何かご意見あれば伺いたいと思っておりますがいかがでしょうか。
1:42:20	はい。規制庁の小崎です。今の安田さんの趣旨でしたら後ろの方に持っていただいても構わないと思います。
1:42:28	ありがとうございます。二本木委員ありがとうございますというような形で対応させていただいて、
1:42:35	はい。こちらの質問は以上でございます。
1:42:40	はい。
1:42:41	それでは、双方よろしいでしょうか。
1:42:44	はい。それでは規制庁ハバサキです。
1:42:47	はいどうぞ。規制庁ハバサキです先ほど介護資料、火曜日 20 日かな、午前中というお話だったんですが、28 日の会合の資料としては、今パワーポの 2 種類。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:02	だけを考えられないとけばよろしいですか。
1:43:09	日本原燃の小原でございます。はい。そのように考えております。
1:43:14	ごめんなさい。
1:43:19	失礼しました冒頭に今日の午前中の冒頭にご説明した共通比率の状況も ございますのでそういう意味では3種類ございます。
1:43:31	規制庁浜崎です。すいません。それでは耐震関係では、要は補足説明資 料っていうのは、28日は用意されないっていうふうに理解してればよろ しいですか。
1:43:44	はい。日本円わけです。はい。
1:43:47	衛藤ももちろんそう。タイミングとしては、審査会合資料等自体に少な くとも、審査会合までには我々として
1:43:56	この項目に対しても出したいと思っておりますが、それをその会合で適宜参 照しながら説明するってことは今考えてはおりません。
1:44:06	以上です。
1:44:09	規制庁浜崎ですが、
1:44:11	では、28日の会合のときに、パワーポではない資料も一応事業者資料に なる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:21	こういうことですか。
1:44:24	規制庁深見です。そうではなくてパワーポで会合をこの中で会合をやる と。
1:44:30	別途ヒアリング資料としては補足説明資料も介護までいたしたいという ようなお話だと。
1:44:39	日本の動きですそういう中でございます。失礼しました。
1:44:42	市原土岐です。はい、理解しました。以上です。
1:44:47	浅香です。その場合補足説明資料はいつぐらいに出すってということだか は、
1:44:53	見通したっけますか。
1:45:09	少々お待ちください。
1:45:17	日本においてございます
1:45:19	補足説明資料についてはですねちょっと非常に物量、
1:45:25	或いは全体の整合もチェックもありますので、提出は 24 日の木曜日を めどにさせていただきたいんですけども。
1:45:37	コサクです状況わかりました。
1:45:40	移ります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:44	はい。
1:45:45	あと他確認等ございますでしょうか。
1:45:50	よろしいですか。
1:45:52	はい。それでは本日のヒアリングを終了させていただきます。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。